

田代地区遺跡群
上田代遺跡
松山遺跡
竹之内遺跡
妙見原遺跡

中山間地域農村活性化総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

1997

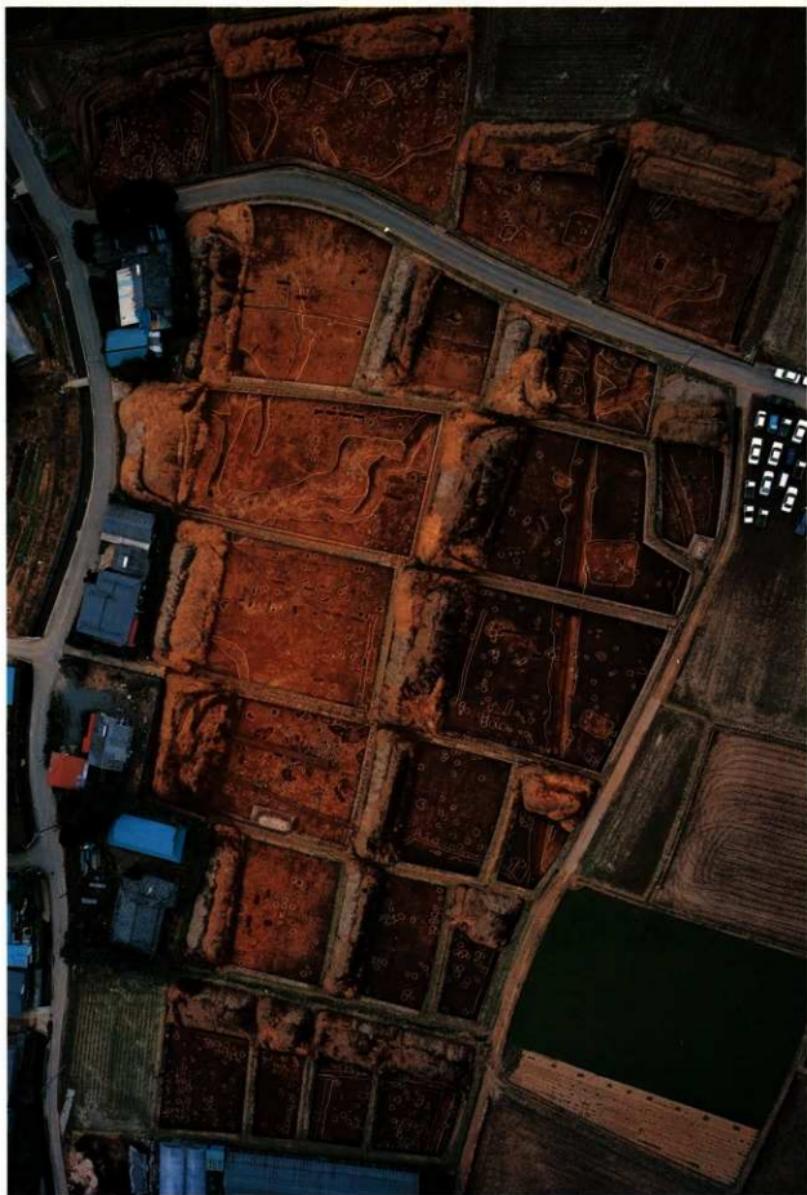
宮崎県えびの市教育委員会

田代地区遺跡群
上田代遺跡
松山遺跡
竹之内遺跡
妙見原遺跡

中山間地域農村活性化総合整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

1997

宮崎県えびの市教育委員会



上田代遺跡 西半部 全景（右が北）



上田代遺跡 東半部 全景（右が北）



上田代遺跡 XV区周辺 繩文時代の竪穴住居群



上田代遺跡 2次調査区 全景



松山遺跡 全景（右が北）



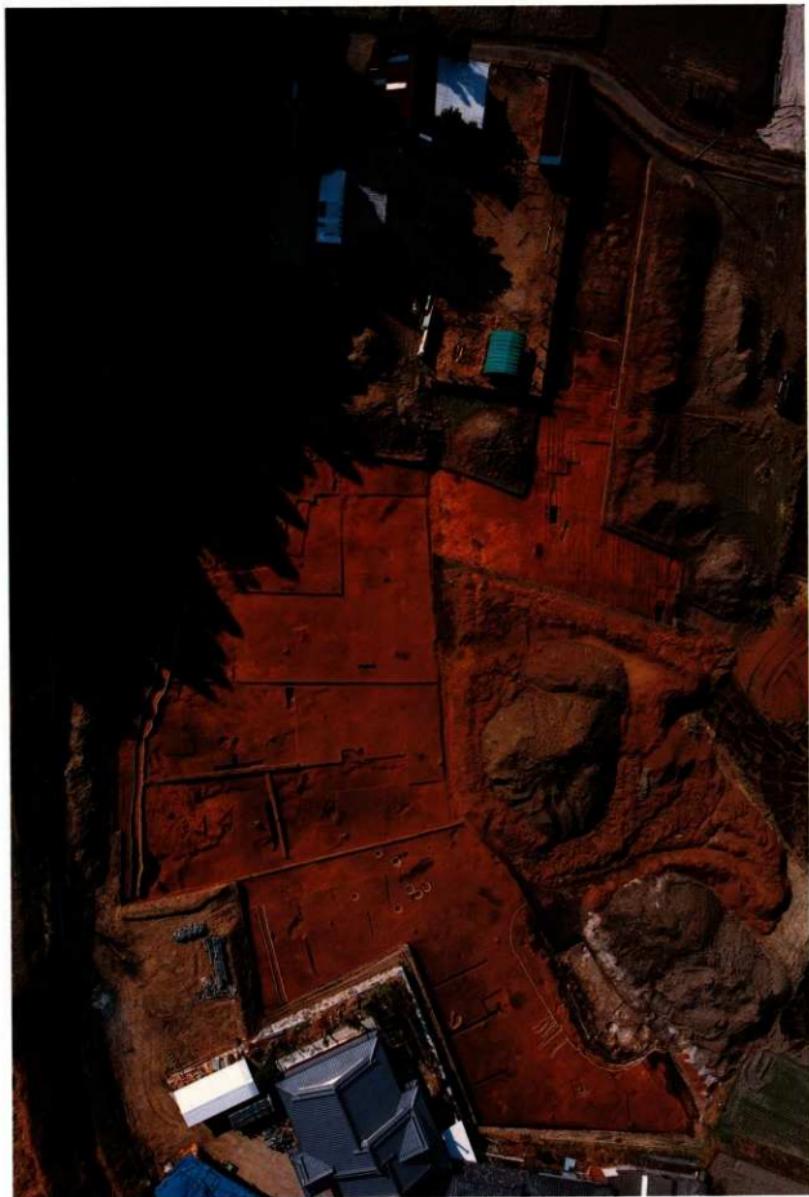
竹之内遺跡 I~II区 全景 (右が北)



III~VI区 全景 (右が北)



竹之内遺跡 VII~VIII区 全景（右が北）



妙見原遺跡 全景（右が北）

序 文

えびの市は、北に九州山地、南に霧島山系に囲まれた狭長な盆地で、日向・肥後・薩摩の分岐点にあたり、古くから様々な文化や文物が混在した独特の地域であります。

平成7年7月には九州縦貫自動車道も開通し、南九州の要となっております。市内各所には豊富な湧水があり、氾濫原以外の段丘面はすべて周知の遺跡となっております。

平成4年度、県内初の中山間地域農村活性化総合整備事業が始まり、5地区の圃場整備事業と公園などの活性化施設を建設することになりました。このうち、田代地区と妙見原地区には遺跡の包蔵が確認されたことから、遺跡に影響を及ぼす範囲については順次、記録保存をしていくこととなりました。

本書は、平成5年度に実施した上田代遺跡、平成6年度に実施した上田代遺跡（2次）および松山遺跡・竹之内遺跡、さらに平成7年度に実施した妙見原遺跡の発掘調査報告書であります。すべての遺跡は奈良時代に断絶するものの、縄文時代から現代に至るまでの遺構・遺物が出土し、出土遺物の総量は10万点を越えており、当地区だけで資料館が建設できるほどの成果がありました。

本書が学術資料としてだけでなく、生涯教育や学校教育の場で広く活用され、埋蔵文化財の保護に対する理解と認識が深まれば幸いです。

なお、調査にあたって御指導・御教示いただいた諸先生方および県文化課、調査に対して御理解・御協力いただいた県土地改良および西諸県農林振興局・地元の方々、さらには発掘作業・整理作業に従事していただいた方々に対しまして厚く御礼申し上げます。

平成9年3月

えびの市教育委員会

教育長 平 田 郁 郎

例　　言

1. 本書は平成5～7年度において実施した、中山間地域農村活性化総合整備事業における、田代地区・妙見原地区圃場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の報告書である。
2. 調査はえびの市教育委員会が主体となり、平成5年度のみ県文化課の吉本主事の協力を得た。
3. 上田代遺跡の調査は、平成5年11月24日から平成6年3月19日まで、上田代遺跡（2次）および松山遺跡・竹之内遺跡は平成6年8月31日から10月7日までと、10月28日から平成7年2月17日まで、妙見原遺跡については平成7年11月8日から12月18日まで実施した。
4. 上田代・松山・竹之内遺跡の遺構実測図については、大部分を㈱スカイサーベイに委託して1/200・1/50・1/20（一部）図面を作成した。特に掘立柱建物については机上による復元が多くを占め、その断面図は航空測量図から作成しているので、断面形態は不正確である。
5. 出土遺物は、1/20図もしくは平板測量によって取り上げているが、本報告書では図化していない。
6. 遺構実測図の方位は、国土座標軸の方向を示す。
7. 出土遺物の一部は平成7年度に実測したが、大部分は平成8年度に実測・整図作成をした。
8. 遺物実測図中の、内面に条痕を施す縄文土器については内面の拓本も付している。また、胎土に滑石を混入する縄文土器と丹塗り土器、内黒土器についてはアミ目で印している。
9. 出土遺物の鑑察表は割愛したが、口径や底径・高さなどが計測可能な遺物については、文末に計測表を付した。
10. 本書の遺構番号と基本的層序は、概要報告書と若干の相違がある。
11. 調査の写真記録および遺物の写真撮影は、中野が行なった。
12. 本書の編集・執筆は、中野が行なった。
13. 調査の関連資料と出土遺物は、えびの市歴史民俗資料館に保管、一部展示している。

調　　査　組　織

特別調査員

鹿児島大学教授 上村 俊雄
宮崎大学助教授 柳沢 一男
佐賀県立九州陶磁文化館
学芸課長 大橋 康二

調査主体　えびの市教育委員会

教育長 平田 郁郎
社会教育課長 外園 秀雄（平成5・6年度）
藤嶋 勉（平成7年度～）
課長補佐 馬越協泰（平成5～7年度）
赤崎 正史（平成8年度）

調査協力

宮崎県教育庁文化課
係長 面高 哲郎
主査 石川 悅雄
主事 吉本 正典

社会教育係長 上加世田たず子（平成5・6年度）
木村 政一（平成7年度～）
主事・事務 赤崎 由美（平成5～7年度）
常増 祐子（平成8年度）
調査員 中野 和浩
嘱託調査員 東 真一（平成8年度）

平成5年度発掘作業員 池田繁春、池田タツ子、石川イク、指宿ヒメ子、今村ヒトエ、祝田カズ、上野恵美子、内村キミ、内屋ミク、櫻園スミ子、大木場登美子、桜木トミ子、加治佐昭子、加治佐シマエ、上水流百合子、川口虎彦、川崎いつ子、川崎スミ子、川野タエミ、貴嶋タツ子、貴嶋れい子、木牟礼洋子、木牟礼ヨシエ、黒江アヤコ、黒江トミエ、黒江弘子、桑原マツエ、小林久枝、税所礼子、里岡カズ子、新竹チエ、新竹フミ、新竹ミチ子、園田菊野、谷口薰、谷山ノリ、鶴小屋キミ、樋嘉ヨネ、富田ツルエ、永田翠月、永田テル子、永田美智子、二宮サミ、二宮光子、野間富子、橋口タミ、東脇ユキ子、樋渡ミチ子、深川幸子、測脇一子、宝代トミ子、外屋ミチ子、前原克江、松下千代子、松下百合子、南キミエ、宮崎みどり、宮野和子、宮原トミ、向井ツム子、向井フサ、山形岩子、山口ミツ、山下一男、横山千代子

平成5年度遺構実測・発掘作業員 大内田春江、木原典子、新屋敷節子、杉水流恵子、田中のり子、出水一美、西脇ミキ、萩原ケイコ、原口キミ子、福満悦子、星指利江子、本坊福子

平成5年度出土遺物整理作業員 川上茂子、鶴田美恵子ほか川平ミチ、木ノ下順一、鶴小屋政秋、鶴丸龍次、長野真弓、本坊泰子

平成6年度発掘作業員 赤崎和子、有村奈々子、池田繁春、池田タツ子、石川イク、今村ヒトエ、内田ジュン、内村キミ、櫻園スミ子、大浦スミエ、大木場登美子、奥松政子、加治佐昭子、加治佐シマエ、片野坂フサ、上水流百合子、上森令子、狩集不二子、川崎スミ子、川野芳子、川畑フジ子、貴嶋タツ子、木牟礼洋子、黒江トミエ、小林久枝、里岡カズ子、新竹ミチ子、園田菊野、立久井京子、谷口薰、常森伸子、鶴小屋キミ、中川令子、永田テル子、二宮サミ、野間富子、橋口タミ、橋口ヨシエ、東脇フミ、樋渡ミチ子、深川幸子、福永静枝、宝代トミ子、外屋ミチ子、松下千代子、松下百合子、南キミエ、宮野和子、向井ツム子、向井幸子、山形岩子、山口ミツ、山下一男、横山千代子、松元ヨシ子

平成6年度遺構実測・発掘作業員 大内田春江、木原典子、新屋敷節子、杉水流恵子、田中のり子、出水一美、西脇ミキ、萩原ケイ子、原口キミ子、福満悦子、星指利江子、本坊福子

平成6年度出土遺物整理作業員 川上茂子、小屋敷直子、鶴田美穂子ほか大内田春江、上水流なおみ、新屋敷節子、田中のり子、出水一美、長野真弓

平成7年度発掘作業員 有村奈々子、池田タツ子、今村ヒトエ、内村キミ、大木場登美子、大木場ヒデ子、奥松政子、鬼塚ノブ、上水流百合子、上森令子、狩集タミ子、狩集千代子、狩集トシ子、狩集典子、狩集不二子、貴嶋タツ子、黒江トミエ、里岡カズ子、新竹ミチ子、園田菊野、谷口薰、鶴小屋キミ、二宮サミ、樋渡ミチ子、外屋ミチ子、松下百合子、宮野和子、山形岩子、山口ミツ、山下一男

平成7年度遺構実測・発掘作業員 木原典子、新屋敷節子、杉水流恵子、田中のり子、出水一美、西脇ミキ、萩原ケイ子、福満悦子、原口キミ子、福満悦子、星指利江子、本坊福子

平成7年度出土遺物整理作業員 川上茂子、小屋敷直子、鶴田美惠子ほか大内田春江、西郷ゆかり、新屋敷節子、田中のり子、出水一美、長野真弓

平成8年度出土遺物実測・製図作業員 入木和代、上水流なおみ、川上茂子、坂元星奈、徳澄みどり、水元美紀子、茂田かおる、ほか朝広洋恵、有馬洋子、長野真弓

本文 目 次

I.はじめに	1	V.竹之内遺跡	197
II. 遺跡の位置と歴史的環境	2	1.はじめに	
III. 上田代遺跡の調査	4	2. 基本的層序	
1.はじめに		3.縄文時代	
2.基本的層序		4.弥生時代	
3.弥生時代の遺構と遺物		5.古墳時代	
4.古墳時代		6.平安時代	
5.平安時代		7.中世	
6.中世		8.近世	
7.近世		9.まとめ	
8.縄文時代		VI.妙見原遺跡	263
9.まとめ		1.はじめに	
IV.松山遺跡	160	2.基本的層序	
1.はじめに		3.弥生時代	
2.基本的層序		4.平安時代	
3.縄文時代		5.中世	
4.弥生時代		6.古代～中世	
5.古墳時代		7.遺物包含層の調査	
6.平安時代		8.まとめ	
7.まとめ		VII.総括	275

挿図 目 次

第1図 遺跡の位置と周辺の遺跡分布図	1	第16図 5号住居出土遺物実測図（1）.....	19
第2図 田代地区遺跡群・妙見原遺跡 位置図	3	第17図 5号住居出土遺物実測図（2）.....	20
第3図 横断模式図	4	第18図 5号住居出土遺物実測図（3）.....	21
第4図 調査区配置図	4	第19図 6号住居遺構実測図	21
第5図 上田代遺跡 遺構分布図	5～6	第20図 7号住居および出土遺物実測図	22
第6図 I～XIII区 古墳時代以降の遺構分布図	7～8	第21図 8号住居および出土遺物実測図	23
第7図 XIII～XX区 遺構分布図	9～10	第22図 9～11号住居および出土遺物実測図	24
第8図 基本的層序（XV～XX区）	11	第23図 12号住居および出土遺物実測図	25
第9図 III～IVa層出土 弥生土器	12	第24図 13号住居および出土遺物実測図	25
第10図 1号住居および出土遺物実測図（1）	14	第25図 14号住居および出土遺物実測図（1）	26
第11図 1号住居出土遺物（2） および2号住居遺構 実測図	15	第26図 14号住居出土遺物実測図（2）	27
第12図 3号住居および出土遺物実測図（1）	16	第27図 17号住居遺構実測図	28
第13図 3号住居出土遺物（2）	17	第28図 17号住居出土遺物実測図	29
第14図 4号住居および出土遺物実測図	17	第29図 18号住居および出土遺物実測図（1）	30
第15図 5号住居遺構実測図	18	第30図 18号住居出土遺物実測図（2）	31
		第31図 19号住居および出土遺物実測図	32

第32図	20号住居および出土遺物実測図	33	第71図	Ⅲ～Ⅳa層出土遺物実測図（7）	73
第33図	21号住居および出土遺物実測図	34	第72図	Ⅲ～Ⅳa層出土遺物実測図（8）	74
第34図	3号土坑および出土遺物実測図	35	第73図	Ⅲ～Ⅳa層出土遺物実測図（9）	75
第35図	5号土坑および出土遺物実測図	35	第74図	Ⅲ～Ⅳa層出土遺物実測図（10）	76
第36図	7号土坑遺構実測図	35	第75図	IV区周辺縄文時代遺構分布図	77～78
第37図	1号自然流路 出土遺物実測図（1）	36	第76図	22号住居および出土遺物実測図	79
第38図	1号自然流路 出土遺物実測図（2）	37	第77図	23号住居および出土遺物実測図（1）	80
第39図	1号自然流路 出土遺物実測図（3）	38	第78図	23号住居出土遺物実測図（2）	81
第40図	1号自然流路 出土遺物実測図（4）	39	第79図	24号住居および出土遺物実測図	81
第41図	1号自然流路 出土遺物実測図（5）	40	第80図	25号住居および出土遺物実測図	82
第42図	1号山川流路 山土遺物実測図（6）	41	第81図	26号住居および出土遺物実測図	82
第43図	1号山川流路 出土遺物実測図（7）	42	第82図	27号住居および山土遺物実測図	83
第44図	1号山川流路 出土遺物実測図（8）	43	第83図	28号住居および出土遺物実測図	83
第45図	1号山川流路 出土遺物実測図（9）	44	第84図	29号住居および出土遺物実測図（1）	84
第46図	2号・3号山川流路 山土遺物実測図	45	第85図	29号住居山土遺物実測図（2）	85
第47図	3号・4号山川流路 出土遺物実測図	46	第86図	30号住居および出土遺物実測図（1）	85
第48図	15号・16号住居 遺構実測図	47	第87図	30号住居出土遺物実測図（2）	86
第49図	8号土坑および出土遺物実測図	48	第88図	31号住居および出土遺物実測図	87
第50図	10号土坑および出土遺物実測図	49	第89図	13号土坑出土遺物実測図	88
第51図	6号土坑および出土遺物実測図	50	第90図	14号土坑 遺構実測図	88
第52図	1～4・6号掘立柱建物跡遺構実測図	54	第91図	XII区 IVa層出土縄文土器実測図（1）	89
第53図	5・7号掘立柱建物跡遺構実測図	55	第92図	XII区 IVa層出土縄文土器実測図（2）	90
第54図	8～13号掘立柱建物跡遺構実測図	56	第93図	XII区 IVa層出土縄文土器実測図（3）， IVb 層出土縄文土器実測図（1）	91
第55図	14～17号掘立柱建物跡遺構実測図	57			
第56図	SZ-02・12号土坑 遺構実測図	58	第94図	XII区 IVb層出土縄文土器実測図（2）	92
第57図	2・3・5号溝状遺構 断面層序図	59	第95図	XII区 IVa・b'層出土縄文土器実測図（1）	93
第58図	1号自然流路・溝状遺構 断面層序図	60	第96図	XII区 IVa・b'層出土縄文土器実測図（2）	94
第59図	XIX区 1号溜井と2号溝 断面層序図	61	第97図	XII区 IVa・b'層出土縄文土器実測図（3）	95
第60図	XIX区北壁・19号溝 断面層序図	62	第98図	XII区 IVa層出土縄文土器実測図（1）	96
第61図	1・2号溝 出土遺物実測図	63	第99図	XII区 IVa層出土縄文土器実測図（2）	97
第62図	3～6号溝 出土遺物実測図	64	第100図	XII区 IVa層出土縄文土器実測図（3）	98
第63図	9・10・13・14・19号溝、1号溜井 出土遺 物実測図	65	第101図	XII区 IVa層出土縄文土器実測図（4）	99
第64図	1号溜井、SZ-02,12号土坑 山土遺物実測図	66	第102図	XII区 IVa層出土縄文土器実測図（5）	100
第65図	Ⅲ～Ⅳa層出土遺物実測図（1）	67	第103図	XII区 IVa層出土縄文土器実測図（6）	101
第66図	Ⅲ～Ⅳa層出土遺物実測図（2）	68	第104図	XII区 IVa層出土縄文土器実測図（7）	102
第67図	Ⅲ～Ⅳa層出土遺物実測図（3）	69	第105図	XII区 IVa層出土縄文土器実測図（8）	103
第68図	Ⅲ～Ⅳa層出土遺物実測図（4）	70	第106図	XII区 IVa層出土縄文土器実測図（9）	104
第69図	Ⅲ～Ⅳa層出土遺物実測図（5）	71	第107図	XII区 IVa層出土縄文土器実測図（10）	105
第70図	Ⅲ～Ⅳa層出土遺物実測図（6）	72	第108図	XII区 IVa層出土縄文土器実測図（11）	106
			第109図	XII区 IVa層出土縄文土器実測図（12）	107
			第110図	XII区 IVa層出土縄文土器実測図（13）	108

第111図	XV区IVa層出土縄文土器実測図(14)	109
第112図	XV区IVb層出土縄文土器実測図(1)	110
第113図	XV区IVb層出土縄文土器実測図(2)	111
第114図	XV区IVb層出土縄文土器実測図(3)	112
第115図	XV区IVb層出土縄文土器実測図(4)	113
第116図	XV区IVb層出土縄文土器実測図(5)	114
第117図	XV区IVb層出土縄文土器実測図(6)	115
第118図	XV区土坑・挖乱坑出土縄文土器実測図	116
第119図	XV区周辺IV層出土縄文土器実測図(1)	117
第120図	XV区周辺IV層出土縄文土器実測図(2)	118
第121図	XV区周辺IV層出土縄文土器実測図(3)	119
第122図	XV区周辺IV層出土縄文土器実測図(4)	120
第123図	XV区周辺IV層出土縄文土器実測図(5)	121
第124図	XV区周辺IV層出土縄文土器実測図(6)	122
第125図	XV区周辺IV層出土縄文土器実測図(7)	123
第126図	XV区周辺IV層出土縄文土器実測図(8)	124
第127図	XV区周辺IV層出土縄文土器実測図(9)	125
第128図	XV区周辺IV層出土縄文土器実測図(10)	126
第129図	XV区周辺IV層出土縄文土器実測図(11)	127
第130図	XV区および周辺出土縄文土器実測図(1)	128
第131図	XV区および周辺出土縄文土器実測図(2)	129
第132図	XVI区IV層出土縄文土器実測図(1)	130
第133図	XVI区IV層出土縄文土器実測図(2)	131
第134図	XVI区IV層出土縄文土器実測図(3)	132
第135図	XV～XVI区周辺IV層出土縄文土器 実測図(1)	133
第136図	XV～XVI区周辺IV層出土縄文土器 実測図(2)	134
第137図	I・II・XV・IX・XVI区出土縄文土器 実測図	135
第138図	調査区出土石器実測図(1)	137
第139図	調査区出土石器実測図(2)	138
第140図	調査区出土石器実測図(3)	139
第141図	調査区出土石器実測図(4)	140
第142図	調査区出土石器実測図(5)	141
第143図	調査区出土石器実測図(6)	142
第144図	調査区出土石器実測図(7)	143
第145図	調査区出土石器実測図(8)	144
第146図	調査区出土石器実測図(9)	145
第147図	調査区出土石器実測図(10)	146
第148図	調査区出土石器実測図(11)	147
第149図	調査区出土石器実測図(12)	148
第150図	調査区出土石器実測図(13)	149
第151図	調査区出土石器実測図(14)	150
第152図	調査区出土石器実測図(15)	151
第153図	調査区出土石器実測図(16)	152
第154図	調査区出土石器実測図(17)	153
第155図	調査区出土石器実測図(18)	154
第156図	調査区出土石器実測図(19)	155
第157図	調査区出土石器実測図(20)	156
第158図	調査区出土石器実測図(21)	157
第159図	調査区出土石器実測図(22)	158
第160図	松山遺跡 道構分布図	161～162
第161図	2号住居および出土遺物実測図(1)	163
第162図	2号住居出土遺物実測図(2)	164
第163図	2号住居出土遺物実測図(3)	165
第164図	3号住居および川土遺物実測図	166
第165図	9号住居および川土遺物実測図	167
第166図	1号住居および出土遺物実測図	168
第167図	4号住居および川土遺物実測図(1)	169
第168図	4号住居出土遺物実測図(2)	170
第169図	5号住居および出土遺物実測図(1)	171
第170図	5号住居出土遺物実測図(2)	172
第171図	6号住居および川土遺物実測図(1)	173
第172図	6号住居出土遺物実測図(2)	174
第173図	7号住居および出土遺物実測図	174
第174図	8号住居および出土遺物実測図(1)	175
第175図	8号住居出土遺物実測図(2)	176
第176図	1号土坑および出土遺物実測図(1)	177
第177図	1号土坑出土遺物実測図(2)	178
第178図	2・3号土坑および出土遺物実測図	179
第179図	1号地下式横穴墓および出土遺物実測図	179
第180図	Ⅲ層出土縄文土器実測図(1)	180
第181図	Ⅲ層出土縄文土器実測図(2)	181
第182図	Ⅲ層出土縄文土器実測図(3)	182
第183図	Ⅲ層出土縄文土器実測図(4)	183
第184図	Ⅲ層出土縄文土器実測図(5)	184
第185図	Ⅲ層出土縄文土器実測図(6)	185
第186図	Ⅲ層出土縄文土器実測図(7)	186
第187図	Ⅲ層出土縄文土器実測図(8)	187
第188図	Ⅲ層出土遺物実測図(1)	187
第189図	Ⅲ層出土遺物実測図(2)	188
第190図	Ⅲ層出土遺物実測図(3)	189

第191図	III層出土遺物実測図(4).....	190
第192図	調査区出土石器実測図(1).....	191
第193図	調査区出土石器実測図(2).....	192
第194図	調査区出土石器実測図(3).....	193
第195図	調査区出土石器実測図(4).....	194
第196図	調査区出土石器実測図(5).....	195
第197図	竹之内遺跡 遺構分布図.....	199~200
第198図	I~IV区 遺構分布図.....	201~202
第199図	VII区 遺構分布図.....	203~204
第200図	VIII区西半部 遺構分布図.....	205~206
第201図	VIII区東半部 遺構分布図.....	207~208
第202図	1号住居および出土遺物実測図.....	209
第203図	04・05号掘立柱建物跡遺構実測図.....	210
第204図	小型方形窓穴状遺構実測図.....	211
第205図	1・3・4・11号土坑出土遺物実測図.....	212
第206図	40号土坑および出土遺物実測図.....	212
第207図	6号自然流跡出土遺物実測図.....	213
第208図	01~03、07号掘立柱建物跡遺構実測図.....	214
第209図	06・08号掘立柱建物跡遺構実測図.....	216
第210図	09~13号掘立柱建物跡遺構実測図.....	217
第211図	14~18、21号掘立柱建物跡遺構実測図.....	218
第212図	19・20・22・23号掘立柱建物跡遺構 測図.....	219
第213図	24~27号掘立柱建物跡遺構実測図.....	220
第214図	28~30、33・34号掘立柱建物跡遺構 測図.....	221
第215図	31・32号掘立柱建物跡遺構実測図.....	222
第216図	35~38号掘立柱建物跡遺構実測図.....	223
第217図	39~43号掘立柱建物跡遺構実測図.....	224
第218図	44~48号掘立柱建物跡遺構実測図.....	226
第219図	49~53号掘立柱建物跡遺構実測図.....	228
第220図	54~58号掘立柱建物跡遺構実測図.....	229
第221図	59~63号掘立柱建物跡遺構実測図.....	230
第222図	64~68号掘立柱建物跡遺構実測図.....	231
第223図	69~74号掘立柱建物跡遺構実測図.....	232
第224図	75~80号掘立柱建物跡遺構実測図.....	234
第225図	81~85号掘立柱建物跡遺構実測図.....	235
第226図	86~90号掘立柱建物跡遺構実測図.....	236
第227図	91~96号掘立柱建物跡遺構実測図.....	237
第228図	97~102号掘立柱建物跡遺構実測図.....	238
第229図	豎穴状遺構 実測図(1).....	239
第230図	豎穴状遺構 実測図(2).....	240
第231図	溜井・大型土坑 遺構実測図.....	247
第232図	溜井・大型土坑 出土遺物実測図.....	248
第233図	小型方形窓穴および出土遺物、竪穴状 遺構出土遺物実測図.....	249
第234図	隅円長方形土坑 遺構実測図.....	250
第235図	10・11・13・15号溝出土遺物実測図.....	251
第236図	15~17号溝出土遺物実測図.....	252
第237図	17~19・24・30号溝出土遺物実測図.....	253
第238図	1・2号道路 出土遺物実測図(1).....	254
第239図	2号道路出土遺物実測図(2).....	255
第240図	調査区出土遺物実測図(1).....	256
第241図	調査区出土遺物実測図(2).....	257
第242図	調査区出土遺物実測図(3).....	258
第243図	調査区出土遺物実測図(4).....	259
第244図	調査区出土遺物実測図(5).....	260
第245図	調査区出土遺物実測図(6).....	261
第246図	II区南壁・I区南壁 断面層序図.....	264
第247図	妙見原遺跡 遺構分布図.....	265~266
第248図	1号粘土採掘穴 遺構実測図.....	267
第249図	1号年度採掘穴 出土遺物実測図.....	268
第250図	IV層出土縄文土器実測図.....	269
第251図	III~IVa層出土遺物実測図(1).....	270
第252図	III~IVa層出土遺物実測図(2).....	271
第253図	III~IVa層出土遺物実測図(3).....	272
第254図	III層出土石塔片実測図.....	273
第255図	1号集石遺構実測図.....	274

図版目次

- 図版 1 調査区周辺航空写真(昭和58年撮影)
 図版 2 上田代遺跡 I~XXII区 全景
 図版 3 上田代遺跡 XXII~XXX区 全景
 図版 4 上田代遺跡 西半部から西方を望む、遺跡東半部から北方を望む
 図版 5 上田代遺跡 1号住居遺跡出土状態、完掘全景

- 図版 6 上田代遺跡 2号住居遺物出土状態、完掘全景、3号住居遺物出土状態、完掘全景
- 図版 7 上田代遺跡 5号住居遺物出土状態、完掘全景、中央 pit断面層序
- 図版 8 上田代遺跡 4号住居全景、6号住居全景、7号住居遺物出土状態
- 図版 9 上田代遺跡 8号住居断面層序、完掘全景、9号住居全景、甑出土状態
- 図版 10 上田代遺跡 10・11号住居完掘全景、11号住居全景、12号住居遺物出土状態、完掘全景
- 図版 11 上田代遺跡 13号住居遺物出土状態、完掘全景、14号住居遺物出土状態、17号住居遺物出土状態
- 図版 12 上田代遺跡 17号住居断面層序、完掘全景、18号住居遺物出土状態、完掘全景
- 図版 13 上田代遺跡 18号住居遺物出土状態、中央 pit埋甕、19号住居埋甕、遺物出土状態、完掘全景
- 図版 14 上田代遺跡 20号住居遺物出土状態、完掘全景、21号住居搬込状況
- 図版 15 上田代遺跡 3号土坑遺物出土状態、完掘状態、4号土坑完掘全景、7号土坑完掘全景
- 図版 16 上田代遺跡 X区1号自然流路と中世土坑群検出状態、1号自然流路A搬込状況
- 図版 17 上田代遺跡 1号自然流路A北半部遺物出土状態、南半部遺物出土状態および断面層序、A・B北壁層序
- 図版 18 上田代遺跡 IX区東南部（第2次）1号自然流路遺物出土状態
- 図版 19 上田代遺跡 IX区東南部（第2次）1号自然流路完掘全景、X区完掘全景、VI区1号自然流路遺物出土状態
- 図版 20 上田代遺跡 15号住居（1号工房址）完掘全景、15号住居（2号工房址）完掘全景、6号土坑（上壙墓）完掘全景
- 図版 21 上田代遺跡 XII区円形土坑遺物・白色粘土出土状態、XXX区B面円形土坑群、8号土坑周辺遺構検出状態、遺物出土状態
- 図版 22 上田代遺跡 VII区遺構検出状態、北西壁1号自然流路断面層序、3号溝南壁内牛馬齒出土状態、遺物出土状態
- 図版 23 上田代遺跡 VII区北半部（第2次）完掘全景、VI区完掘全景、IX区北半部周辺完掘全景
- 図版 24 上田代遺跡 VII区3号溝北壁層序、IX区5号溝搬込状況、東壁断面層序、XII区5号溝完掘状況
- 図版 25 上田代遺跡 XIII区2号溝西壁断面層序、XII区2号溝東壁断面層序、XIV区2号溝東壁断面層序、XVII区溜井（SZ-01）断面層序
- 図版 26 上田代遺跡 XVIII区2号溝と溜井断面層序、XXX区大型土坑（SZ-02）断面層序
- 図版 27 上田代遺跡 XXX区19号溝西壁層序、東壁層序、XVII区19号溝断面層序、12号土坑断面層序
- 図版 28 上田代遺跡 XIV区IVa層遺物出土状態、石皿と縄文土器、IVb層遺物出土状態、層序
- 図版 29 上田代遺跡 XIV区IVb層遺物出土状態、IVc層上面遺構検出状態
- 図版 30 上田代遺跡 XV区十坑状遺構、14号十坑断面層序、XII区IVb層遺物出土状態
- 図版 31 上田代遺跡 VIII区西壁層序、VII区縄文時代遺構分布状況
- 図版 32 上田代遺跡 XV区則辯甕時代の堅穴住居分布状況
- 図版 33 上田代遺跡 第2次調査XII/XIV区IVa層遺物出土状態、接写、XV区南部IV層遺物収上状況、XV/XVI区IVa層遺物出土状態
- 図版 34 上田代遺跡 第2次調査XV/XVI区IV層遺物出土状態、XI/XII区七坑断面層序
- 図版 35 上田代遺跡 第2次調査XV区周辺縄文時代の遺構分布状況
- 図版 36 上田代遺跡 22号住居遺物出土状態、23号住居遺物出土状態
- 図版 37 上田代遺跡 24号住居遺物出土状態、25号住居遺物出土状態
- 図版 38 上田代遺跡 26号住居東半分搬込状況、西半分（第2次）搬込状況、27号住居断面
- 図版 39 上田代遺跡 XVI区北壁層序、西壁層序
- 図版 40 上田代遺跡 27号住居西半分（第2次）完掘状態、28号住居遺物出土状態、XIV区南半部遺構分布状況
- 図版 41 上田代遺跡 30号住居遺物出土状態、31号住居遺物出土状態
- 図版 42 上田代遺跡 XV/XVI区縄文時代遺構表示、XV区南部縄文時代遺構表示

- 図版 43 上田代遺跡 23号住居出土縄文土器、25号住居出土縄文土器、28号住居出土縄文土器、26号住居出土縄文土器、
27号住居出土縄文土器
- 図版 44 上田代遺跡 30号住居出土縄文土器、31号住居出土縄文土器
- 図版 45 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（1）
- 図版 46 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（2）
- 図版 47 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（3）
- 図版 48 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（4）
- 図版 49 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（5）
- 図版 50 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（6）
- 図版 51 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（7）
- 図版 52 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（8）
- 図版 53 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（9）
- 図版 54 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（10）
- 図版 55 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（11）
- 図版 56 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（12）
- 図版 57 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（13）
- 図版 58 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（14）
- 図版 59 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（15）
- 図版 60 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（16）
- 図版 61 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（17）
- 図版 62 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（18）
- 図版 63 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（19）
- 図版 64 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（20）
- 図版 65 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（21）
- 図版 66 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（22）
- 図版 67 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（23）
- 図版 68 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（24）
- 図版 69 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（25）
- 図版 70 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（26）
- 図版 71 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（27）
- 図版 72 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（28）
- 図版 73 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（29）
- 図版 74 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（30）
- 図版 75 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（31）
- 図版 76 上田代遺跡 調査区出土縄文土器（32）
- 図版 77 上田代遺跡 縄文土器底部（1）
- 図版 78 上田代遺跡 縄文土器底部（2）鯨骨土器製作板痕
- 図版 79 上田代遺跡 縄文土器底部（3）鯨骨土器製作板痕、縄代痕
- 図版 80 上田代遺跡 縄文土器底部（4）
- 図版 81 上田代遺跡 縄文土器底部（5）
- 図版 82 上田代遺跡 23号～26号・29～31号住居出土石器

- 図版 83 上田代遺跡 調査区出土打製鐵・石匙・石錐・蛇紋岩製石斧
- 図版 84 上田代遺跡 調査区出土石斧・石錐
- 図版 85 上田代遺跡 調査区出土スケレイバー・刃器
- 図版 86 上田代遺跡 調査区出土使用痕のある剥片・二次加工のある剥片・礫器・剥片・大型礫器・石核
- 図版 87 上田代遺跡 調査区出土石核・抉り入り石器・大型剥片・剥片・大型剥片・大型剥片・剥片
- 図版 88 上田代遺跡 調査区出土剥片・黒曜石・チャート石核・剥片
- 図版 89 上田代遺跡 調査区出土土器片鍾・打欠石鍾・切り目石鍾・すり石（1）
- 図版 90 上田代遺跡 調査区出土土器片（2）
- 図版 91 上田代遺跡 調査区出土石皿・台石
- 図版 92 上田代遺跡 調査区出土砥石・磨製石鍾・敲き石・石包丁・石鍋
- 図版 93 上田代遺跡 調査区出土弥生土器
- 図版 94 上田代遺跡 1号住居出土遺物、2号住居出土遺物
- 図版 95 上田代遺跡 3号住居出土遺物、4号住居出土遺物、5号住居出土遺物（1）
- 図版 96 上田代遺跡 5号住居出土遺物（2）、7号住居出土遺物、8号住居出土遺物
- 図版 97 上田代遺跡 9号住居・11号住居・15号住居出土遺物、10号住居出土遺物、13号住居出土遺物、14号住居出土遺物、17号住居出土遺物
- 図版 98 上田代遺跡 18号住居出土遺物（1）、19号住居出土遺物（1）、18・19号住居出土遺物（2）、20号住居出土遺物
- 図版 99 上田代遺跡 21号住居出土遺物、3号土坑出土遺物、5号土坑出土遺物、VI/IX区土坑出土遺物
- 図版 100 上田代遺跡 1号自然流路出土遺物（1） 繩文土器・弥生土器・土師器
- 図版 101 上田代遺跡 1号自然流路出土遺物（2） 土師器壺・高杯
- 図版 102 上田代遺跡 1号自然流路出土遺物（3） 須恵器
- 図版 103 上田代遺跡 6号土坑（土壤墓）出土遺物、8号土坑一括出土遺物、2号溝出土遺物
- 図版 104 上田代遺跡 5号溝出土遺物、SZ-02 出土遺物、III層出土遺物（1）
- 図版 105 上田代遺跡 III層出土遺物（2） 弥生土器・土師器・黒色土器・須恵器
- 図版 106 上田代遺跡 III層出土遺物（3） 中世国産陶器・布痕土器・ふいごの羽口・XIV-XVII世紀シイ類炭化物
- 図版 107 上田代遺跡 III層出土遺物（4） 白磁・青磁・染付
- 図版 108 上田代遺跡 国産陶磁器 16~17世紀・1600~1630年代・1780年~19世紀・12号土坑出土1800~1860年代・19号溝出土17世紀末~幕末（18世紀代か）・1820~60年代・18~19世紀
- 図版 109 松山遺跡 全景
- 図版 110 松山遺跡 近景、西壁中央部断面図
- 図版 111 松山遺跡 北西部遺物出土状態・北西~北中央部遺物出土状態
- 図版 112 松山遺跡 1号住居西~北壁断面図・1号住居全景、2号住居遺物出土状態
- 図版 113 松山遺跡 2号住居断面図・遺物出土状態、2・3号住居全景、3号住居遺物出土状態
- 図版 114 松山遺跡 4号住居遺物川上状態・完掘全景
- 図版 115 松山遺跡 5号住居遺物出土状態・完掘全景
- 図版 116 松山遺跡 6号住居遺物出土状態・完掘全景、7号住居遺物出土状態
- 図版 117 松山遺跡 8号住居遺物出土状態
- 図版 118 松山遺跡 8号住居完掘全景、4号住居完掘全景、9号住居完掘全景
- 図版 119 松山遺跡 1号土坑上面遺物出土状態・掘込状況、2号土坑遺物出土状態、3号土坑遺物出土状態
- 図版 120 松山遺跡 1号地下式横穴墓完掘全景・出土遺物、1号住居出土遺物

- 図版 121 松山遺跡 2号住居出土遺物（1）
- 図版 122 松山遺跡 2号住居出土遺物（2）、3号住居出土遺物、4号住居出土遺物（1）
- 図版 123 松山遺跡 4号住居出土遺物（2）、5号住居出土遺物
- 図版 124 松山遺跡 6・7号住居出土遺物、6号住居出土遺物、7号住居出土遺物、8号住居出土遺物、9号住居出土遺物
- 図版 125 松山遺跡 1号土坑出土遺物、2号土坑出土遺物、3号土坑出土遺物
- 図版 126 松山遺跡 Ⅲ層出土 繩文土器（1） 外面・内面
- 図版 127 松山遺跡 Ⅲ層出土 繩文土器（2） 外面・内面
- 図版 128 松山遺跡 Ⅲ層出土 繩文土器（3） 外面・内面
- 図版 129 松山遺跡 Ⅲ層出土 繩文土器（4）、（5）
- 図版 130 松山遺跡 Ⅲ層出土 繩文土器（6）、（7）
- 図版 131 松山遺跡 Ⅲ層出土 繩文土器（8）、（9）
- 図版 132 松山遺跡 Ⅲ層出土 繩文土器（10）、（11）
- 図版 133 松山遺跡 Ⅲ層出土 繩文土器（12）、（13）
- 図版 134 松山遺跡 Ⅲ層出土 繩文土器（14）、（15）
- 図版 135 松山遺跡 Ⅲ層出土 繩文土器（16）
- 図版 136 松山遺跡 Ⅲ層出土 繩文土器（17）、（18）
- 図版 137 松山遺跡 Ⅲ層出土 弥生土器（1）
- 図版 138 松山遺跡 Ⅲ層出土 弥生土器（2）
- 図版 139 松山遺跡 Ⅲ層出土 石器（1） 打製石器・磨製石器・石匙・十字型石器・砥石・すり石・敲き石・石包丁か・石斧用敲き石
- 図版 140 松山遺跡 Ⅲ層出土 石器（2） 石鍤・扁平打製石器
- 図版 141 松山遺跡 Ⅲ層出土 石器（3） スクレイパー・刃器・礫器・石皿・クリ炭化物・鉄鍤（1号土坑）・釣針状鉄器（4号住居）
- 図版 142 竹之内遺跡 I～II区全景、III～VI区全景
- 図版 143 竹之内遺跡 VII～VIII区全景
- 図版 144 竹之内遺跡 VII区全景
- 図版 145 竹之内遺跡 VIII区西半部全景
- 図版 146 竹之内遺跡 VIII区東半部全景
- 図版 147 竹之内遺跡 1号住居遺物出土状態、1号小型方形竪穴遺物出土状態
- 図版 148 竹之内遺跡 2号土坑完掘全景、11号土坑遺物出土状態、29号土坑完掘全景、40号土坑完掘全景
- 図版 149 竹之内遺跡 竪穴状造構（1） 13号土坑完掘全景、32号土坑断面層序・完掘全景、33号土坑完掘全景
- 図版 150 竹之内遺跡 竪穴状造構（2） 34号土坑断面層序・完掘全景、35号土坑断面層序・完掘全景
- 図版 151 竹之内遺跡 36号土坑完掘全景、2号道路断面層序、6号溜井断面層序、9号溜井断面層序
- 図版 152 竹之内遺跡 10号土坑断面層序・完掘全景、12号土坑断面層序、14号土坑断面層序
- 図版 153 竹之内遺跡 1号戸掘込状況、VII区中央北部IV層掘り下げ状況、4号自然流路断面層序・完掘全景
- 図版 154 竹之内遺跡 1号住居出土遺物、1号小型方形竪穴遺物、42号土坑出土遺物、43号土坑出土遺物
- 図版 155 竹之内遺跡 3～7・9・10・13～15・27・31～35号土坑出土遺物
- 図版 156 竹之内遺跡 15号溝出土遺物、16号溝出土遺物、17号溝出土遺物、3号溜井出土遺物、6号溜井出土遺物
- 図版 157 竹之内遺跡 4号自然流路出土遺物、調査区出土繩文土器
- 図版 158 竹之内遺跡 調査区出土弥生土器・土師器（1）

- 図版 159 竹之内遺跡 調査区出土土師器（2）、須恵器
- 図版 160 竹之内遺跡 調査区出土土師器（3）、墨書き器、培塿、羽釜ほか
- 図版 161 竹之内遺跡 調査区出土輸入陶磁器青磁（1）、（2）
- 図版 162 竹之内遺跡 調査区出土輸入陶磁器白磁、染付、中世国産陶器（1）
- 図版 163 竹之内遺跡 調査区出土中世国産陶器（2）、近世陶磁器 16～17世紀、17世紀（1）
- 図版 164 竹之内遺跡 調査区出土国産陶磁器 17世紀（2）、17～18世紀、18世紀（1）、（2）
- 図版 165 竹之内遺跡 調査区出土土器 18世紀、18～19世紀、19世紀、明治～大正期、1・2号井戸出土遺物
- 図版 166 竹之内遺跡 調査区出土石器 打製石鏃・磨製石鏃・石匙・石錐・スクレイバー・石斧・凹み石・すり石・石皿・軽石加工品・石臼
- 図版 167 竹之内遺跡 調査区出土キセル・銅環・錢貨
- 図版 168 妙見原遺跡 全景
- 図版 169 妙見原遺跡 近景、II区東半部遭構検出状態
- 図版 170 妙見原遺跡 I区南壁層序、III区南部遭構検出、1号溝遺物出土状態、断面
- 図版 171 妙見原遺跡 1号粘土探掘穴遺物出土状態
- 図版 172 妙見原遺跡 1号粘土探掘穴全掘全景、中央部断面層序、北壁東半部
- 図版 173 妙見原遺跡 I区東部IV層掘込遺物出土状態、II区東半部IV層掘下状況
- 図版 174 妙見原遺跡 II区東半部 IV層掘下状況、III区IV層遺物出土状態
- 図版 175 妙見原遺跡 II区東南壁断面層序およびIV層遺物出土状態、同上地点遺物出土状態
- 図版 176 妙見原遺跡 II区IV層掘下・遺物出土状態、甕出土状態、III区IV層遺物出土状態、1号集石構
- 図版 177 妙見原遺跡 III区東壁層序、南壁層序、II区深掘坑断面層序
- 図版 178 妙見原遺跡 1号粘土探掘穴出土遺物
- 図版 179 妙見原遺跡 I区IVa層出土绳文土器、II・III区出土绳文土器、II区東南部IV層出土绳文土器
- 図版 180 妙見原遺跡 II～III区III～IVa層出土弥生土器 複合口縁甕・長頸甕・甕底部・免田式土器、甕
- 図版 181 妙見原遺跡 土師器高杯、須恵器、黒色土器、土師器碗・甕
- 図版 182 妙見原遺跡 1号溝ほか出土布痕土器、III～IV層出土打製石鏃・磨製石鏃、III層出土石鍋、III～IV層・1号粘土探掘穴出土石器

表 目 次

表1 上田代遺跡出土遺物計測表（1）……………	277	表8 上田代遺跡出土遺物計測表（8）……………	284
表2 上田代遺跡出土遺物計測表（2）……………	278	表9 松山遺跡出土遺物計測表（1）……………	285
表3 上田代遺跡出土遺物計測表（3）……………	279	表10 松山遺跡出土遺物計測表（2）……………	286
表4 上田代遺跡出土遺物計測表（4）……………	280	表11 竹之内遺跡出土遺物計測表（1）……………	286
表5 上田代遺跡出土遺物計測表（5）……………	281	表12 竹之内遺跡出土遺物計測表（2）……………	287
表6 上田代遺跡出土遺物計測表（6）……………	282	表13 竹之内遺跡出土遺物計測表（3）……………	288
表7 上田代遺跡出土遺物計測表（7）……………	283	表14 妙見原遺跡出土遺物計測表……………	289

I. はじめに

平成4年度、県内初の中山間地域農村活性化総合整備事業が着手した。田代地区と粥谷・狐塚・出水・妙見地区の圃場整備に加え、公園や活性化施設を建設するものである。このうち、田代地区は田代地区遺跡群として、妙見地区は妙見原遺跡として周知されており、調査対象となった。

事業は先ず、田代地区32.8haの圃場整備が計画された。平成4年度、県文化課による試掘調査の結果、台地の北東部と南東部、南西部を遺跡とし、それぞれの字名から松山遺跡・上田代遺跡・竹之内遺跡とした。平成5年6月、年度内に全面工事という計画が持ち上がり、県文化課と県土地改良協会・西諸県農林振興局・田代土地改良区・市耕地課・市土地改良・市教委の7者で協議を重ね、10月には、調査範囲を較り込むための試掘調査を実施したが、遺跡は延々と広がっており、工事計画図を照合しても発掘対象面積は6haに及んだ。

同年11月初旬、最終協議を行なった結果、平成5年度は年度末まで上田代遺跡の発掘調査を実施、後に埋め戻して作付をしてもらい、平成6年度に残り2遺跡を調査して後に全面工事をするという案でまとまった。この結果、調査面積が広大になり、遺構実測が困難であると予測されたことから航空測量を委託した。また、作業員も50~60人確保しないと振り切れないうえに調査員の目が行き届かないことを予測して、県文化課に調査員の派遣を依頼した。



第1図 遺跡の位置と周辺の遺跡分布図(1:50,000)

平成5年度に調査した上田代遺跡⁽¹⁾の中で、縄文時代中期末～後期の集落と古墳時代の遺物を大量に含む自然流路があり、現畦畔部分と排土置場について未調整であったことから、平成6年度に最初に調査した。その後、松山遺跡、竹之内遺跡へと移った⁽²⁾が、主要遺構以外は航空測量による実測図を作成するしか方策がなかった。

平成7年度事業として、妙見地区の一部2haに圃場整備事業が計画されたため、県文化課による試掘調査が実施され、縄文～中世の遺物が出土した。この結果をもとに、平成7年度、工事削平部分についての発掘調査を実施した。⁽³⁾

平成8年度は事業の最終年度にあたることから、上記4遺跡の本報告書を作成することにした。

II. 遺跡の位置と歴史的環境（第1・2図）

田代地区遺跡群は、えびの市大字末永字竹之内・石坂・青木前・上田代・松山・陣迫の6地区から成る中位段丘に立地する。標高は283～287mで、南側が高い。遺跡名は、発掘調査地に該当する小字を付けているが、上田代遺跡のI～IV区は字青木前に属する。

妙見原遺跡は、えびの市大字原田字妙見原に所在する。工事施工区は、台地の南東端にあたるが周囲よりも一段低い水田が半分を占め、昔は湖だったという地元古の伝承がある。発掘調査地は南縁の高い面が主である。

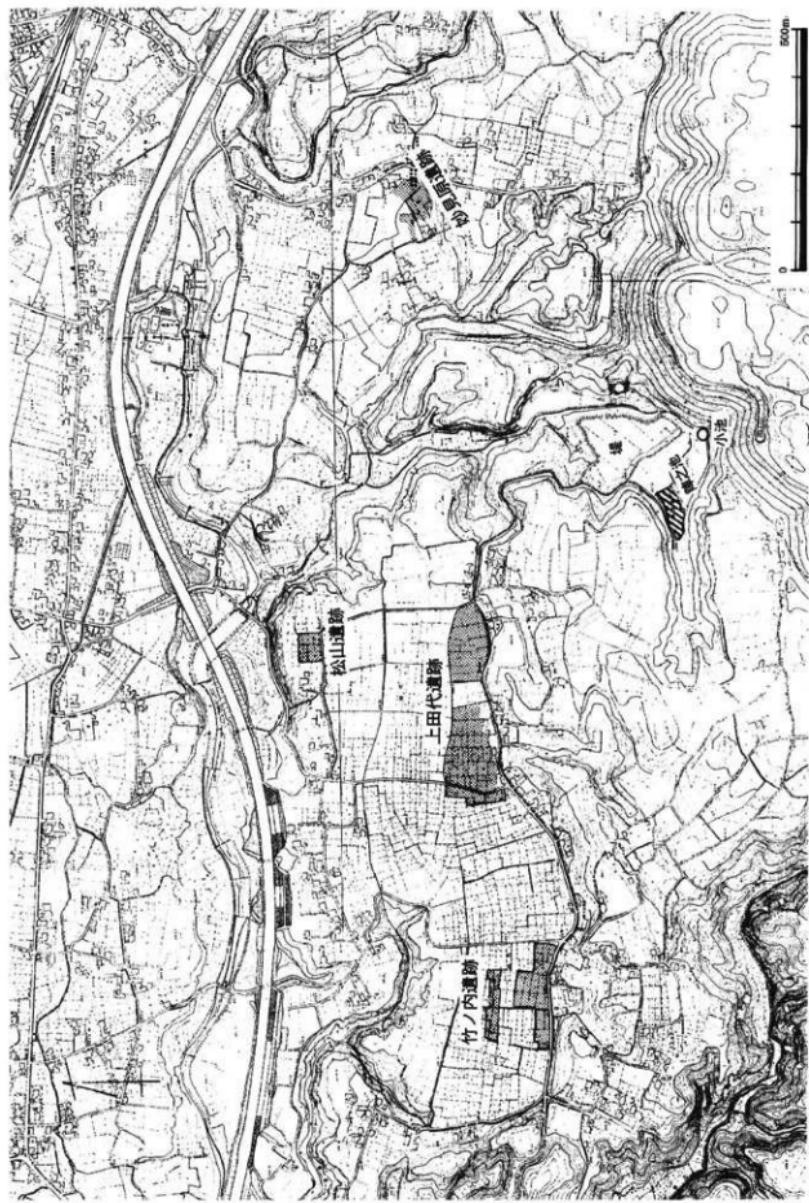
両遺跡の北には池島川が西流し、その北側は東西5km以上の広大な低位段丘（原田・上江遺跡群）があり、⁽⁴⁾ 小木原・建山・遠目塚地下式横穴墓群や法光寺跡（9～10世紀）、鳥越城跡・上江城跡・古城跡・田の上城跡といった中世山城がある。9世紀以降の集落は点在している反面、古墳時代以前の集落は極めて稀薄であり、本地原遺跡と永田原遺跡で弥生時代後期の花弁状住居が検出されたのみである。本地原遺跡の東には比高100mの八幡丘が南北に突出し、頂部からナイフ型石器1点のほか縄文時代早期の集石遺構数基が確認された。

市内南側は霧島山系から派生する低丘陵が多く、湧水にも恵まれていることから、段丘のほとんどが周知の遺跡となっている。田代地区に南接する天宮遺跡からは縄文～古墳時代の土器片や石鐵・切目石鏡・石皿など多くの遺物が、妙見原遺跡内においては押型文土器や石鐵・石包丁などが採集されている。東接する大迫原遺跡では、板石積石室墓群が確認されている。

田代地区的台地の東南端から東南400mの地点には、豊富な湧水（通称小池）がある。伝承によると、明治5～6年頃に築堤し、谷間に水を溜め（陣之池）て用水路を構築したが、大正初期に3分の1程度に縮小、埋め立てて、現在に至るらしい。

註

- (1) えびの市埋蔵文化財調査報告書第14集『田代地区遺跡群 上田代遺跡』1995
- (2) えびの市埋蔵文化財調査報告書第15集『田代地区遺跡群 上田代遺跡・松山遺跡・竹之内遺跡』1995
- (3) えびの市埋蔵文化財調査報告書第16集『妙見原遺跡』1996
- (4) えびの市埋蔵文化財調査報告書第6集『永田原遺跡、口ノ坪遺跡、小木原遺跡群（A・B地区）』1990
えびの市埋蔵文化財調査報告書第16集『小木原遺跡群（C・D地区・久見迫B地区・地主原地区、原田・上江遺跡群六部市遺跡、巖元遺跡、中瀬遺跡、法光寺遺跡Ⅰ・Ⅱ』1996



第2図 田代地区遺跡群・妙見原遺跡 位置図 (1 : 10,000)

III. 上田代遺跡の調査

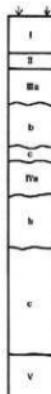
1. はじめに

平成5年度は、上田代遺跡約28,000m²を対象として調査を実施した。調査後は埋め戻すことが前提条件であることから畦畔を削平できず、水田一筆ごとの範囲内で表土剥ぎを行なった。

調査は現況の水田一筆ごとにI区・II区……XX区と分け、I～XX区の調査およびXXV区の縄文時代の文化層の調査を第1工程、XXI～XXIV区の調査を第2工程、XXV区の縄文期とXXV区南側の古墳時代以降・縄文期、XXV区南西側の古墳時代以降・縄文期、XXV区西側の縄文期の調査を第3工程とした（第4・5図）。

平成6年度は、前年度の未調査区の重要な部分であったVI区の北半分とIX区の南西部、XI区とXII区の間、さらにはXXV区周辺の調査を実施した。

調査面積は合計で、19,750 m²に及ぶ。



2. 基本的層序（第3・4図）

層序は上から、I層：水田耕作土、II層：床土、IIIa層：黒灰色土、IIIb層：黒褐色土、IIIc層：淡黒灰色～暗灰色土+IVa層、IVb層：淡黄色～淡黄褐色土、IVc層：淡黒灰色土、V層：アカホヤ火山灰に分別した。

IIIa・b層は中世、c層は平安時代、IVa層は縄文後晩期～弥生時代、b・c層は縄文時代後期を主とする遺物が出土するが、IIIa・b層は耕地化の際の削失度が高い。

遺構面は、IIIa上面（中世）とIVa上面（平安・古墳時代）、IVc上面（縄文時代中期末～後期）の3面である。IIIa層上面において、遺構覆土が灰色系ならば近現代、青灰色系ならば近世、暗茶灰色ならば室町時代、黒色ならば鎌倉時代、淡黄褐色+黒色か灰色～暗灰色+淡黄褐色ならば平安時代、淡茶灰色～淡黄色系ならば古墳時代と大別することができる。

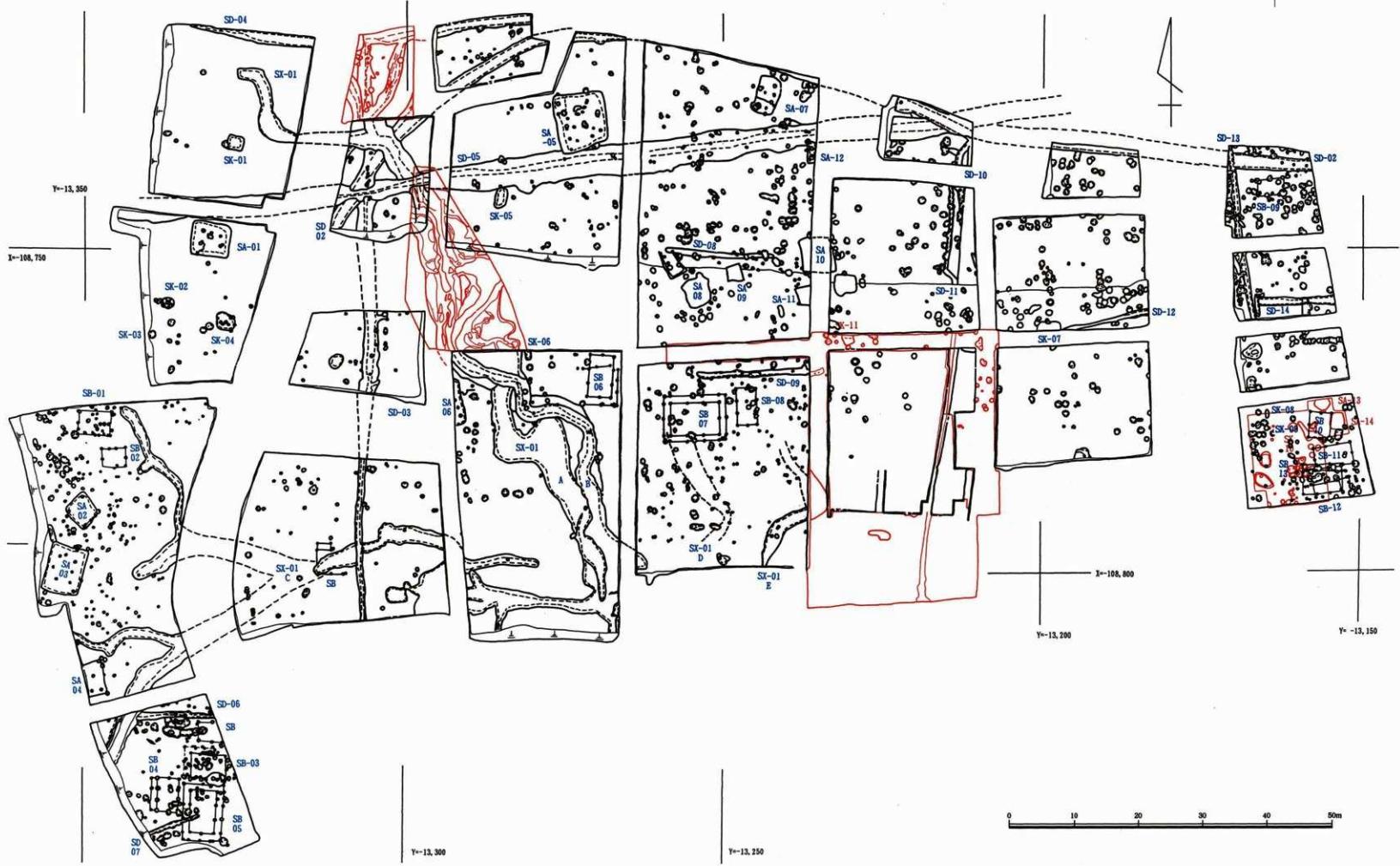
第3図
層序模式図



第4図 調査区配置図



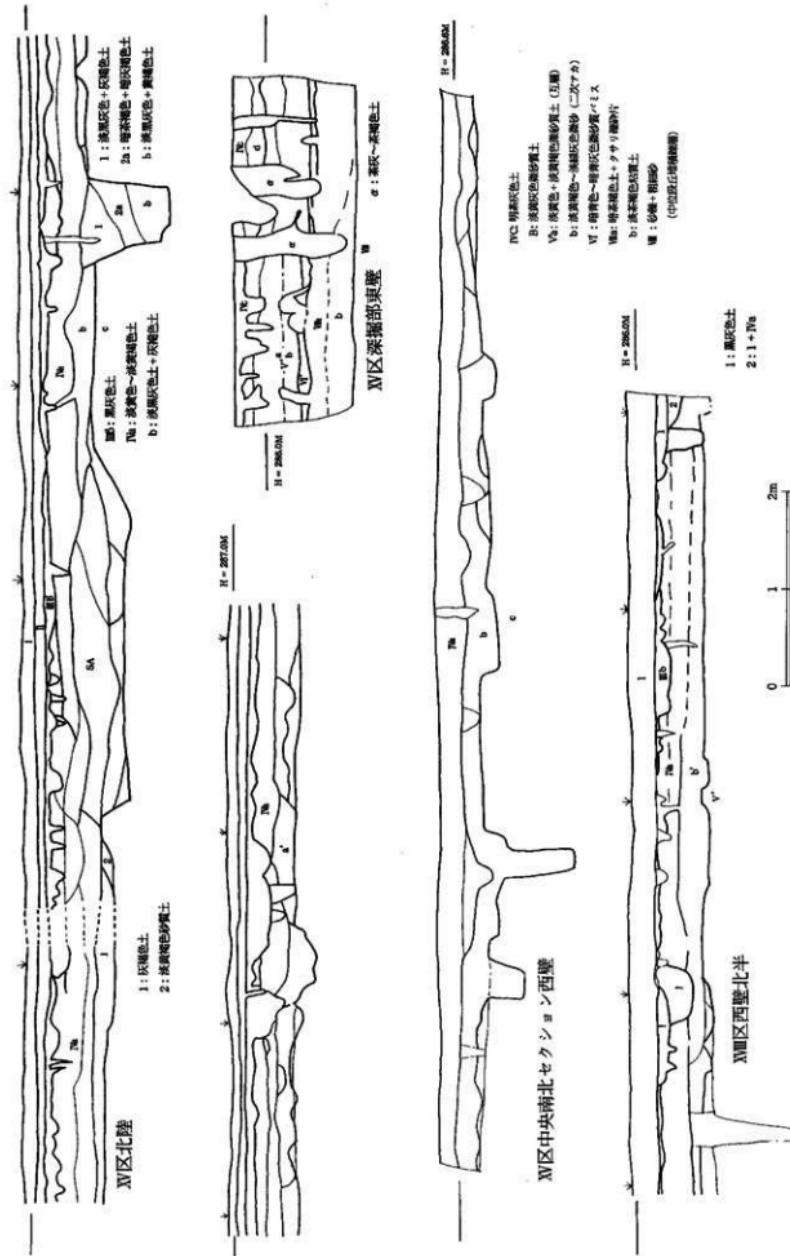
第5図 上田代遺跡 遺構分布図 (1:800)



第6図 I～XIII区 古墳時代以降の遺構分布図 VI・IX区の朱色は2次調査、XII区の朱色はB面



第7図 XII～XXIX区 遺構分布図



第8図 基本的圖形(X-Y・XWZ)

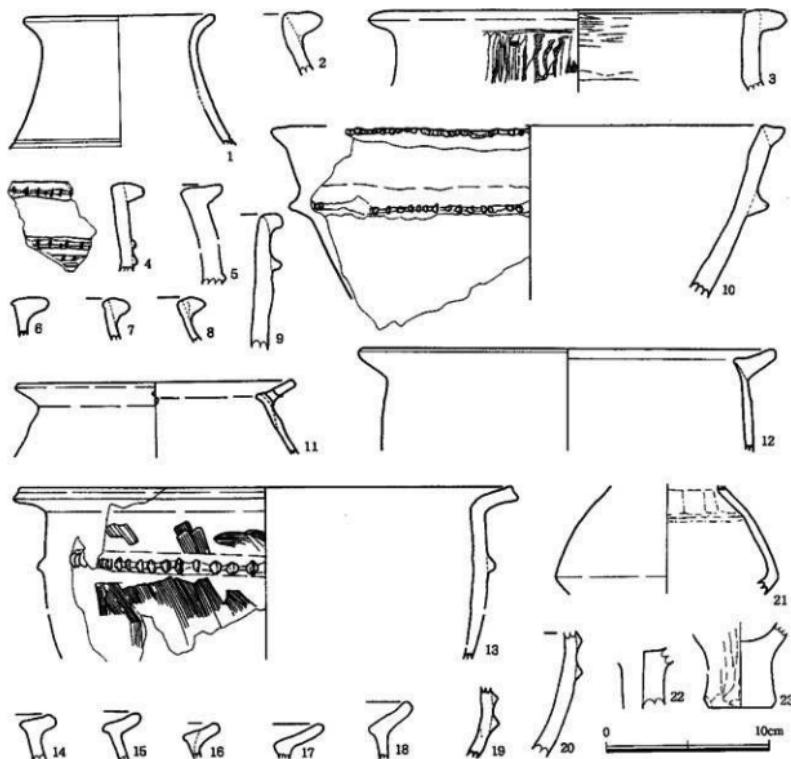
古墳時代の遺物の散布量からみれば、検出しきれなかった堅穴住居跡が数軒あっただろうと思われるが、可能な限り検出した遺構について、以下報告する。

3. 弥生時代の遺構と遺物（第9図、図版92・93）

遺構は検出されなかったものの、主としてIVa層上面～上層において若干の遺物が出土した。

1は前期の壺で、市内では極めて稀である。2～10は中期初頭、11・12・14～18は中期の黒髮式土器、13・19～21は後期に比定され、21は免田式土器タイプであるが、文様が無い。

石器では打製石鎌のほか磨製石鎌、石包丁などがある。



第9図 III～IVa層出土 弥生土器

4. 古墳時代

古墳時代の遺構覆土はIVa層と近似しているため、検出が困難であった。1号・5号住居のように、掘り戻しが不明瞭なことからサブトレンチ・拡張を繰り返して掘りあげた遺構もある。

遺構は竪穴住居のほか、掘立柱建物跡、小型の方形竪穴、円形土坑がある。また、自然流路が2条検出され、遺物を大量に含む1号(SX-01)の大部分を発掘した。

竪穴住居はⅢ区とⅩI区周辺に多い他は点在した状況で、19軒(SA-01~14・17~21)を検出した。

1号住居(第10・11図、図版5・94)

東西6.04m、南北5.16mの長方形を呈し、深さは35cmである。直径32~52cm・深さ10~47cmの柱穴を検出したが、主柱穴は4本と思われる。中央には73×92cm・深さ21cmの炉穴があり、炭の粗細粒を含んでいる。出土遺物は土師器の破片が多く、中でも丹塗りの高杯と鉢が多い。

2号住居(第11図右下、図版6・94)

3.86×4.12×3.92~4.4mの方形を呈し、深さは10~20cmである。直径42cm・深さ17~20cmの柱穴を北西端と北東端に検出した。出土遺物は土師器の細片が多い。

3号住居(第12・13図、図版6・95)

東西5.9m、南北7.5mの長方形を呈し、深さは21~25cmである。直径25~30cm・深さ8~25cmの柱穴を検出。東側3基は直線的に並ぶ。出土遺物は、土師器の細片が多い。

4号住居(第14図、図版8・95)

東西2.84m以上、南北4.96~5.28mの方形と思われ、深さは21~29cmである。柱穴は3基で、直径35~50cm・深さ13~29cmである。出土遺物は、若干の土師器がある。

5号住居(第16~18図、図版7・95・96)

東西8.0m、南北7.6~9.08mの略方形を呈し、深さは45cm内外である。柱穴は、直径21~72cm、深さ7~31cmで、規則性が無い。北西隅は1段(28cm)高く、南壁沿い西寄りには長さ2.78m、幅92cm、深さ12cmの長方形土坑がある。

中央部には、長さ90cm・幅70cm・深さ14cmの炉穴があり、壠(底部と体部4分の1程度)を埋め込んでいる。覆土には焼土塊と炭片を若干含み、土器片周囲の土が若干橙色に焼けている。

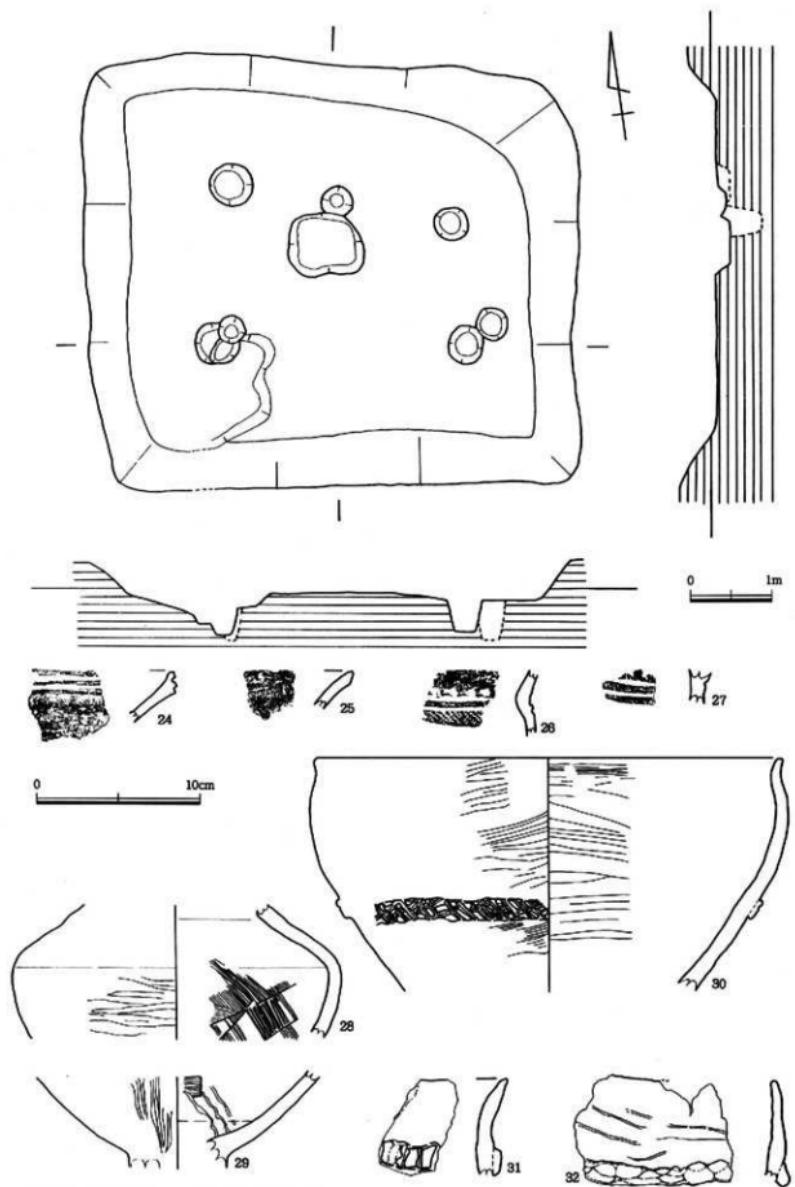
住居覆土の最下層は若干の炭片を含み、南西部床面においては数点の炭化材が出土した。その傍らには壺形土器の完形品が1点横転していた。出土遺物は、多くの土師器片と、数点の須恵器片がある。

6号住居(第19図、図版8)

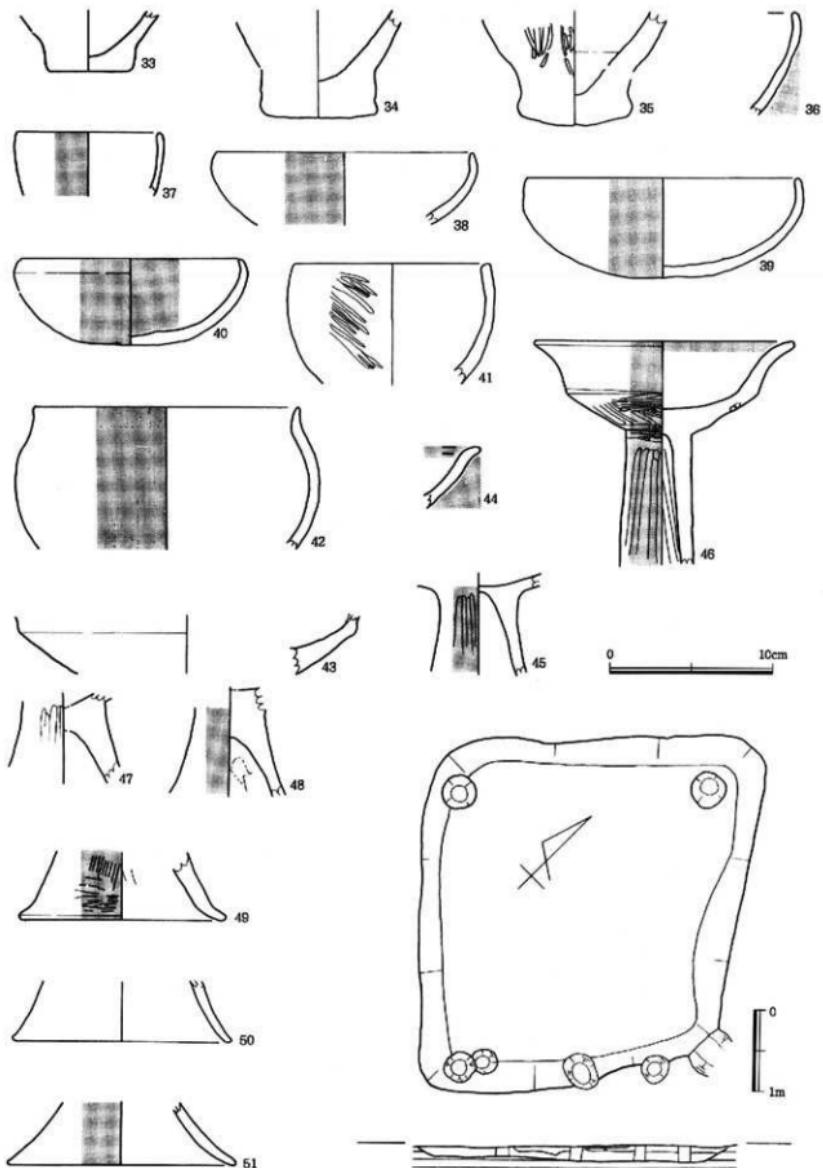
東西0.78m以上、南北7.12m、深さ20cmである。柱穴は、直径34~52cm・深さ16~23cmである。出土遺物は、土師器の細片が少量である。

7号住居(第20図、図版8・96)

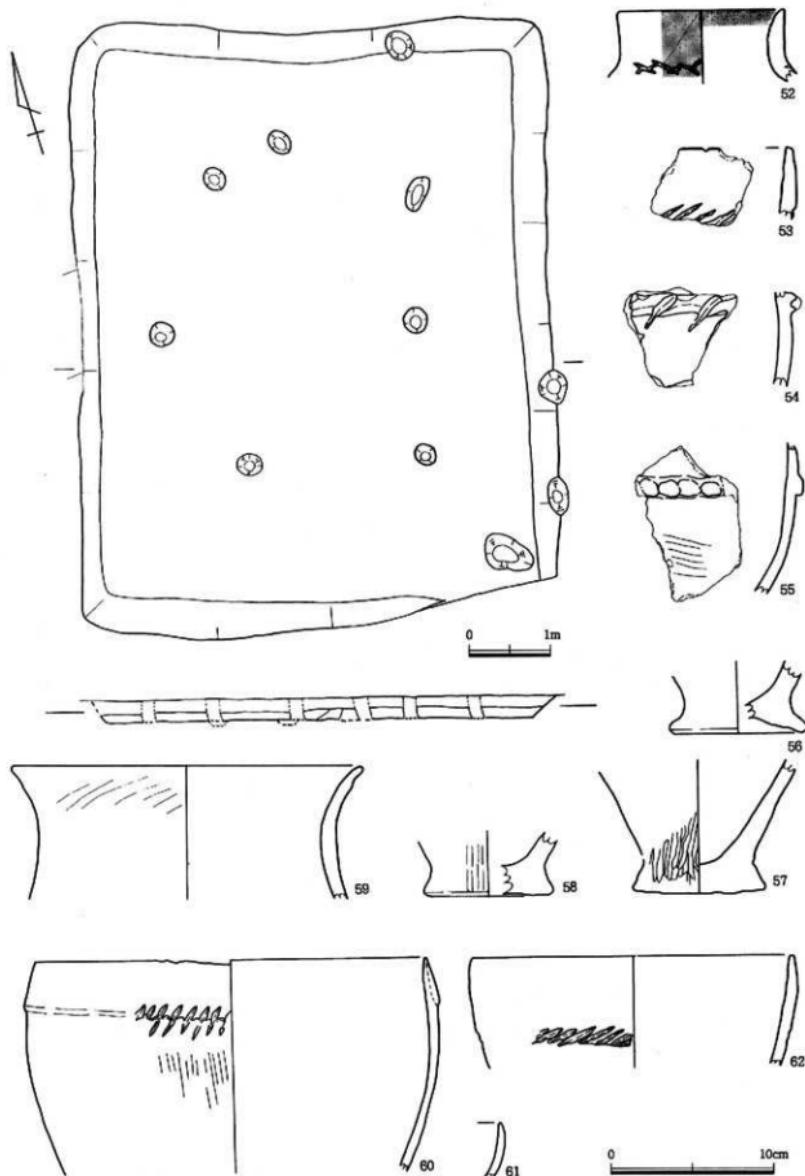
東西3.7m、南北5.6mの長方形を呈し、深さは16cm、2段目(北半部)は37cmである。柱穴は直径20~43cm・深さ20~36cmのものが6基ある。



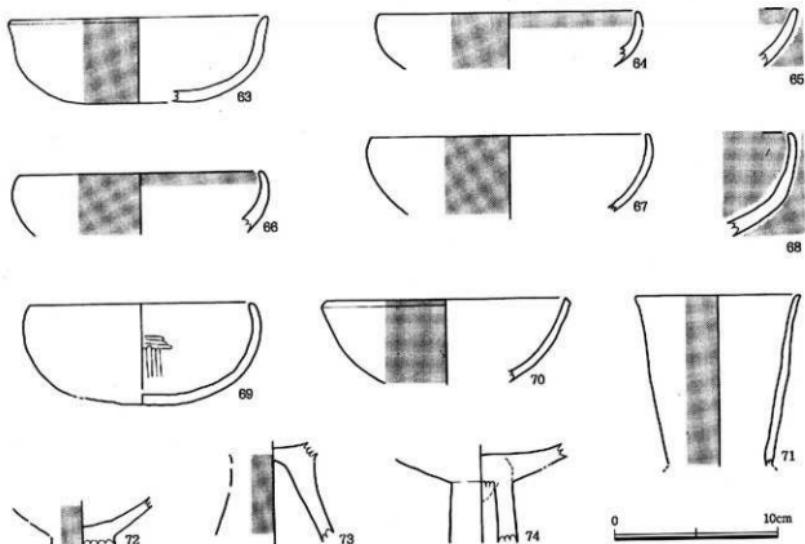
第10図 1号住居および出土遺物実測図(1)



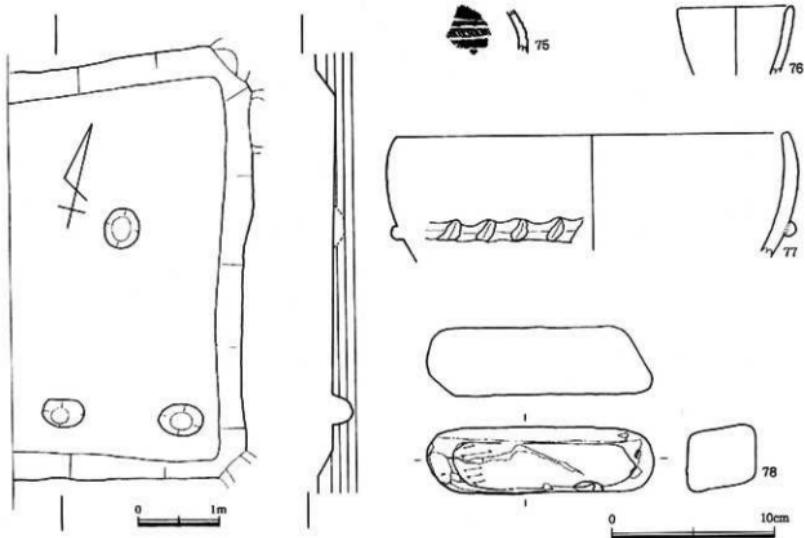
第11図 1号住居出土遺物（2）および2号住居造構天測図



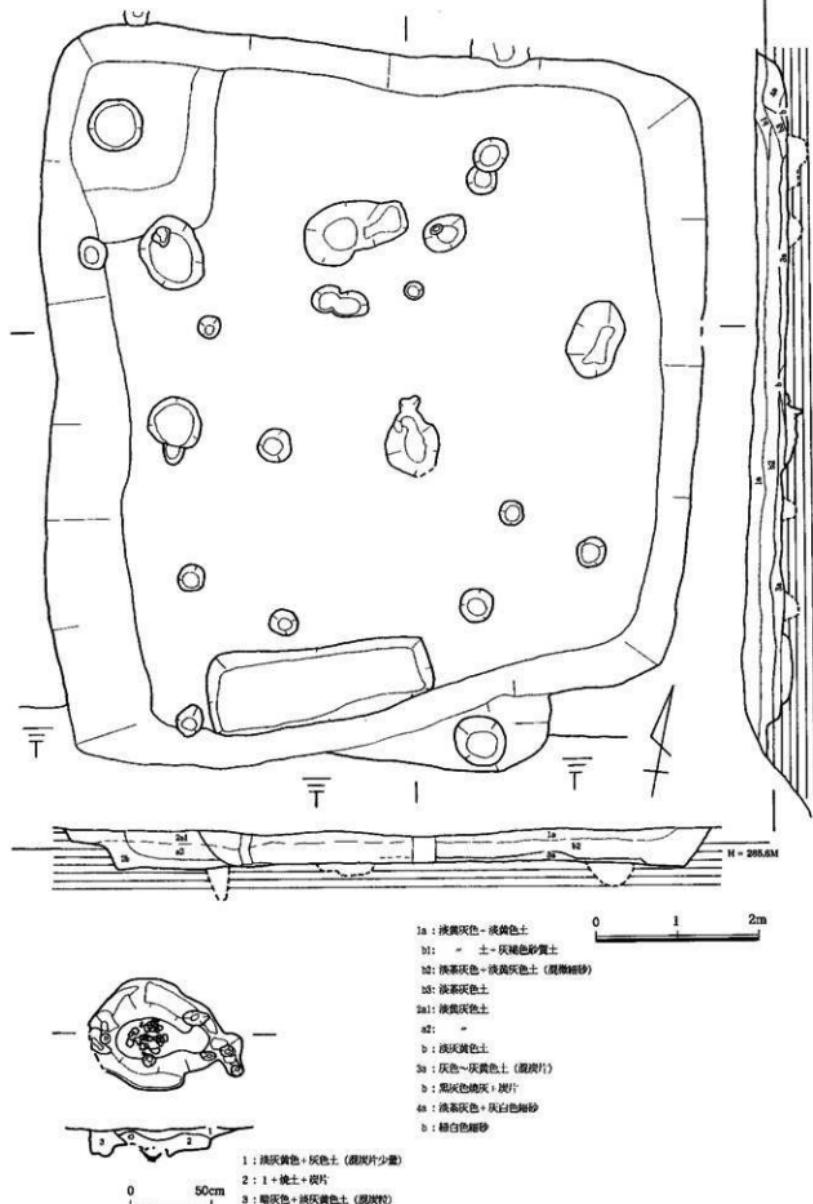
第12図 3号住居および出土物実測図(1)



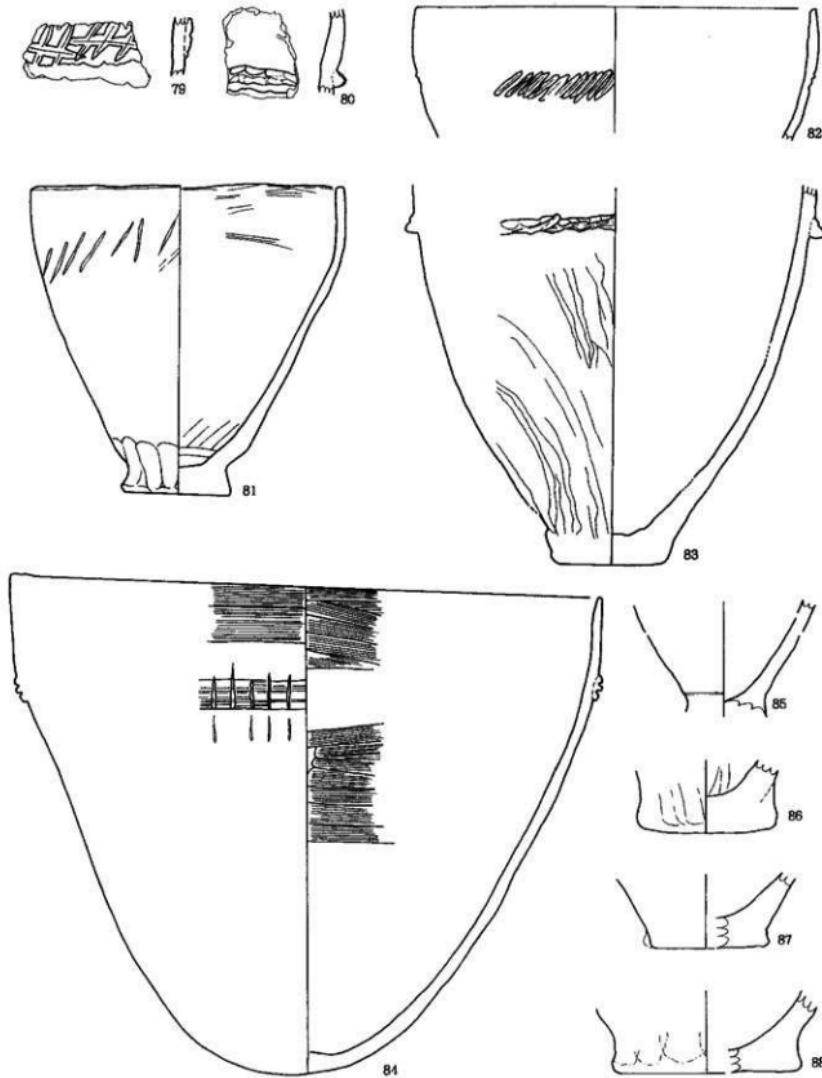
第13図 3号住居 出土遺物実測図(2)



第14図 4号住居および出土遺物実測図

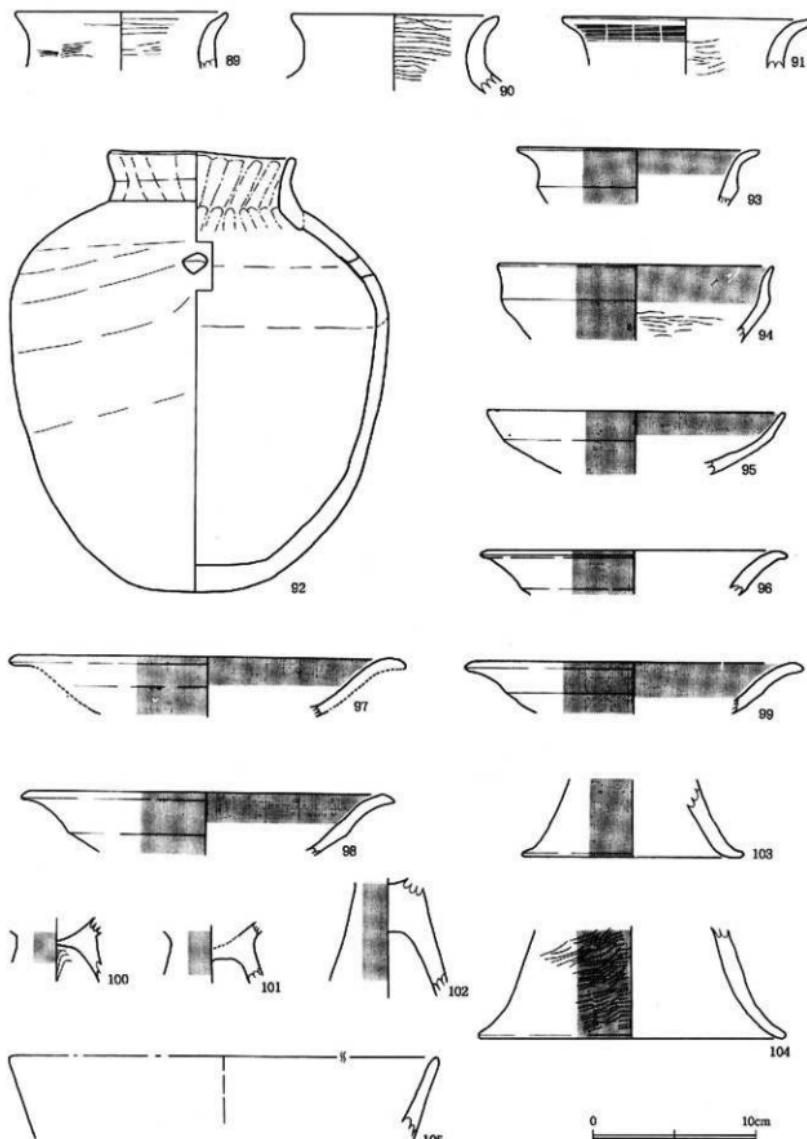


第15図 5号住居 遺構実測図

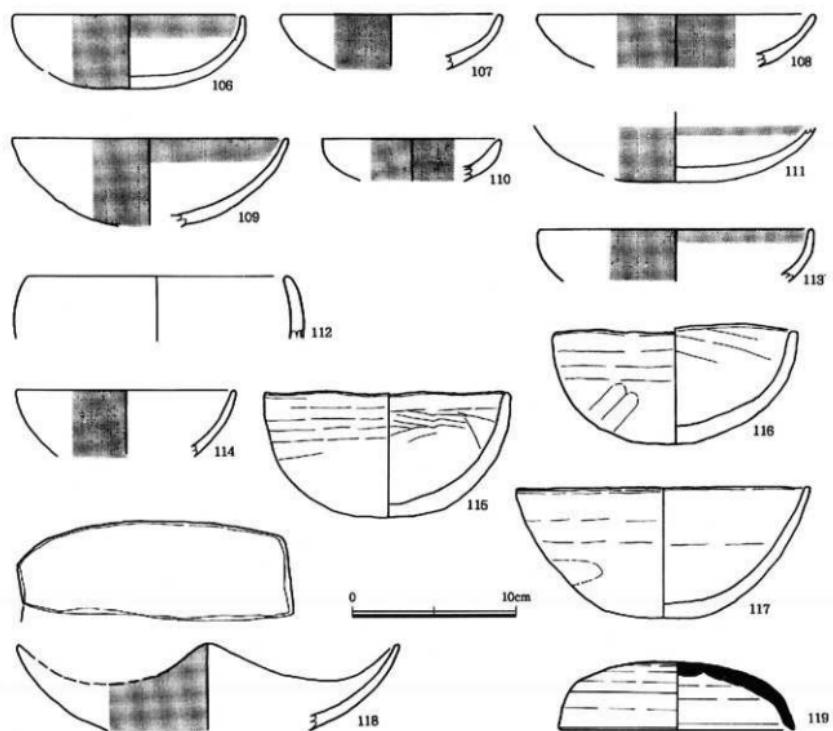


0 10cm

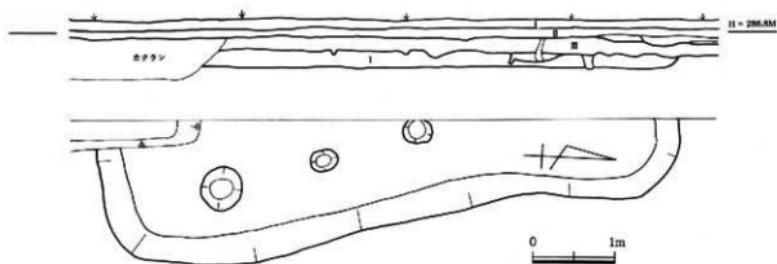
第16図 5号住居 出土遺物実測図(1)



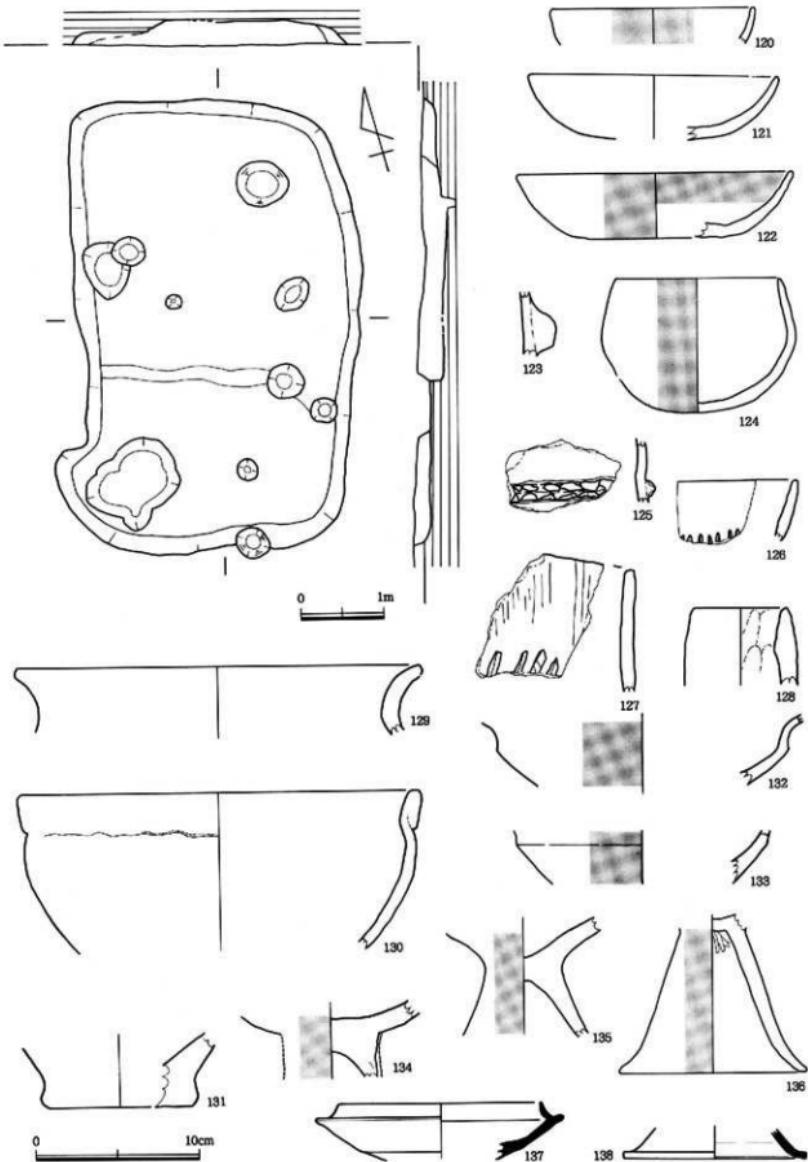
第17図 5号住居 出土遺物実測図(2)



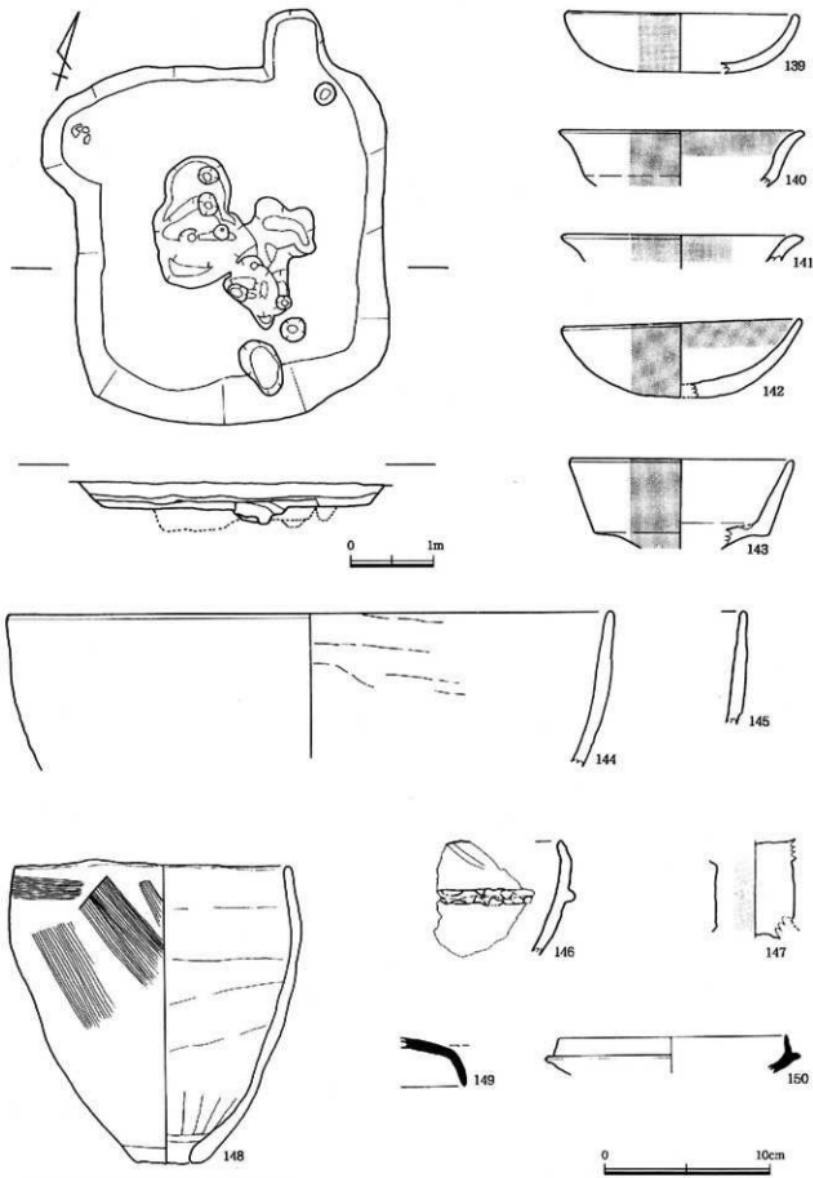
第18図 5号住居 出土遺物実測図(3)



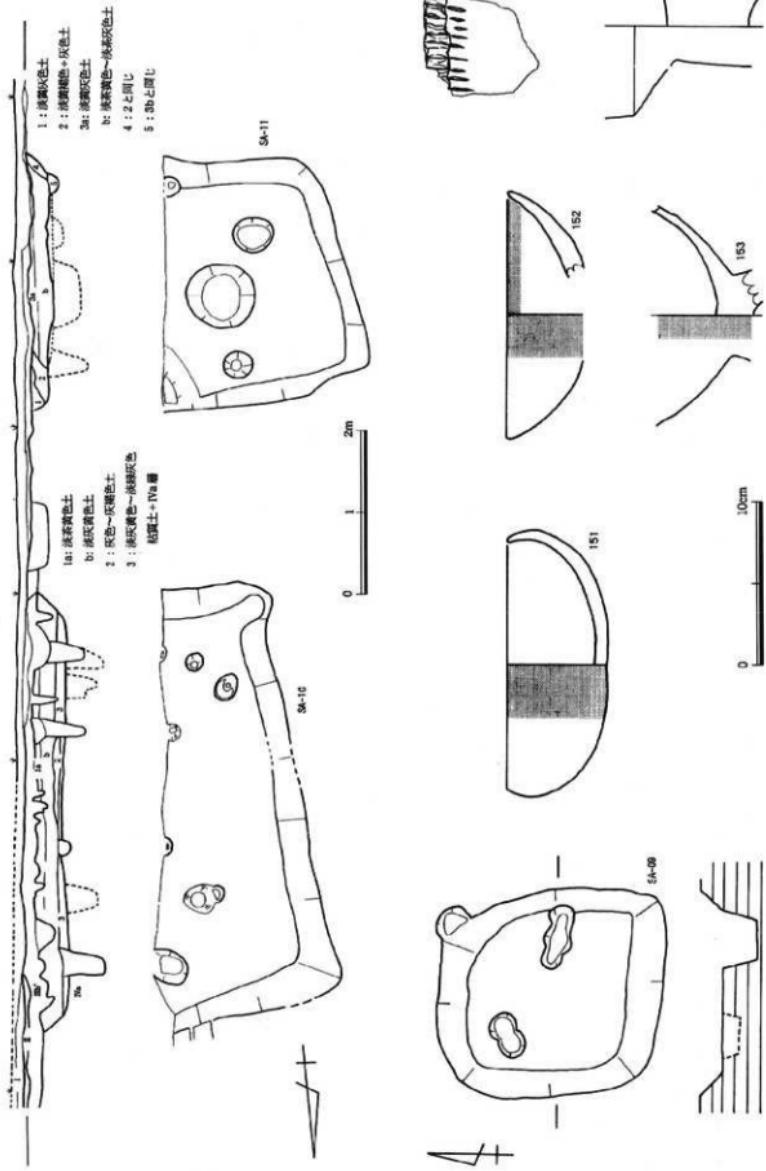
第19図 6号住居 遺構実測図



第20図 7号住居および出土遺物実測図



第21図 8号住居および出土遺物実測図



151 : SA-09、152・153・SA-10、154・155・SA-11

第22図 9～11号住居および出土遺物実測図

出土遺物は、多くの土師器片と若干の須恵器片がある。

8号住居（第21図、図版8・96）

東西3.67m、南北4.3mの方形を呈し、深さは30cmである。柱穴は北東隅に直径24cm・深さ11cmのものが、南東部に直径30cm・深さ24cmのものが検出された。中央やや西寄りには、長さ1.6m・幅1.2m・深さ22cmの2段掘りの炭片を含む炉穴があり、甌が出土した。

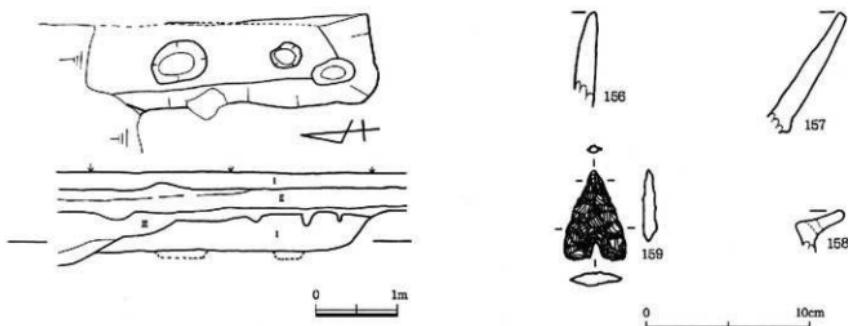
出土遺物としては、土師器細片のほか、若干の須恵器がある。

9号住居（第22図、図版9・97）

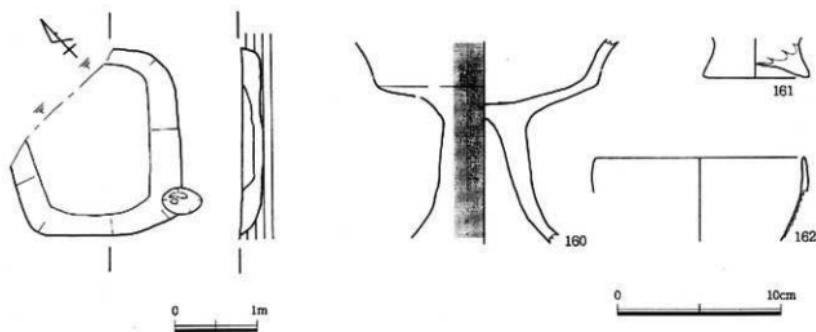
東西2.5m、南北2.7mの方形を呈し、深さは30cmである。柱穴は、直径24~34cm・深さ30~40cmのものが2ヶ所に連なる。

10号住居（第22図、図版10・97）

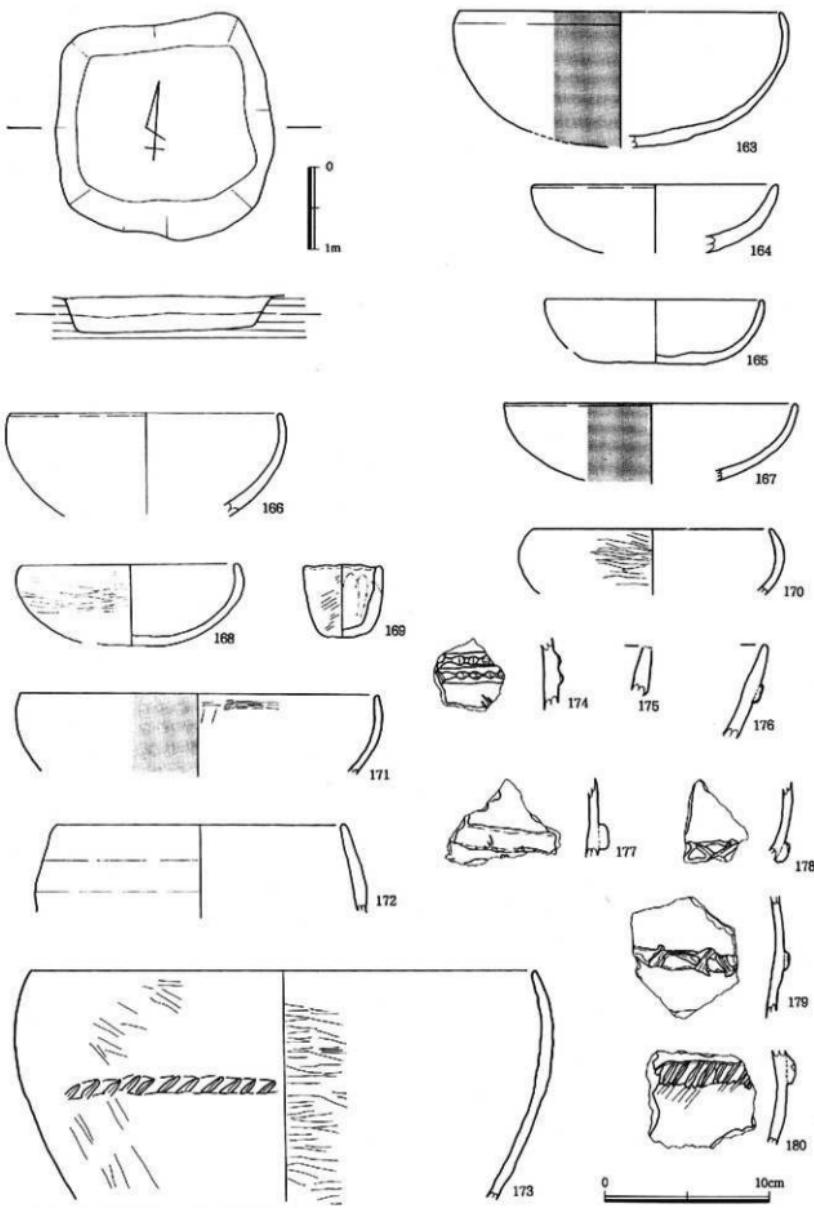
東西4.8m、南北5.2mの方形を呈する。深さは30cmであるが、5~10cmの貼り床がある。柱穴は、直径22~40cm・深さ10~46cmである。出土遺物は、若干の土師器と須恵器がある。



第23図 12号住居および出土遺物実測図



第24図 13号住居および出土遺物実測図



第25図 14号住居および出土遺物実測図（1）

11号住居（第22図、図版10・97）

東西2.56m以上、南北2.96mの方形を呈し、深さは20~26cmである。柱穴は、直径22cm・深さ8cmのものと直径30cm・深さ50cmのものがある。中央には、直径80cm・深さ32cmの土坑がある。

出土遺物としては、若干の土師器細片がある。

12号住居（第23図、図版10）

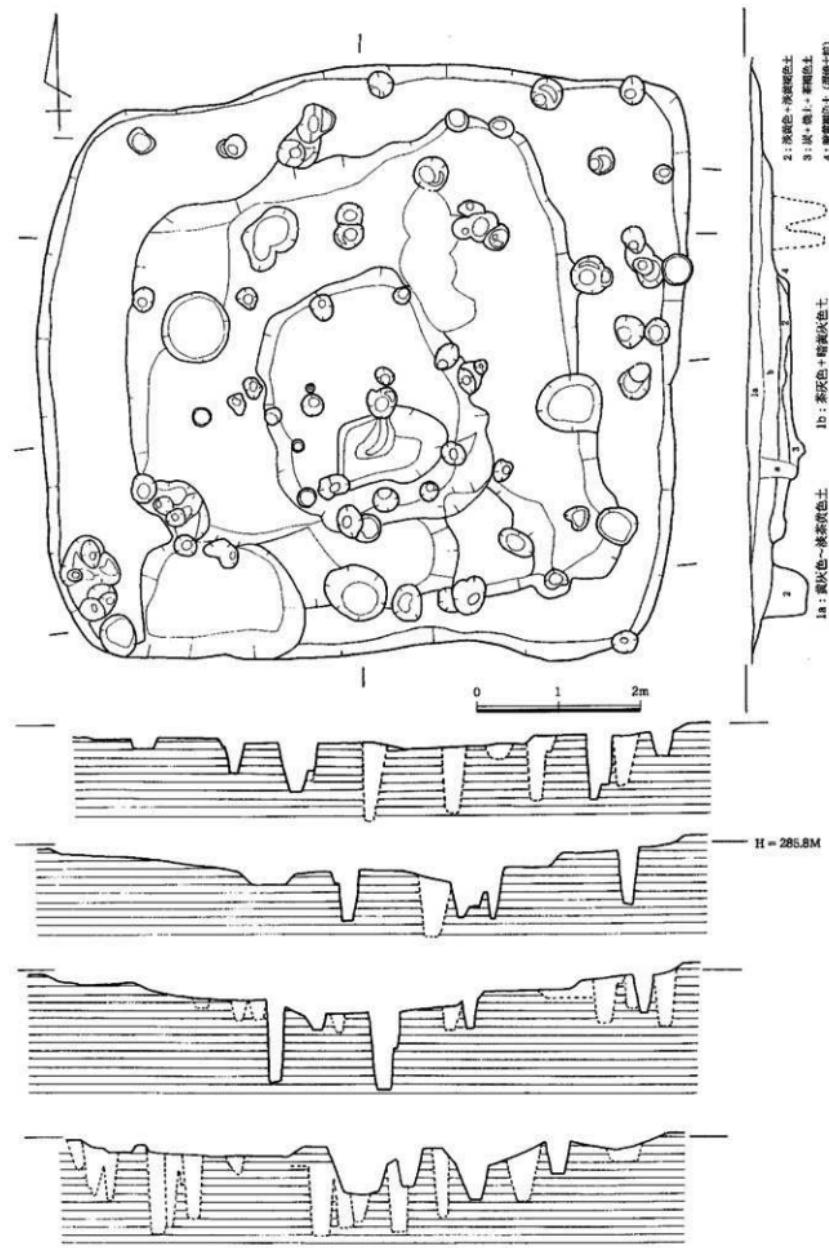
5号溝に切られており、東西0.96m、南北1.6mの範囲のみ確認した。深さは42cmで、柱穴は、直径28cmと64cm・深さ10cmのものがある。出土遺物は、若干の土師器細片がある。

13号住居（第24図、図版11・97）

2.06×3.16mの方形を呈し、深さは25cmである。柱穴は無く、出土遺物は若干の土師器がある。



第26図 14号住居 出土遺物実測図（2）



第27图 17号住房 造構実測図

14号住居（第25・26図、図版11・97）

2.44×2.65mの隅円方形を呈し、深さは35~44cmである。柱穴は無い。出土遺物は、相当量の土師器片のほか若干の須恵器がある。

17号住居（第27・28図、図版12・97）

東西7.8m、南北7.2mの隅円方形を呈し、3段掘りである。周囲は幅40~168cmのベッド状構造となり、中央は3×2.6mの掘り込みと1.4×0.8mの炉穴がある。中央最深部は、深さ60cmである。柱穴は、直径16~44cm・深さ30~96cmと様々であるが、2段目の掘り方・5.6m四方が初期の住居で、拡張されたものとすれば、柱穴を位置と浅深によって分別可能である。

出土遺物は、若干の土師器に加え、壺・甕・鉢のミニチュアがある。

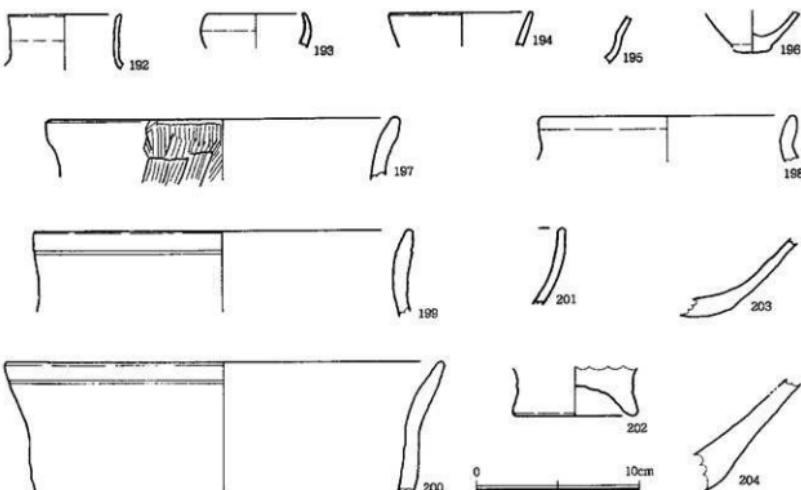
18号住居（第29・30図、図版12・13・98）

東西4m以上、南北6.1mの隅円方形と思われ、30cm下がって幅10~108cmのテラスがあり、幅3.6m・深さ12~25cmの2段目がある。断面層序図1~3層の埋まり方と2段目の平面的位置からすると、重複した住居の可能性がある。

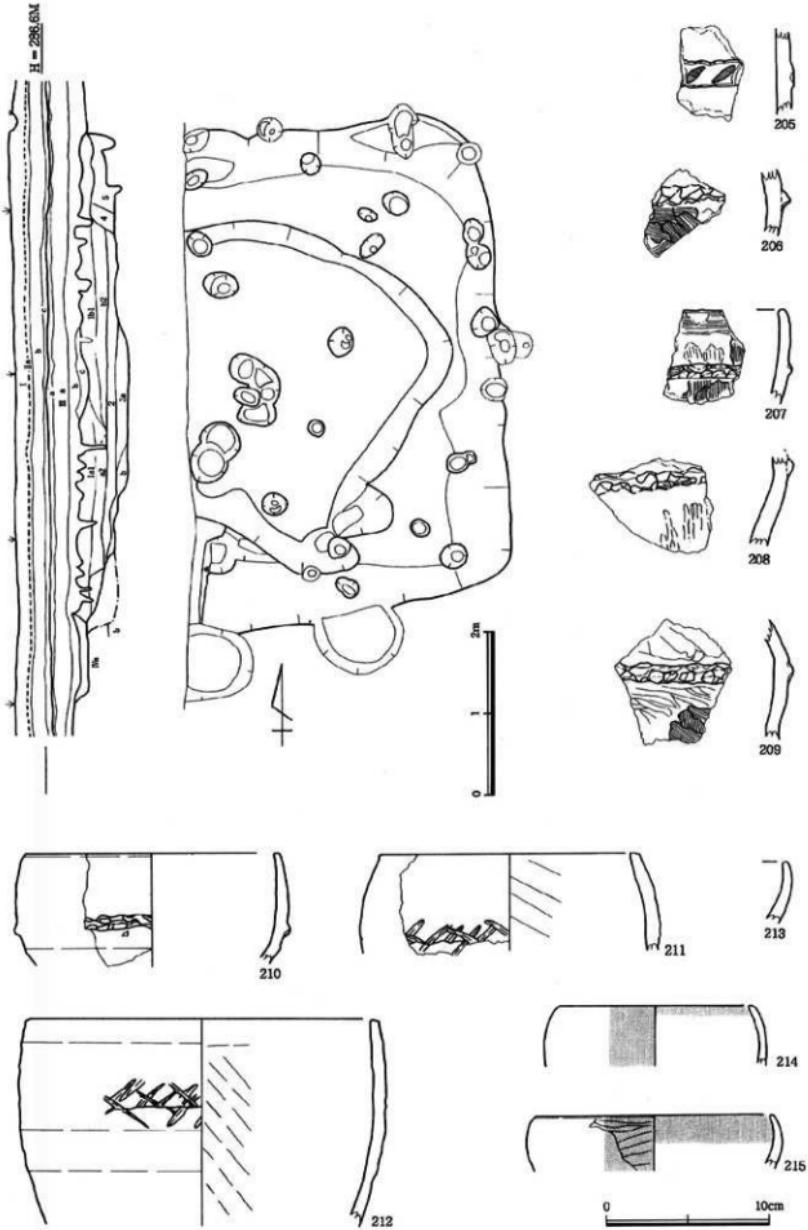
中央pitには、土師器・甕の底部が埋められていた。このほか、覆土から土師器片・須恵器片のほか、鉄鎌と鉄鎌の茎部が出土した。鉄鎌は、11.8cm程度が遺存した曲刃で、右端がコの字型に折り曲げられている。

19号住居（第31図、図版13・98）

東西4.3m、南北3.7mの隅円方形を呈し、深さは35cmである。柱穴は、直径20~50cm・深さ8~55cmのものが散在する。中央やや南側のpitには台付鉢が埋められていた。



第28図 17号住居 出土遺物実測図



第29図 18号住居および出土遺物実測図（1）

20号住居 (第32図、図版14・98)

東西3.5m、南北3.02mの隅円方形を呈し、深さは20~26cmである。中央には直径28cm・深さ40cmの柱穴と直径36cm・深さ33cmの柱穴が、長さ86cm・深さ18cmの溝で繋がっている。周辺には、直径15~34cm・深さ16~25cmの柱穴が北西部分と東側中央部にある。

出土遺物は少ないが、土師器の壺半個体と丹塗りの台付鉢が出土している。

21号住居 (第33図、図版14・99)

東西3.8~4.07m、南北4.36mの少しいびつな隅円方形を呈し、深さは7~14cmである。柱穴は、直径13~37cm・深さ6~37cmのものが南西寄りに散在する。

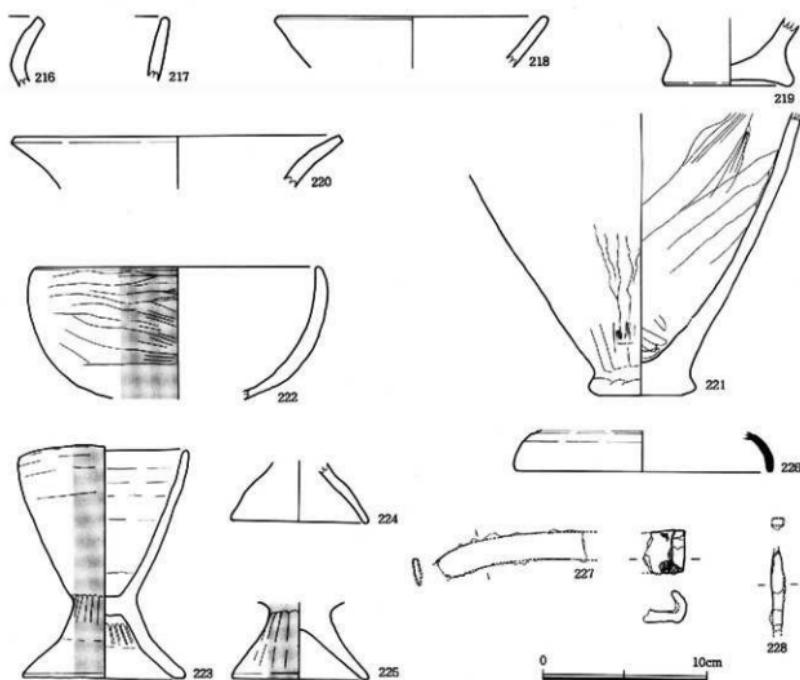
出土遺物は、若干の土師器片がある。

1号土坑 (SK-01)

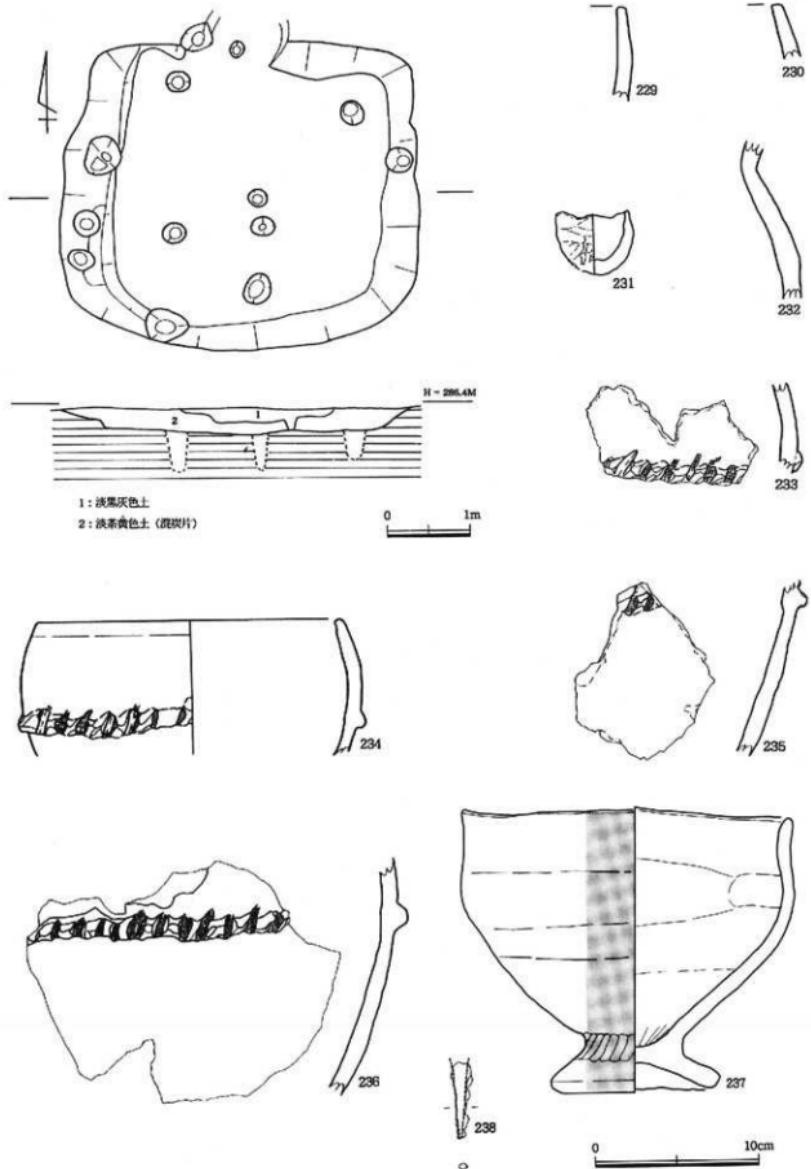
東西2.3m、南北2.1mの方形を呈し、深さは45cmである。出土遺物は無い。

2号土坑

東西1.8m、南北1.54mの楕円形を呈し、深さは5cmである。出土遺物は、若干の土師器がある。



第30図 18号住居 出土遺物実測図 (2)



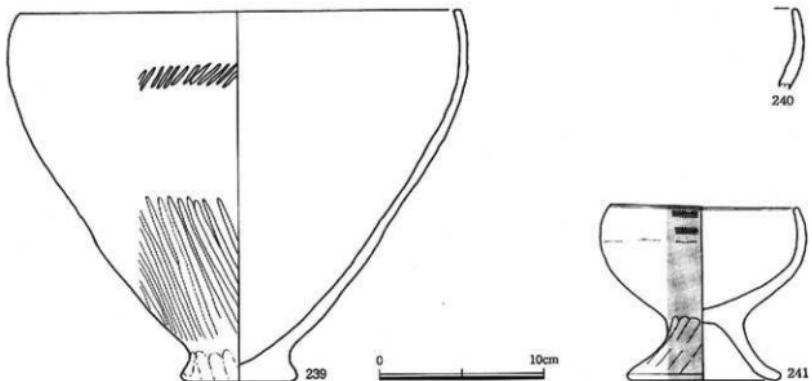
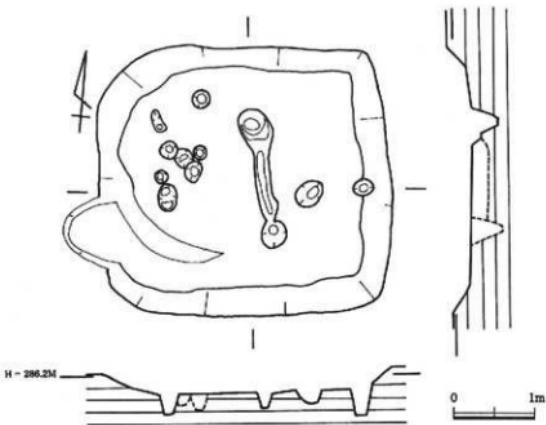
第31図 19号住居および出土遺物実測図

3号土坑（図34図、図版15・99）

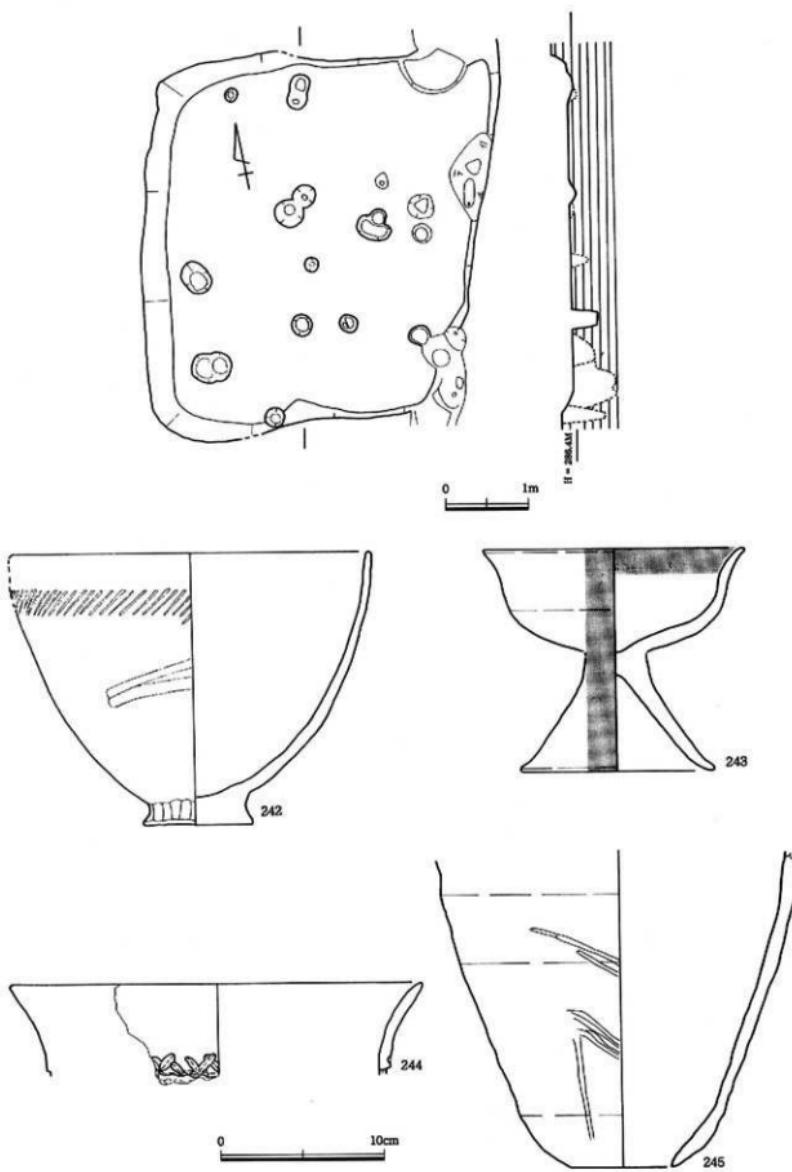
東西1.04m、南北1.15mの円形を呈し、深さは30cmである。多くの土師器片と、完形の丹塗り鉢が出土した。

4号土坑（図版15）

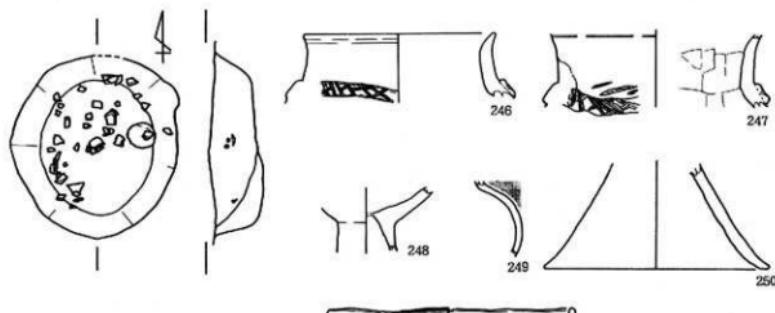
東西2.9m、南北2.5mの不整形で、深さは20cmである。底面には、直径30~40cm・深さ30cmの柱穴がある。覆土から若干の土師器片が出土している。機能的には、竪穴住居とも考えられる。



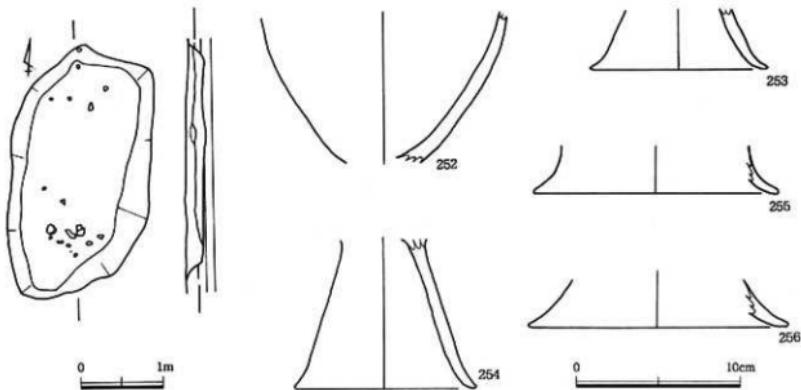
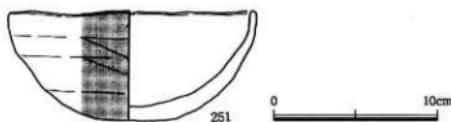
第32図 20号住居および出土遺物実測図



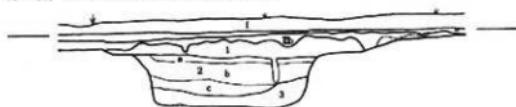
第33図 21号住居および出土遺物実測図



第34図 3号土坑および出土遺物実測図



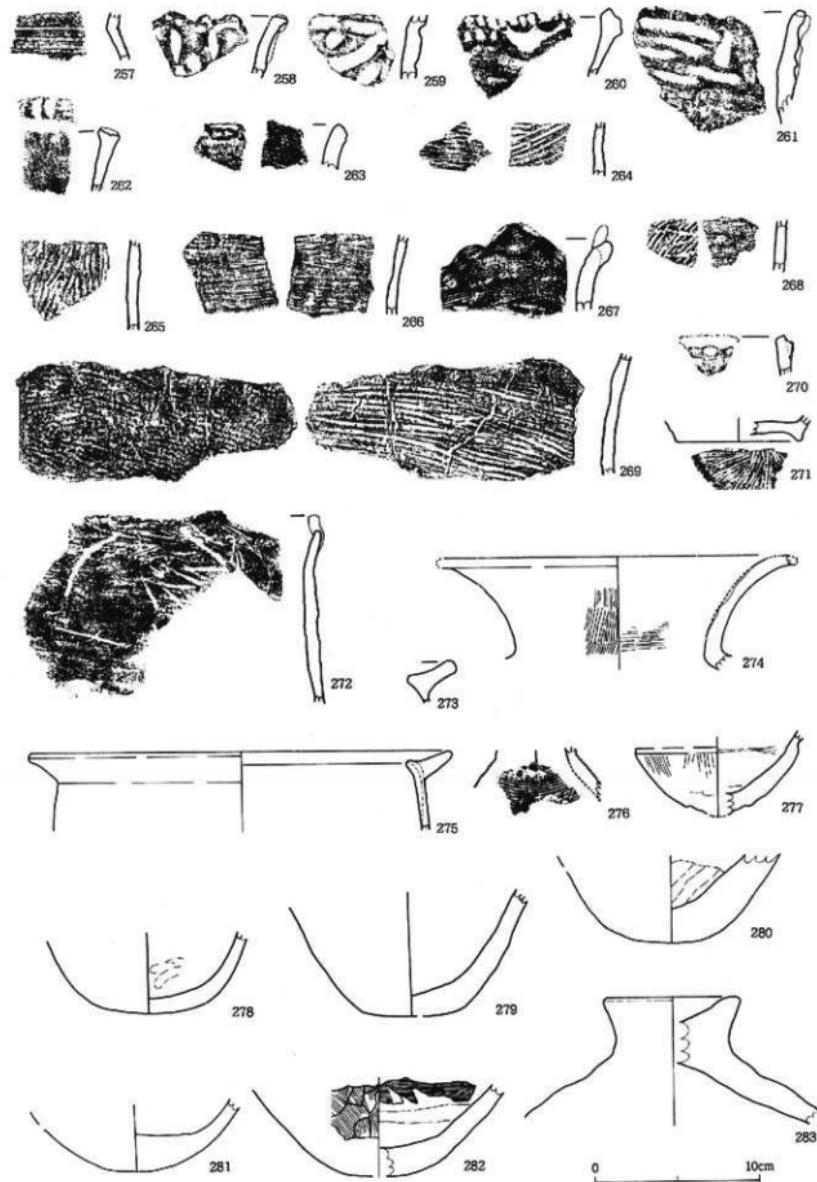
第35図 5号土坑および出土遺物実測図



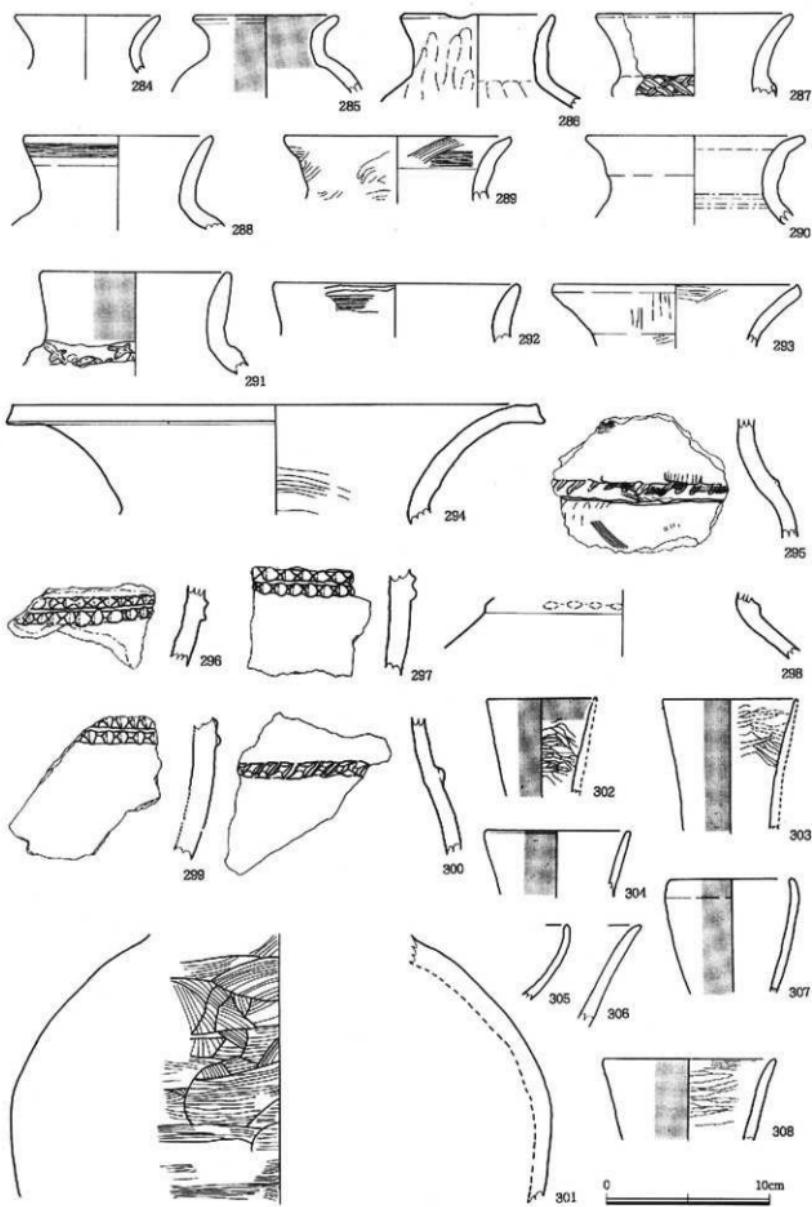
1 : 淡灰黄色土
2a : 1 + 淡灰色～淡黄白色～橙褐色粘質土
b : 淡黄色土 + 淡茶黄色土
c : bと同じ（混炭片）
3 : 淡黄褐色～淡茶黄色土



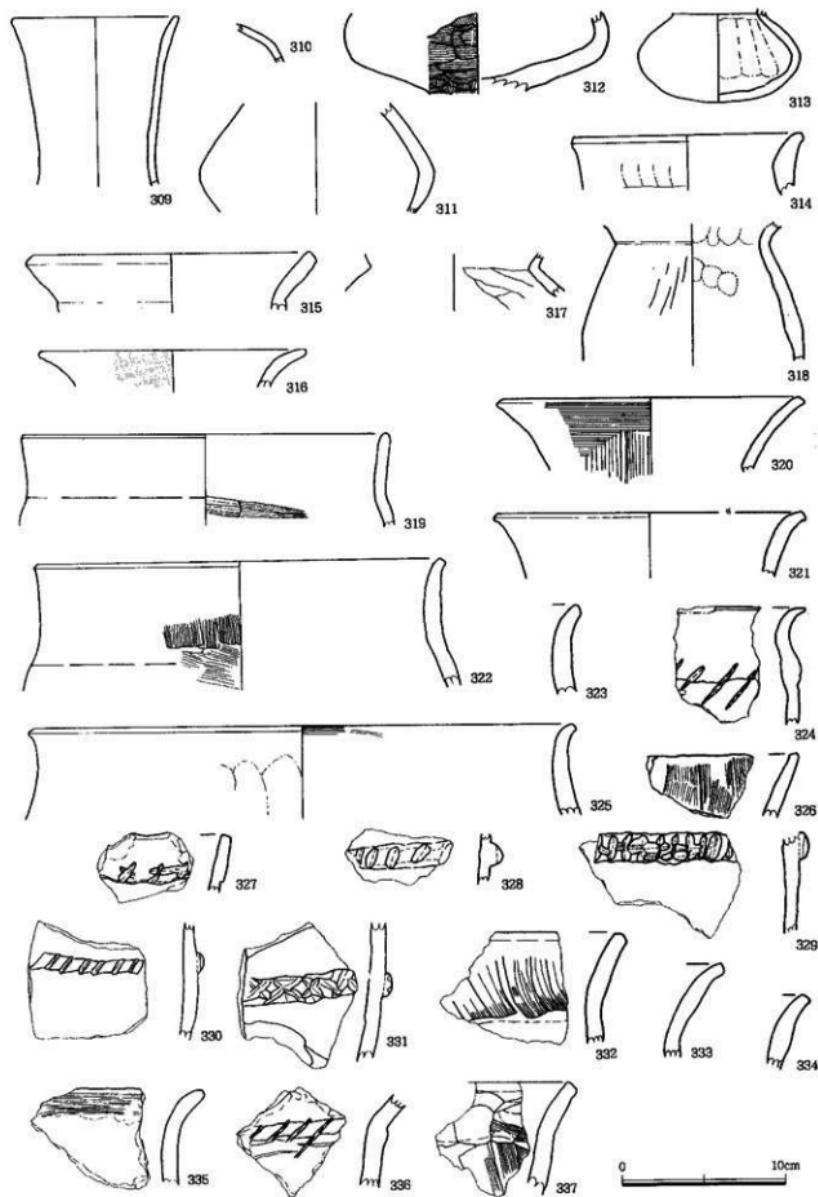
第36図 7号土坑 遺構実測図



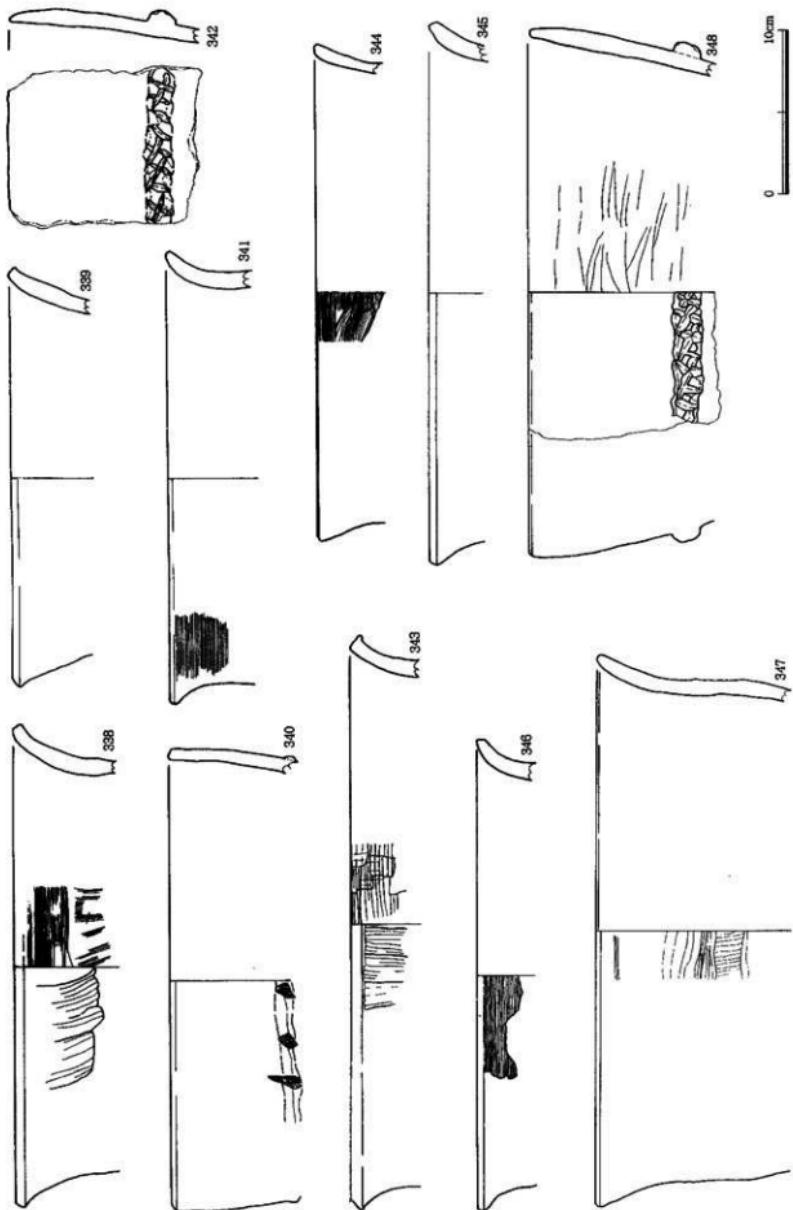
第37图 1号自然流路 出土遗物 (1)



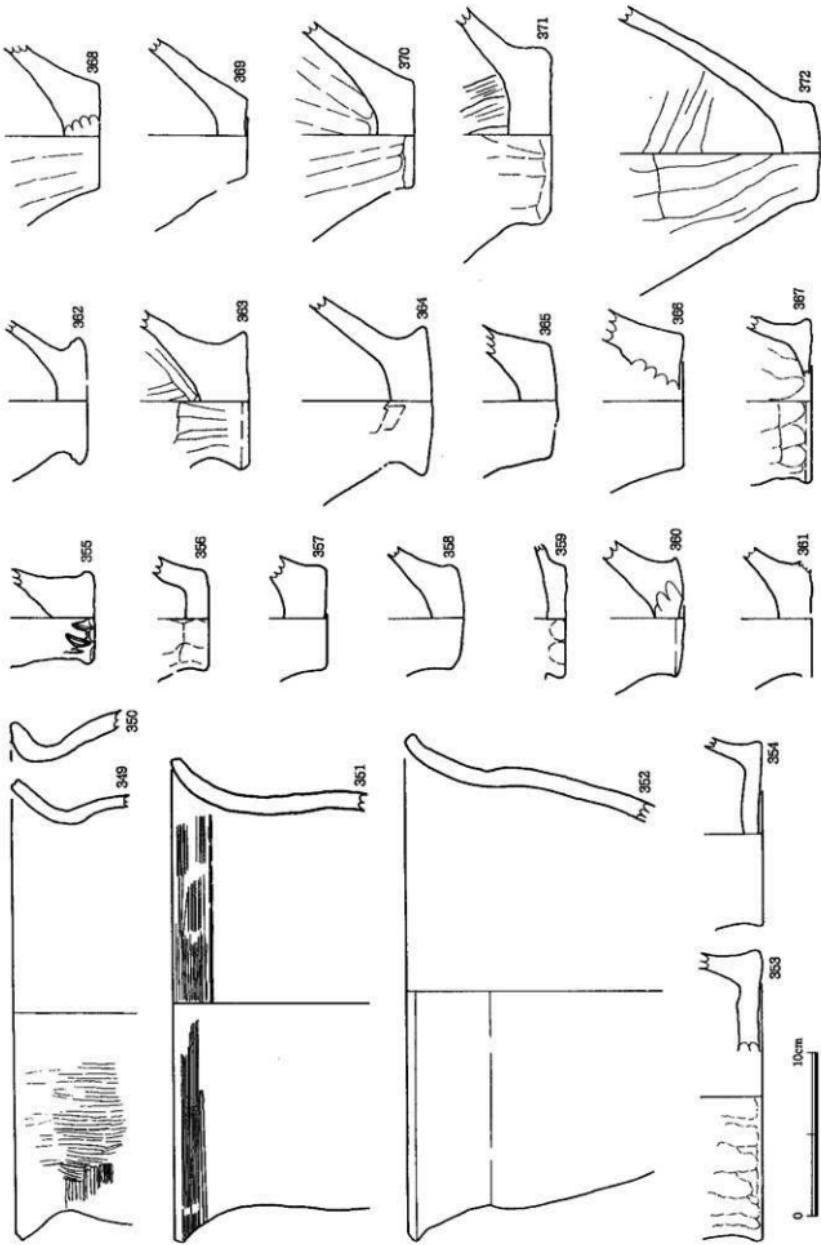
第38図 1号自然流路 出土遺物実測図(2)



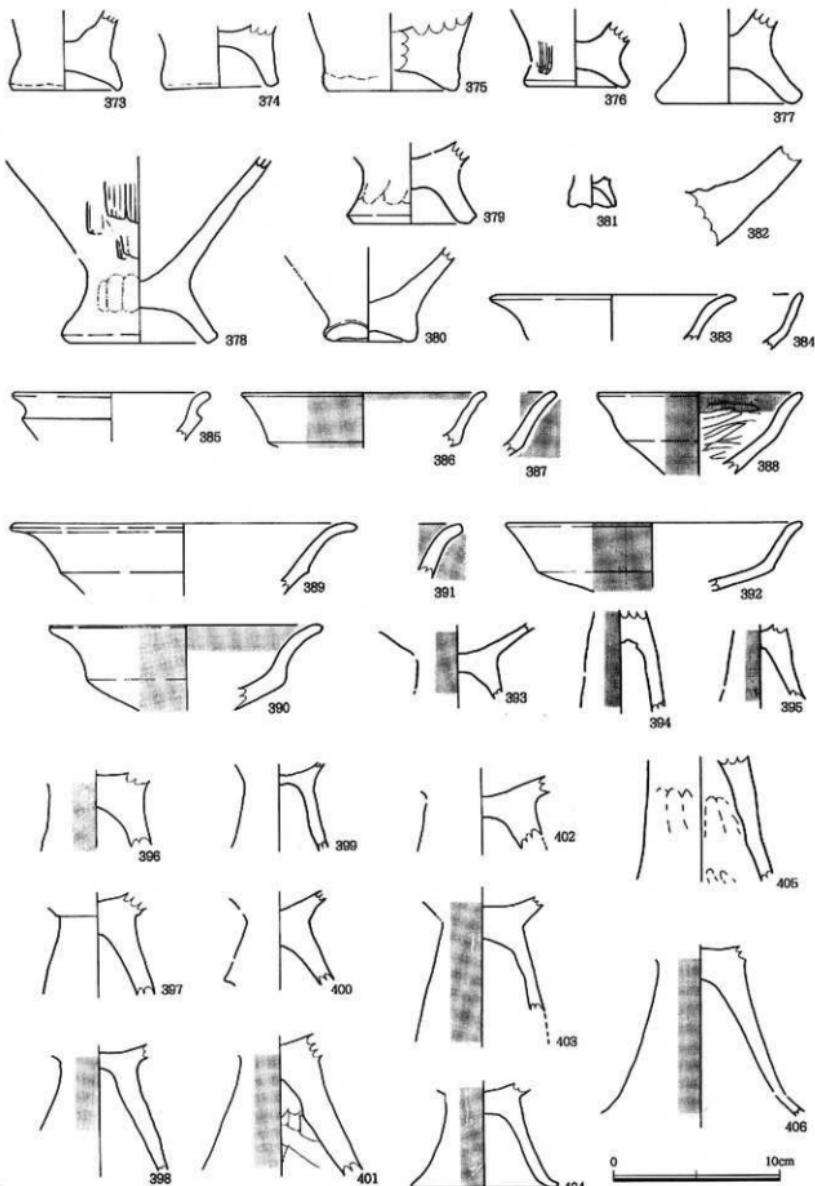
第39图 1号自然流路 出土遗物实测图(3)



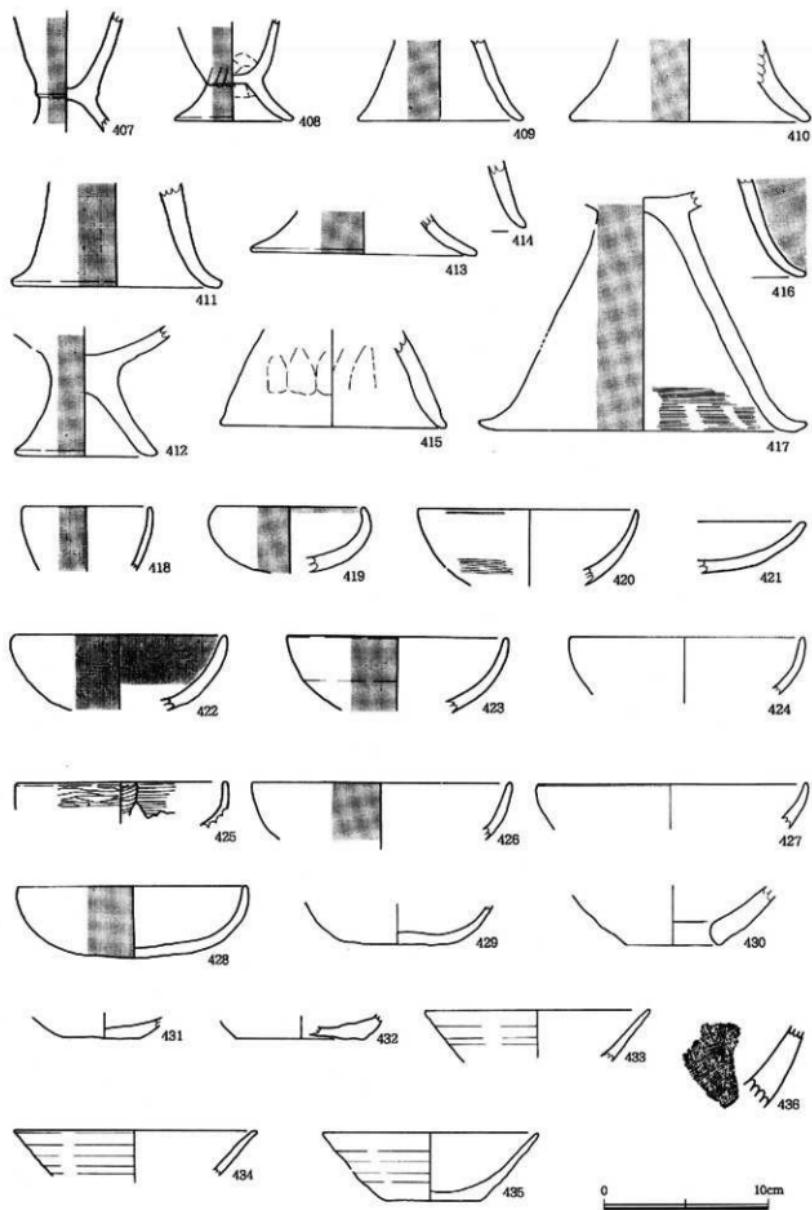
第40圖 1号自然道路 出土物実測図(4)



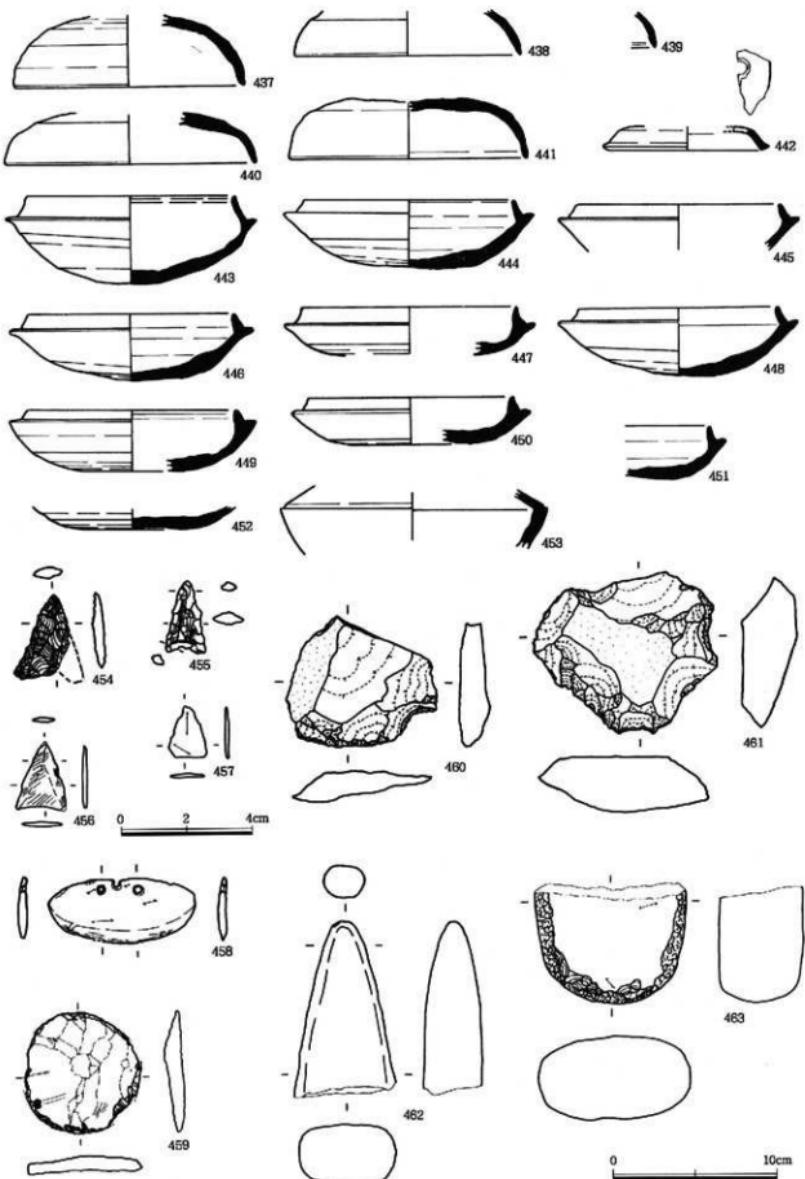
第41图 1号自然道路 出土遗物实测图(5)



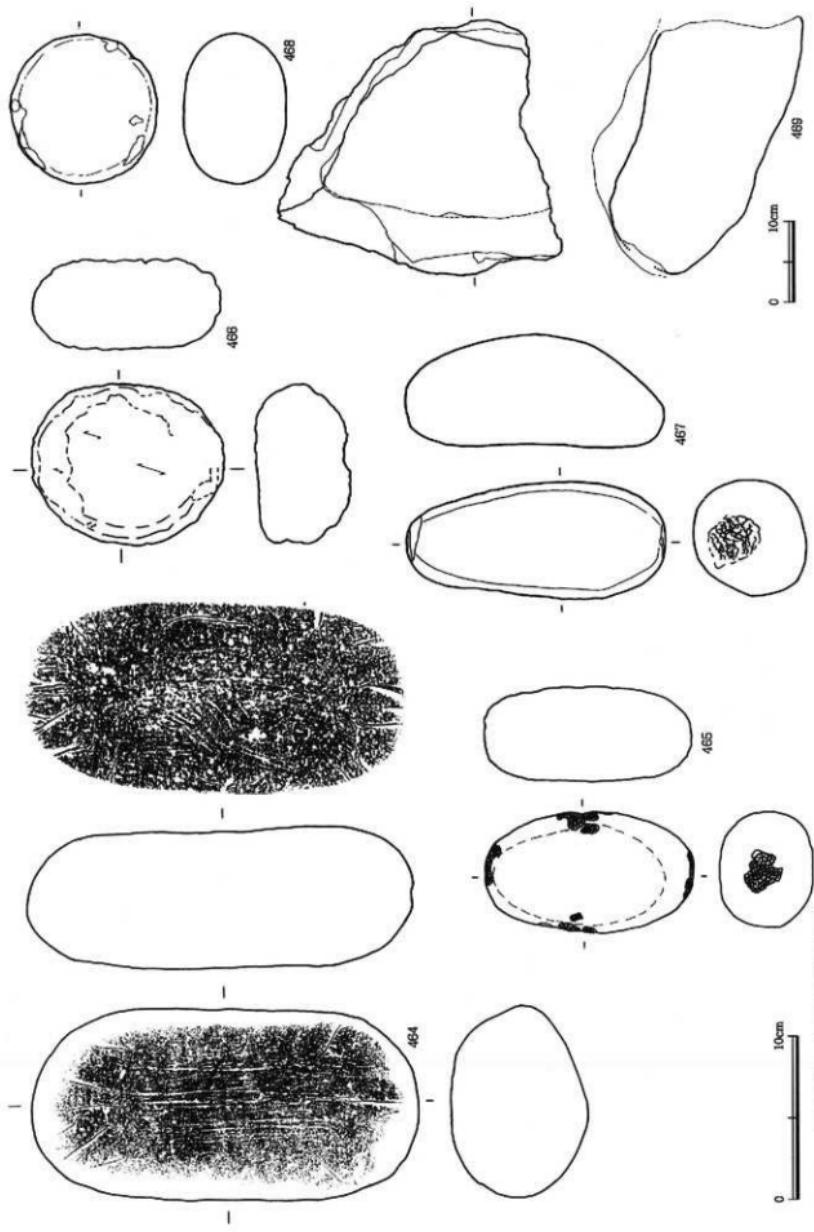
第42図 1号自然流路 出土遺物実測図(6)



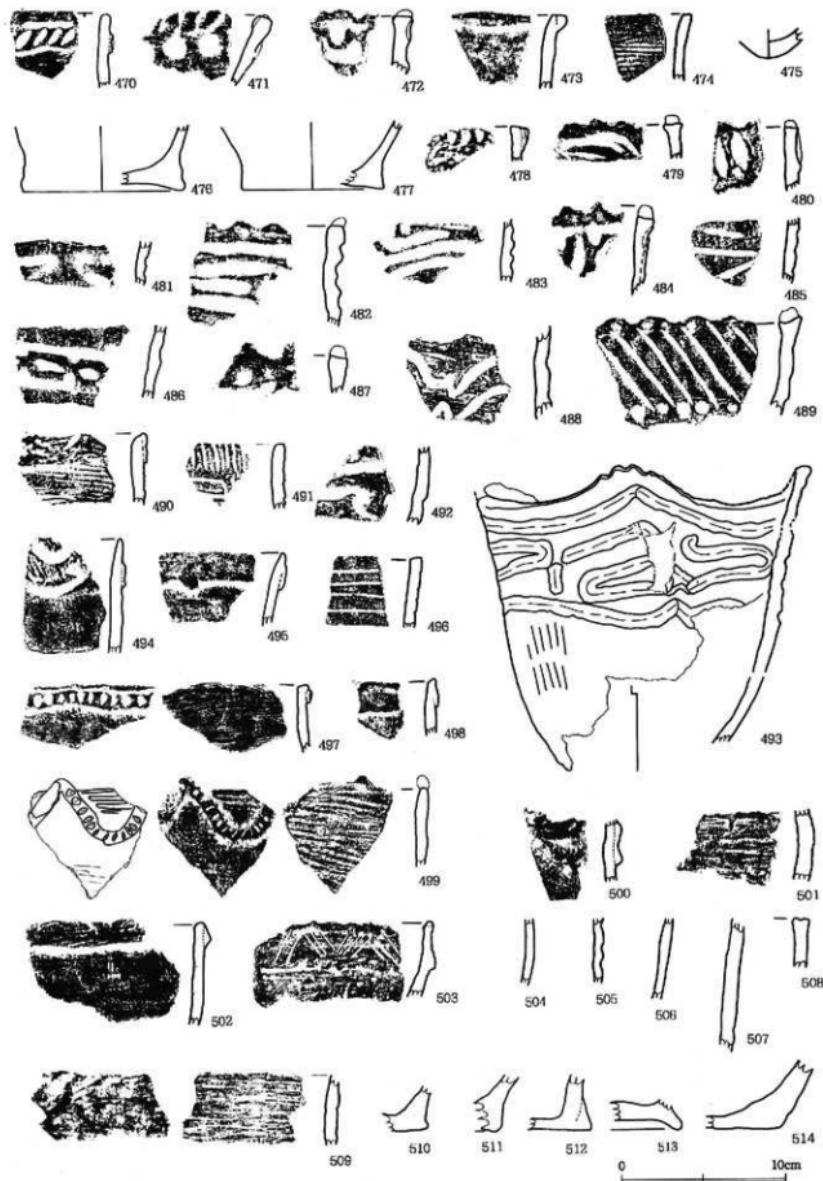
第43图 1号自然流路 出土遗物实测图(7)



第44図 1号自然流路 出土遺物実測図(8)



第45图 1号自然流路 出土遗物实测图(9)



第46図 2号・3号自然流路 出上遺物実測図

470~477 : 2号

5号土坑（第35図、図版99）

東西1.7m、南北3.02mの楕円形を呈し、深さは22cmである。出土遺物は若干の土師器がある。

7号土坑（第36図、図版15・103）

東西3.41m、南北1.2m以上の方形と思われ、深さ8~16cm・幅20~60cmのテラスがある。2段目は60cm下がり、東西1.58mの幅がある。出土遺物は、若干の土師器がある。

11号土坑

東西1.64m、南北1.88m以上の隅円方形を呈する。柱穴は無い。覆土は茶灰色系である。出土遺物は無い。

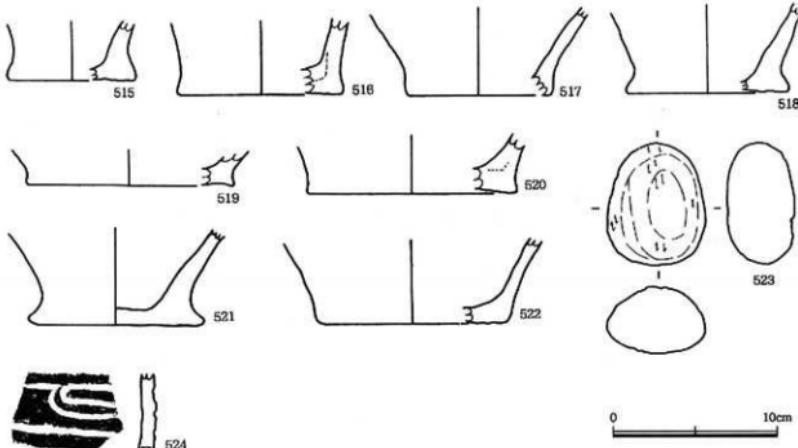
1号自然流路（第5図-SX-01、第37~45図、図版16~19・100~102）

X区南東方向の旧谷川で、幅4m前後・深さ25cm前後の流れ（A）と、幅2m前後・深さ90cm前後の流れ（B）が主である。IVa層上面での造構検出時、流路Bは現われていなかったが、IVa層を10cm程度掘り下げるとき検出された。A・Bともに大量の粗細砂・小礫を含む。西方向の流路Cは削平著しく10~20cm程度の深さしか遺存していないが、少量の縄文土器・土師器が出土した。流路Dは、サブトレンチを入れた結果、遺物が出土しなかったので全掘していない。流路Eの南半部は掘りあげ、若干の土師器が出土した。

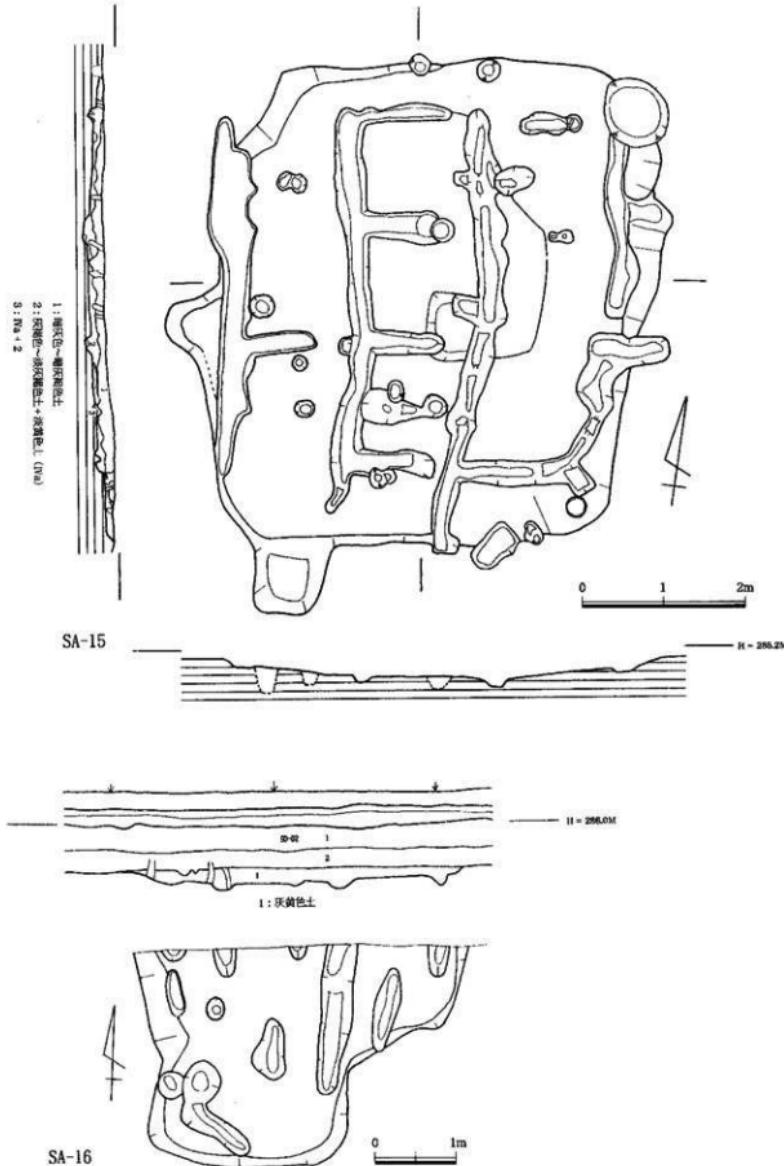
出土遺物のほとんどは流路AとBからの出土で、土師器が多くを占め、若干の縄文土器・須恵器・石器などがある。

2号自然流路（第6・46図）

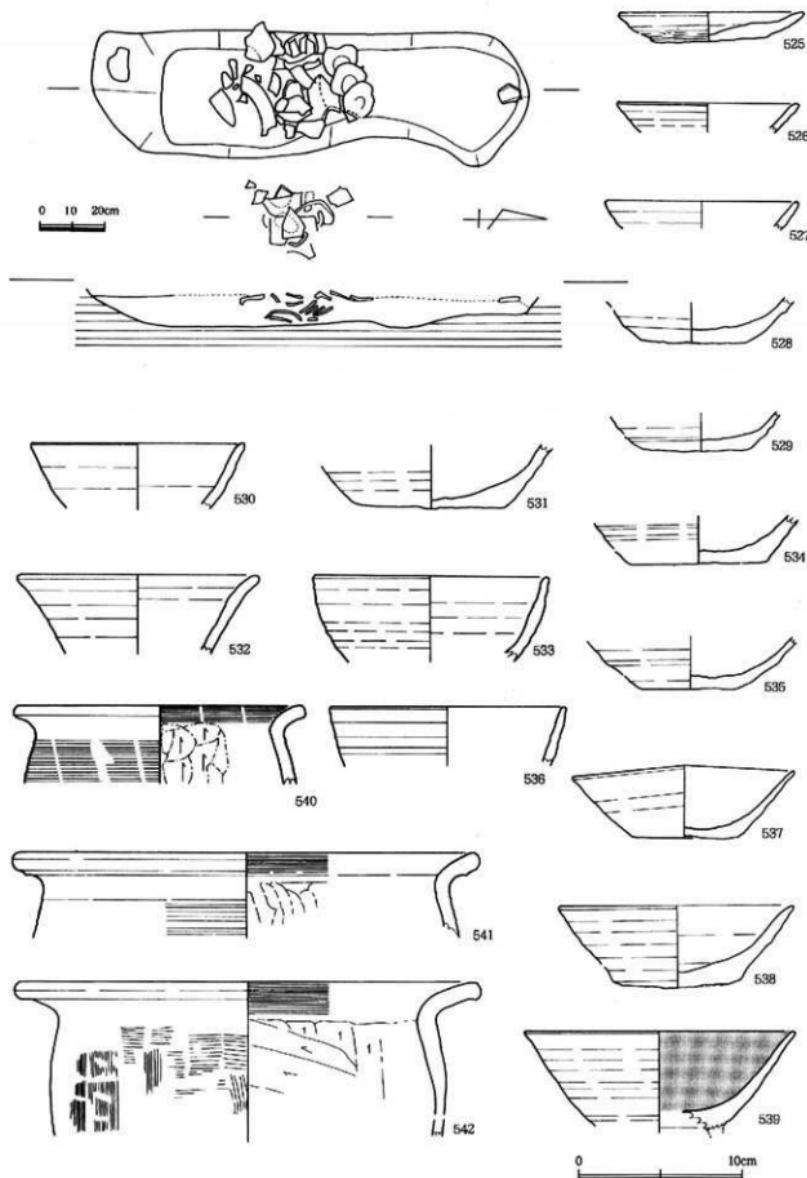
大きくA・Bに分かれ、幅4~5m前後である。流路Aの北側は、IVa層の上層に覆われているために検出が困難である。包藏遺物は極少量で、2号溝内で検出された部分のみ完掘した。流路Bは遺物を包含せず、検出のみにとどまった。



第47図 3号・4号自然流路 出土遺物実測図



第48图 15号·16号住居 遗構実測図



第49図 8号土坑および出土遺物実測図

古墳時代と思われる柱穴は主としてⅢ区で検出したが、明瞭な建物跡復元には至っていない。また、遺構以外、主としてⅢ・Ⅳa層から相当量の土師器と若干の須恵器が出土している。864は、Ⅸ区の南端Ⅳa層上面から出土した丹塗りの土師器で、三又の筒状の突起または脚を有し、儀器的に成形された祭器と思われる。

5. 平安時代

奈良時代の遺構・遺物は皆無である。

平安時代の遺構としては工房址、円形土坑、柱穴、溝状遺構があるが、円形土坑の占める割合が高い。

15号住居（1号工房址）（第48図、図版20）

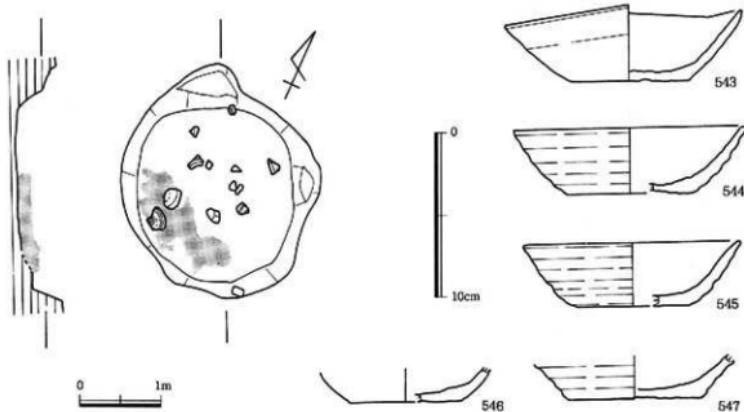
東西4.8m、長さ5.6mの隅円長方形を呈し、底面はレンズ状に緩やかに傾斜、最深部は24cmである。底面には、幅20~40cm・深さ8~10cmの溝が南北に4列、さらに連続コの字型に突出したり連結したりする。柱穴は、直径16~30cm・深さ7~30cmのものが点在する。

工房址を裏付ける遺物は出土していないが、通常の居住施設ではない。覆土からは、土師器の細片が100点余り出土している。

16号住居（2号工房址）（第48図、図版20）

ⅩV区の北壁で検出したが、2号溝に削平されている。東西4.4m、南北2.7m以上で、南西部は東西2.46m・南北1.3mの張り出しがある。最深部は20cmで、幅20~30cm・深さ10cmの溝が南北に断続的に6列掘られている。柱穴は、直径11~32cm・深さ6~9cmのものが点在する。

出土遺物は無いが、1号工房址と同様の機能を持つ遺構である。



第50図 10号土坑および出土遺物実測図

8号土坑（第49図、図版21・103）

幅32~39cm・長さ1.34mの椭円形を呈し、深さは10cmである。覆土は黒色土とIVa層の混層で、土師器の壺・壇・壺と黒色土器が一括廃棄の状態で出土した。

9号土坑（図版21）

直径70cmの焼土痕であり、掘込は無い。土器焼成痕の可能性があるものの、弥生~平安時代の時期幅がある。

10号土坑（第50図、図版21）

直径1.2~1.34mの円形を呈し、深さは25~28cmである。茶灰色系の覆土には土師器片が混入、底面には厚さ2~15cm、長さ78cmの白色粘土と青灰色粘土の塊が入っていた。当粘土は、南側段丘崖の洪積世粘土と思われる。

5号溝（第5図-SD-05、第57・64図、図版24・104）

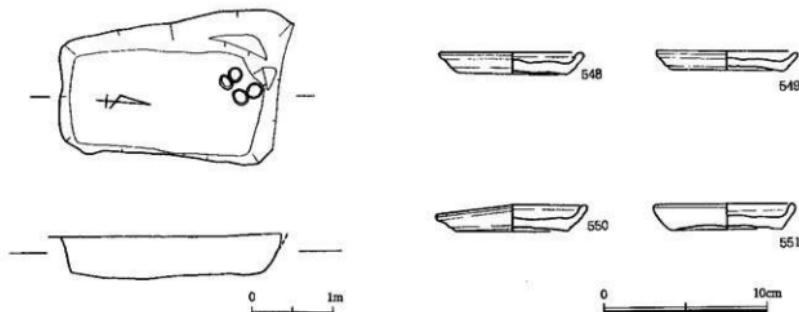
幅4.5m前後・深さ1.6mの下半部が箱型を呈する溝で、XIII区~XI区~IX区~VII区~I区~II区へと直線的に掘削されている。上層に中世の黒色土が覆う以外は、淡灰黄色~黄褐色系の土が埋まっている。砂粒は少量であり、出土遺物も少ないが、IX区の東壁部で墨書き土器が出土している。墨書き土器は、土師器の壺であるが文字の判読ができない。

その他

柱穴が散在しているが、建物復元には至らない。

6. 中世

遺跡全体に遺構が認められ、掘立柱建物および柱穴群がIII・IV区周辺・XII区周辺・XXII区周辺・XV・XVII区およびXXIX区北半部に集中する。直径1m前後・深さ15cm前後の円形土坑は、IX・X区~XXV区に集中する。土壙墓は1基のみ検出、溝状遺構は大溝と小溝、東西・南北方向とそれ以外とに分けられる。



第51図 6号土坑および出土遺物実測図

1号掘立柱建物跡 (SB-01) (第54図)

梁行2間 (3.76m) × 衍行2間 (5.18m) で、主軸方位はN88° Wである。

2号掘立柱建物跡 (第54図)

梁行2間 (3.01m) × 衍行3間 (3.72m) で、主軸方位はN89° Eである。

3号掘立柱建物跡 (第54図)

梁行2間 (3.78m) × 衍行3間 (5.49m) で、北と西面に廟を有する。主軸方位はN88° Eである。

4号掘立柱建物跡 (第54図)

梁行2間 (3.21m) × 衍行3間 (5.04m) で、西面に廟を有する。柱穴断面観察では、柱の直径は12~15cmである。

5号掘立柱建物跡 (第53図)

梁行2間 (3.75m) × 衍行3間 (6.56m) で、4面廟を有する。主軸方位は、N 3° Wである。

6号掘立柱建物跡 (第52図)

梁行2間 (3.67m) × 衍行3間 (6.52m) で、東~南側に廟を有する可能性がある。主軸方位はN2° Wである。

7号掘立柱建物跡 (第53図)

梁行2間 (5.06m) × 衍行3間 (7.62m) で、4面廟を有する。主軸は東西方向である。

8号掘立柱建物跡 (第54図)

梁行2間 (3.06m) × 衍行3間 (5.70m) で、主軸方位はN 5° Eである。

9号掘立柱建物跡 (第54図)

梁行1間 (2.07m) × 衍行2間 (4.02m) で、主軸方位はN81° Eである。

10号掘立柱建物跡 (第54図)

梁行2間 (3.30m) × 衍行2間 (4.01m) で、主軸方位は、N 3° Eである。

11号掘立柱建物跡 (第54図)

梁行2間 (3.57m) × 衍行3間 (5.98m) で、主軸方位は、N80° Eである。

12号掘立柱建物跡 (第54図)

梁行1間 (2.0m) 以上×衍行3間 (5.77m) で、主軸方位は、N80° Eである。

13号掘立柱建物跡 (第54図)

梁行1間 (3.46m) × 衍行3間 (6.25m) で、北面に廟を有する。主軸方位はN87° Eである。

14号掘立柱建物跡 (第55図)

梁行1間 (3.36m) × 衍行5間 (9.09m) ~ 6間で、主軸方位はN76° Wである。

15号掘立柱建物跡 (第55図)

梁行2間 (2.99m) × 衍行3間 (5.91m) で総柱の建物である。主軸方位はN 6° Eである。

16号掘立柱建物跡（第55図）

梁行2間（4.45m）×桁行3間（6.11m）で、東・南面に廟を有する。主軸方位はN89°Wである。

17号掘立柱建物跡（第55図）

梁行1間（1.94m）×桁行2間（4.12m）で、主軸はN89°Wである。

6号土坑（土壤墓）（第51図、図版20・103）

東西70～95cm、南北144cmの隅円長方形を呈し、深さは26cmである。人骨は遺存していなかったが、北西部に土師器の皿4枚が副葬されていた。皿は、口径8.8～9.3cm、底径6.7～6.9cm、高さ1.2～1.6cmで、すべて糸切底である。

1号溝

VI区で検出、幅50cm内外・深さ10cm内外の溝で、2号溝の東に並行して検出された。

2号溝（第5・6図-SD-02、第57・59・61図、図版25・26・103）

XVII区～調査区北縁～V区～VI区～道路下と続く、幅2.5m・深さ90cmの断面U字型の溝である。XVII区の断面観察では、中層に文明ボラ（1476年）に起因するとと思われる淡灰白色微細砂層が堆積している。この他の覆土も、砂質土や粘質土が占める。出土遺物も輸入陶磁器の青磁片が多い。

3号溝（第57・62図、図版22）

VII区～VIII区～VI区で検出された、幅1～2.9m・深さ18～55cmの南北の溝である。VI区では、5号溝の次に掘削された溝である。覆土は黒色土で、砂粒は極く微量である。VI区の南壁において、牛か馬の歯が出土したほかは、若干の土師器片が出土している。

4号溝（第5図）

I区～VI区北縁でのみ検出した、幅2m以上・深さ30cm内外の溝で、覆土は黒色系である。2号溝の北側に、5号溝と並行に近い直線的水路で、3号溝と直交する幹線の可能性が高い。出土遺物は若干の土師器片などがある。

5号溝（第5図）

IV区南側の、幅0.5～1.3m・深さ16cmの東西方向の溝で、覆土は黒色土である。

7号溝（第5図）

IV区南側の、幅45～75cm・深さ6～10cmの溝で、覆土は黒色土である。

8号溝（第5図）

XI区南側の、幅50～70cm・深さ10cmの東西方向の溝で、覆土は黒色土+IVa層である。

9号溝（第5図）

XII区北側の、幅60～100cm・深さ15cmの東西方向の溝で、覆土は黒色土である。

10号溝（第5図）

XIII区東端の、幅80～110cm・深さ13cmの南北方向の溝で、覆土は黒色土である。

11号溝（第5図）

XIV区東側の、幅50～100cm・深さ12～18cmの南北方向の溝で、覆土は黒色土である。

12号溝（第5図）

XVII区南側の、幅35~130cm・深さ7cmの東西方向の溝で、覆土は黒色土である。

13号溝（第5図）

XIX~XX区西側の、幅1m・深さ23~48cmの南北方向の溝で、覆土は黒色土である。

14号溝（第5図）

XX区南側の、幅90~110cm・深さ9cmの東西方向の溝で、覆土は黒色土である。

15号溝（第6図）

XXV区北東側の、幅50~75cm・深さ12cmの溝で、覆土は黒色土である。

16号溝（第6図）

XXVII区西側の、幅1~1.75m・深さ38~86cmの北北東寄りの溝で、覆土は黒色土+IV層である。

17号溝（第6図）

XXVII区東側からXXVII区中央部へ流れる、幅1.05~2m・深さ14cmの溝で、覆土は黒色土である。

18号溝（第6図）

XXVI区東南側の、幅40~65cm・深さ12cmの弯曲した溝で、1号溜井に注ぐ。

20号溝（第6図）

XXVI区の、幅1.3m・深さ25cmの北東方向の溝で、覆土は黒色土である。

21号溝（第6図）

20号溝と直交する、幅60~95cm・深さ7~10cmの溝で、覆土は黒色土である。

22号溝（第6図）

20号溝の3m西側に並行、21号溝と直交する、幅90cm・深さ8cmの溝で、覆土は黒色土である。

23号溝（第5図）

幅1.1~2.3m・深さ22~35cmの弯曲した溝である。

1号溜井（第5図-SZ-01）（第59・63・64図、図版25・26）

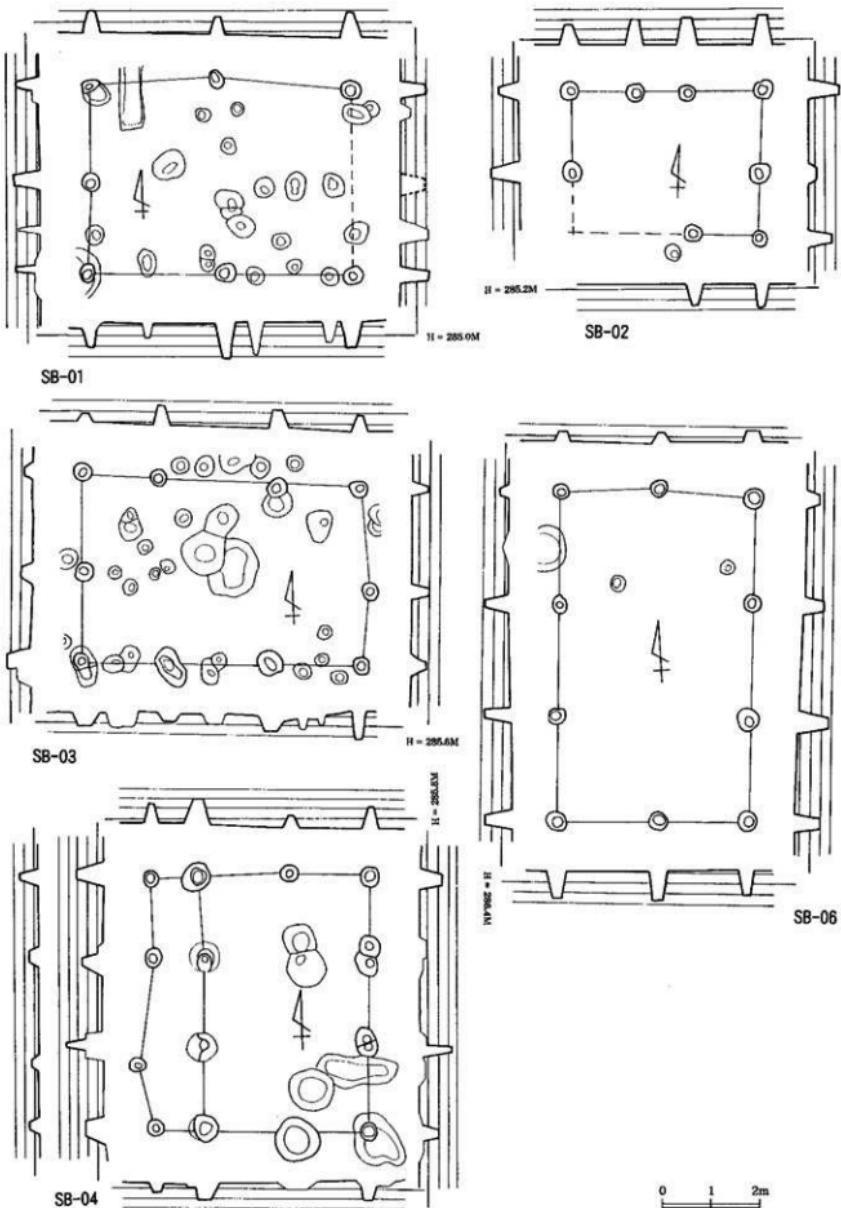
東西7.6m・南北6m前後・深さ1~1.3mの水溜で、2号溝に北縁を切られる。覆土は暗灰色系の軟質土が主で、底面には鉄分が沈積して硬化している。

S Z-02（第5・58・64図、図版26・104）

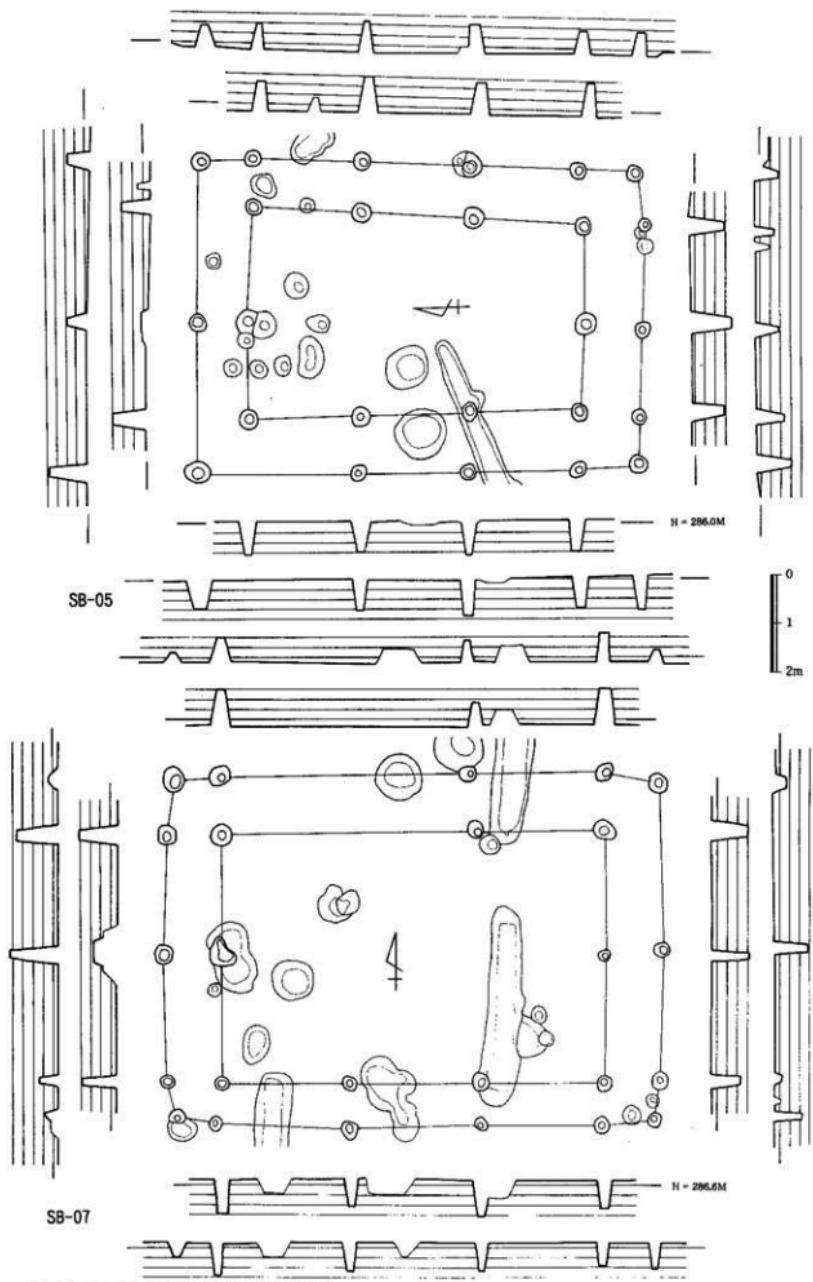
大型土坑が重複した造構で、西側は長さ6.64m・幅4.08mで楕円形を呈し、深さ80cmである。東側は長さ5.8m前後・幅4.38mの不整形で、深さ60cmである。覆土は黒色系で、少量の文明ボラが混入している。出土遺物は少なく、土師器片と青磁が出土している。

7. 近世

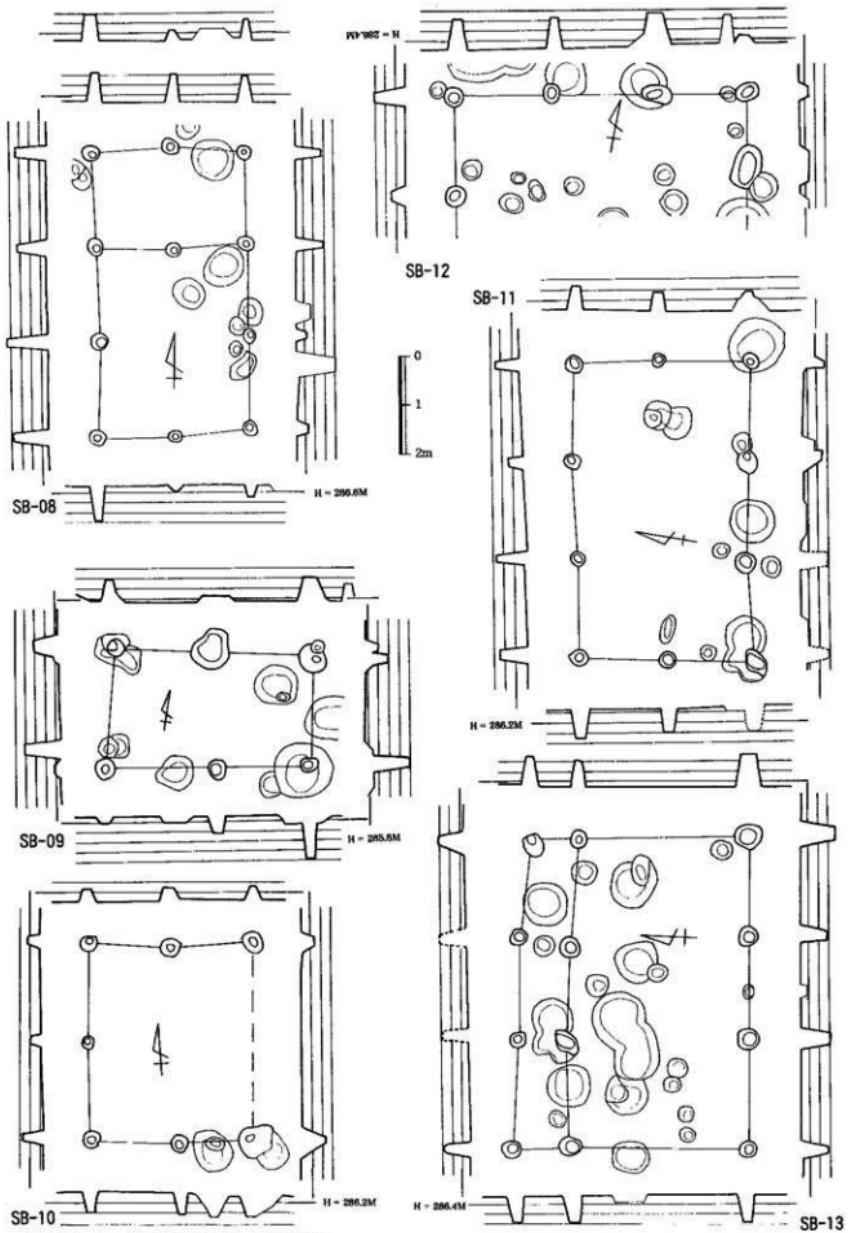
造構は、XXVI・XXVII・XXIX区南側に限られ、50基程度の柱穴と、土坑数基、溝1条を検出した。



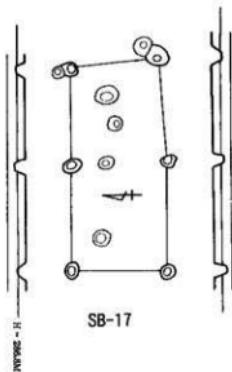
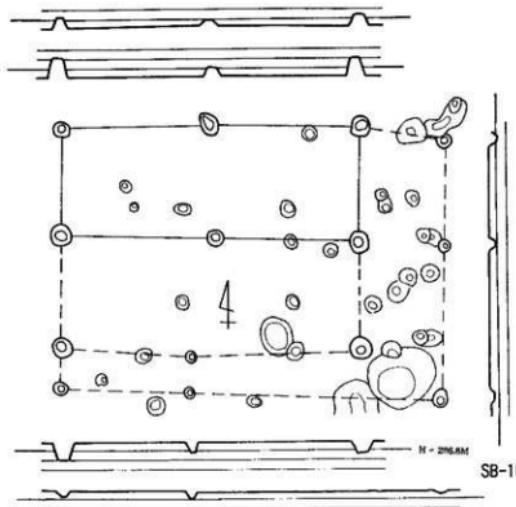
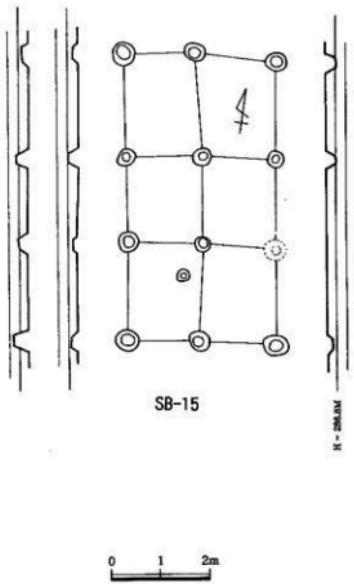
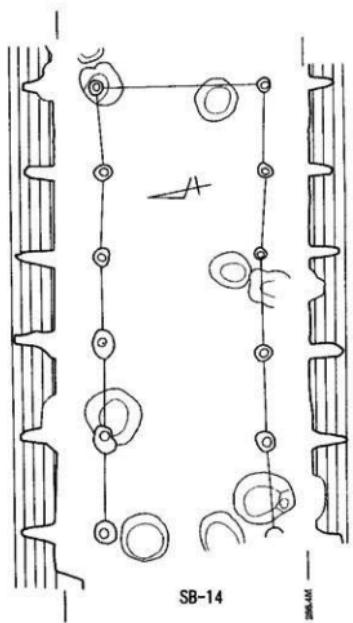
第52図 1~4・6号据立柱建物跡 遺構実測図



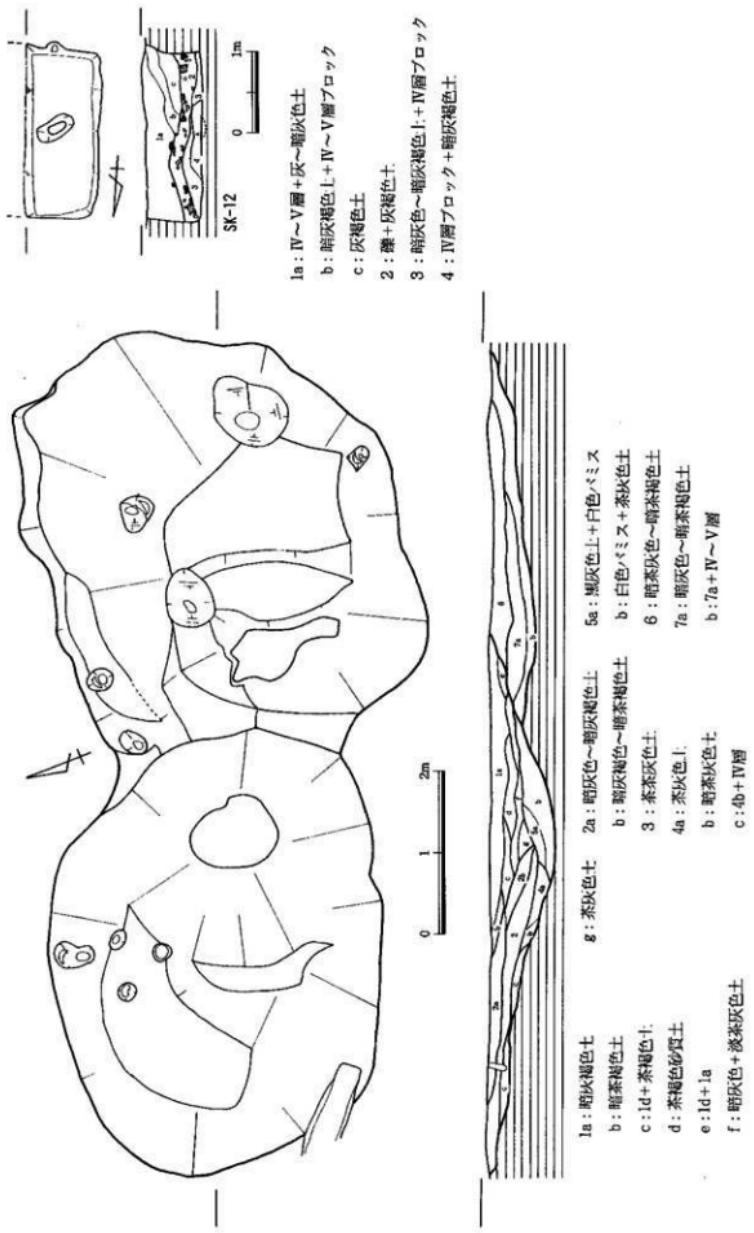
第53図 5・7号掘立柱建物跡 遺構実測図

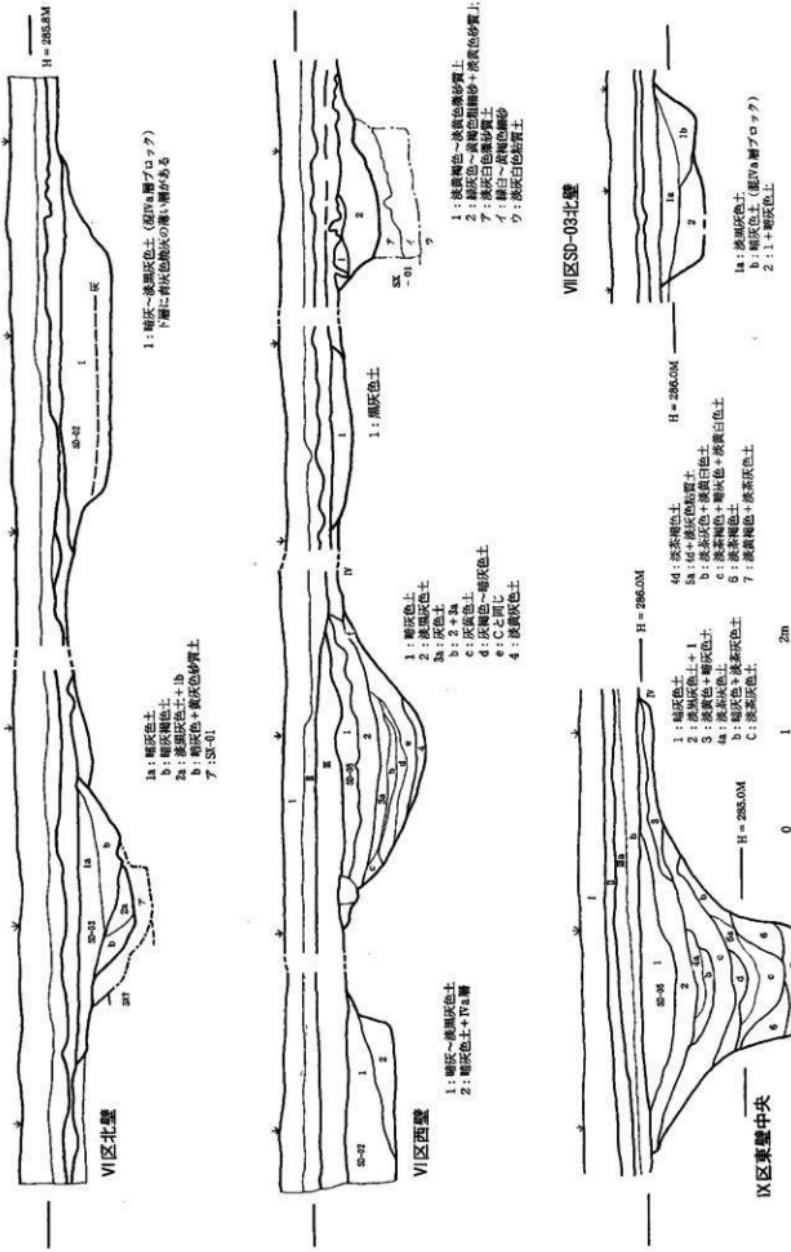


第54図 8～13号据立柱建物跡 遺構測量図

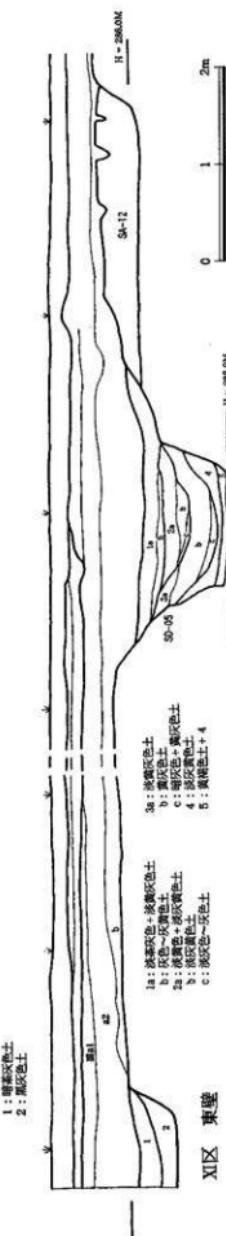
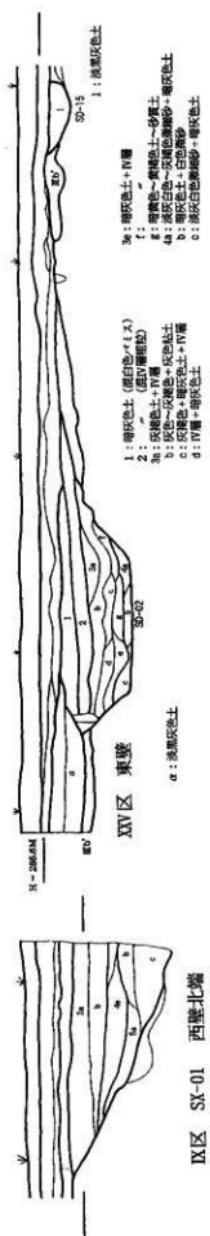
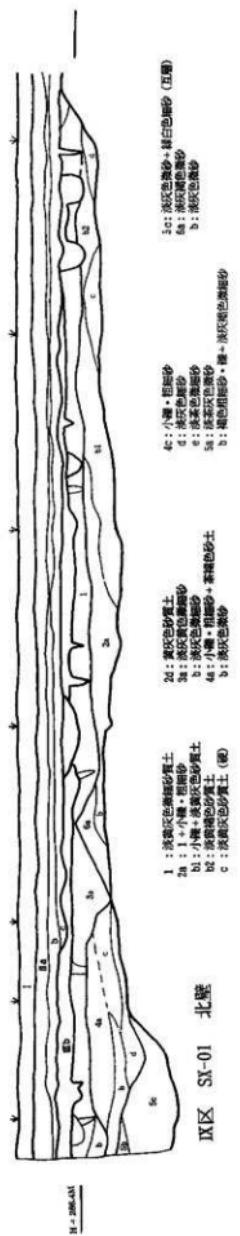


第55図 14~17号掘立柱建物跡 道構実測図

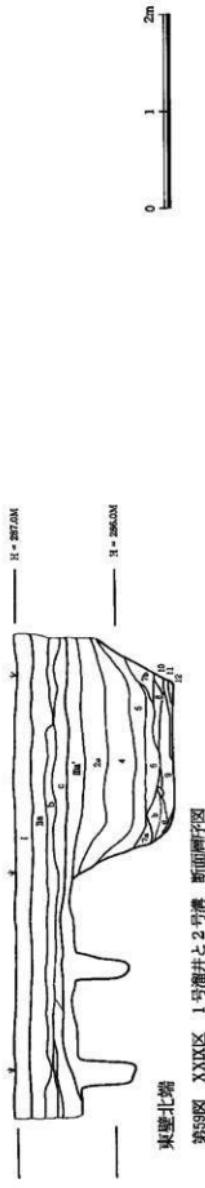
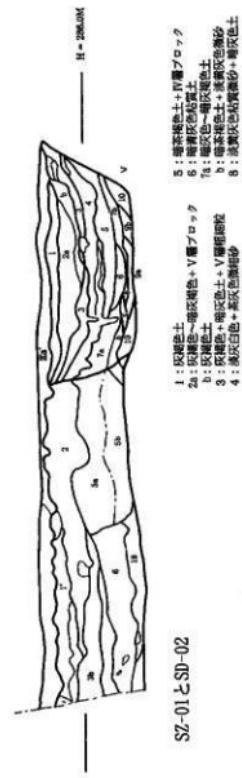
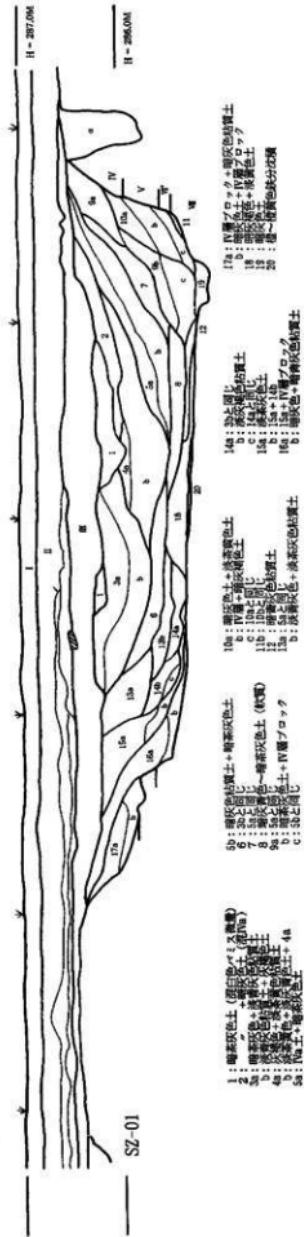




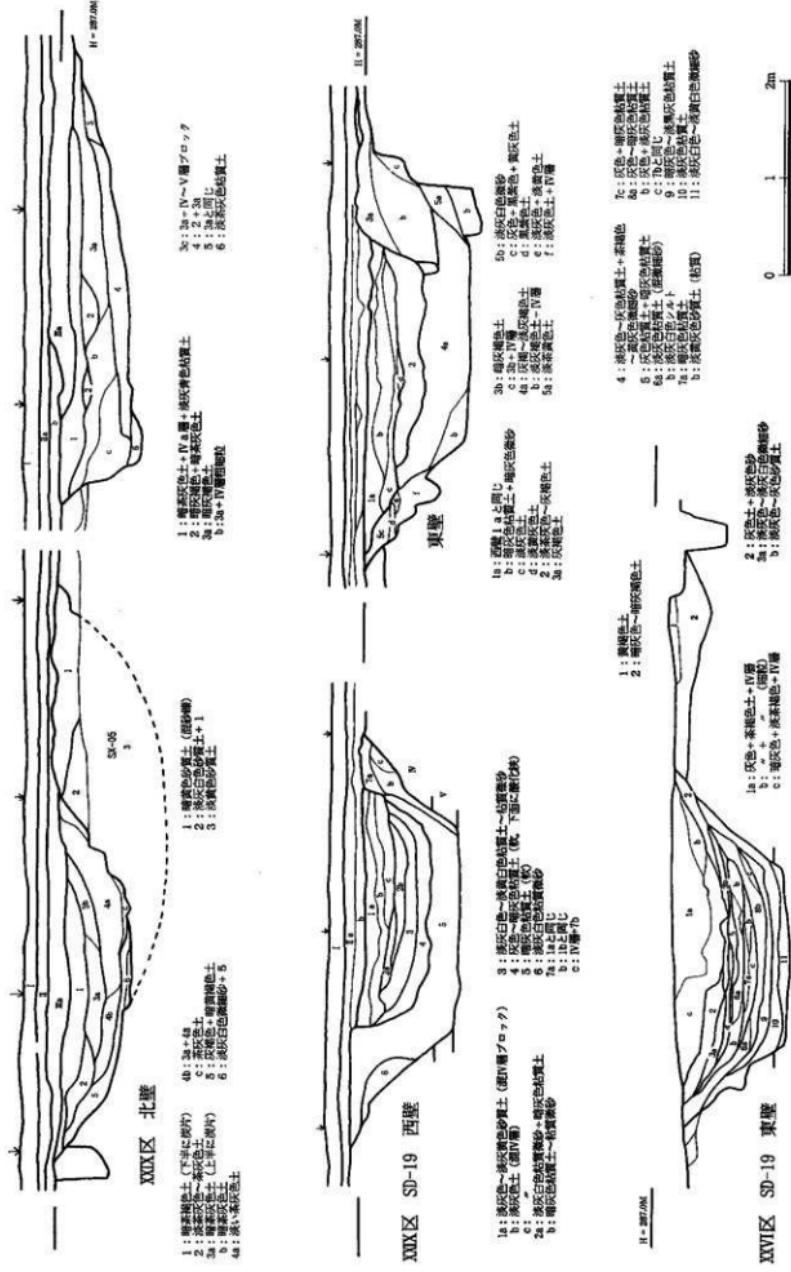
第57図 2・3・5号溝状邊堀 断面調査図

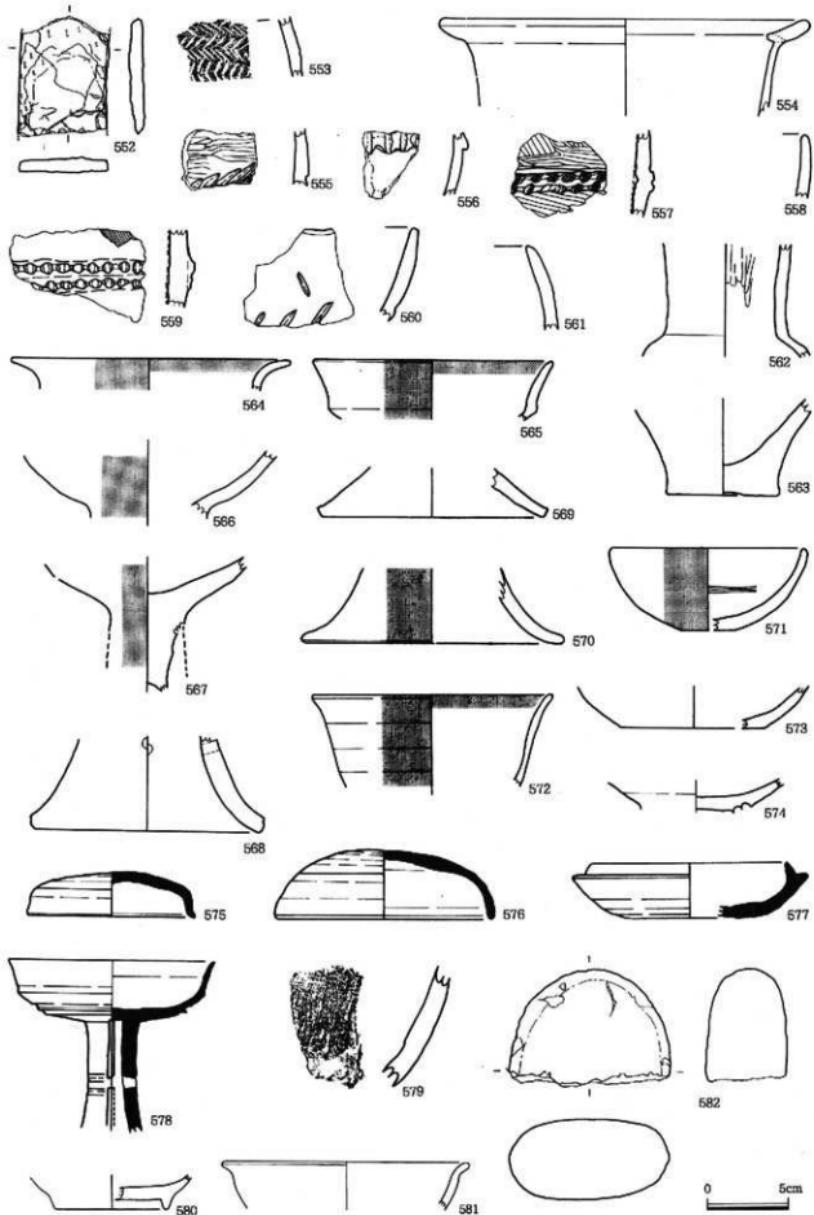


第58回 1号自然流路・溝林遺跡 断面圖序図

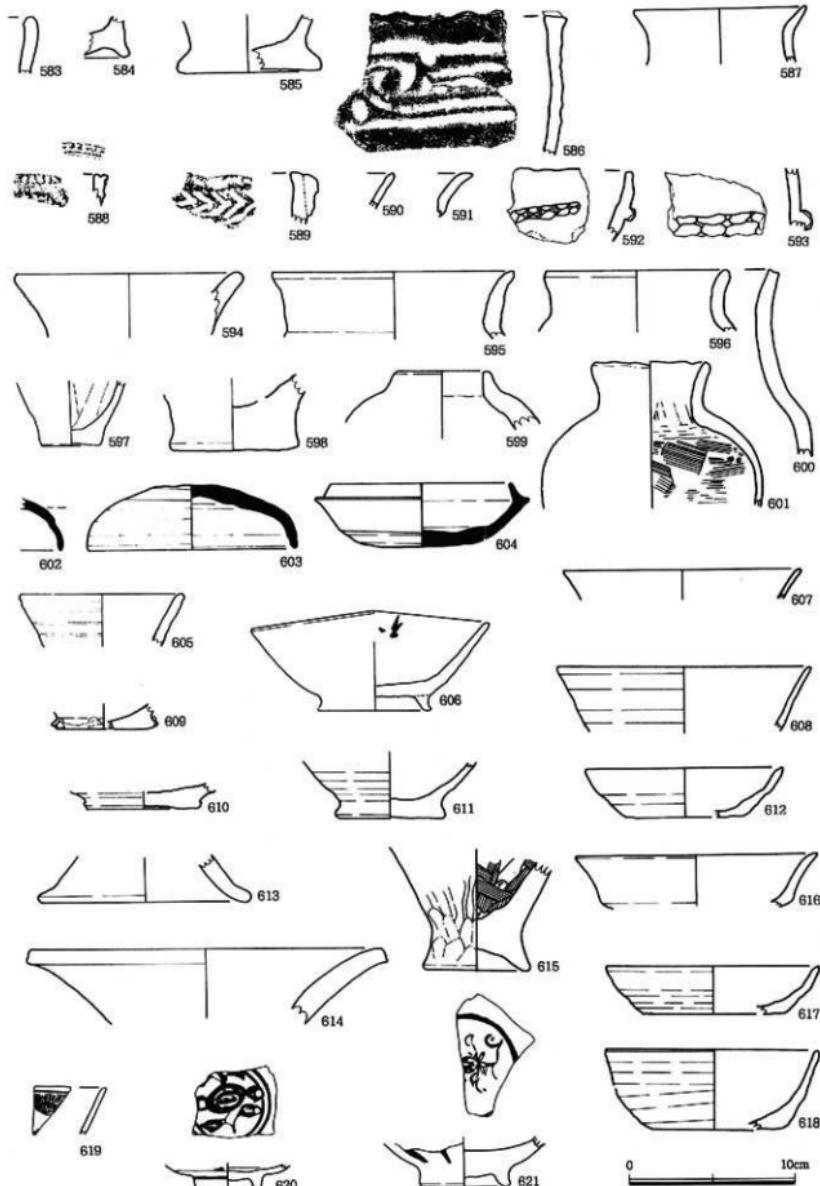


第59図 XXXX区 1号溜井と2号溝 断面構造図





第61圖 1・2号溝 出土遺物実測図 552:1号溝

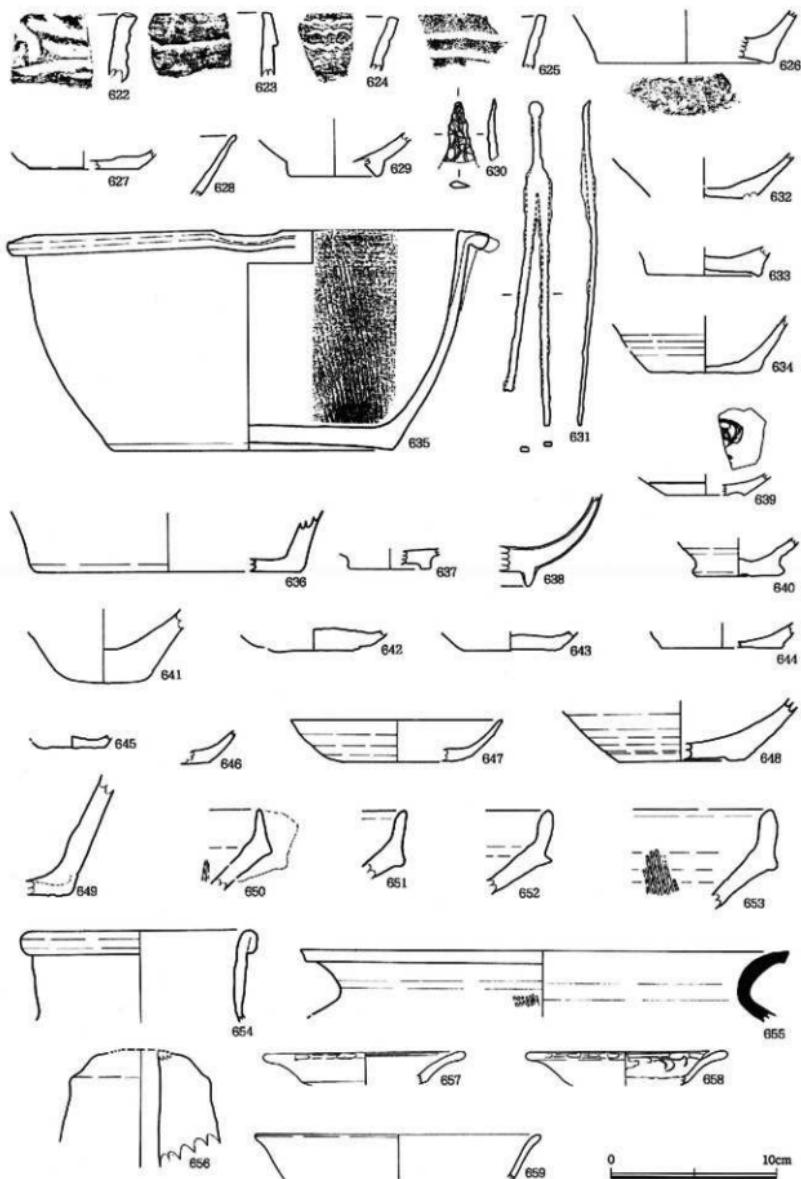


第62圖 3～6号溝 出土遺物実測図

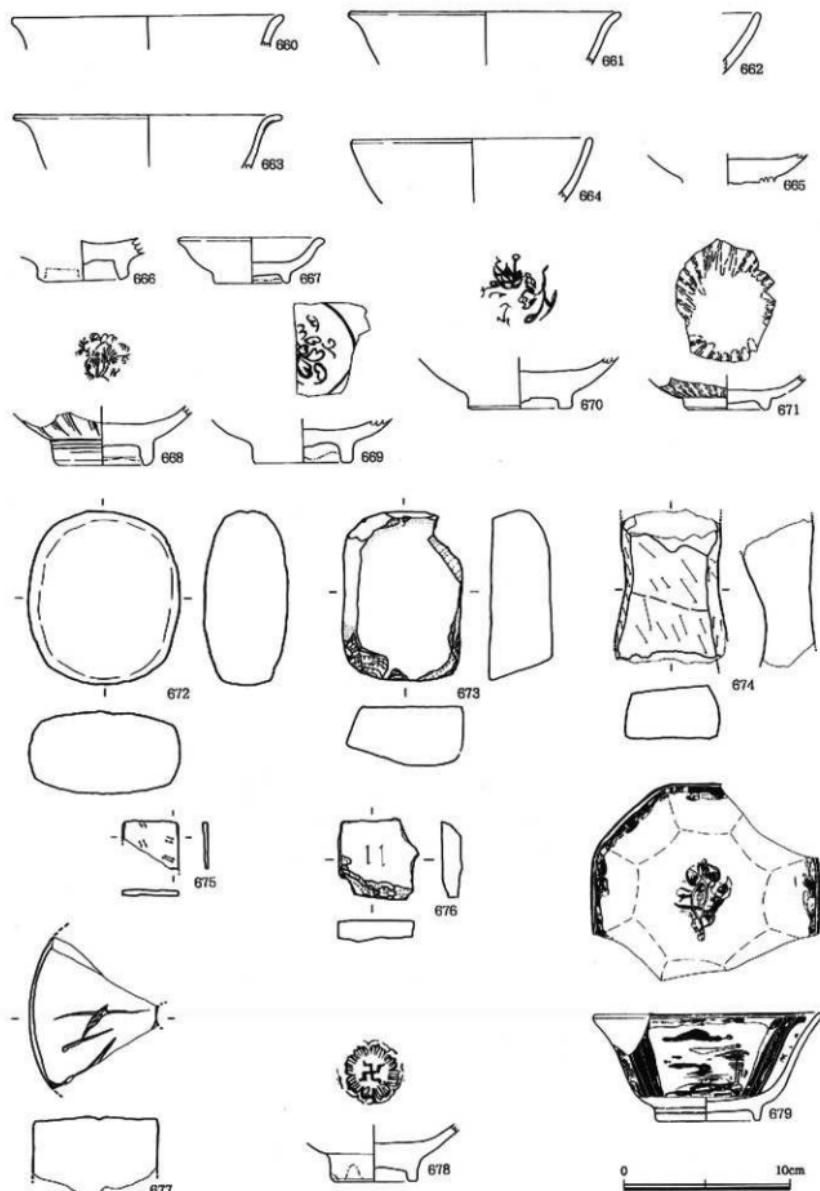
583～587：3号

588：4号

589～612：5号

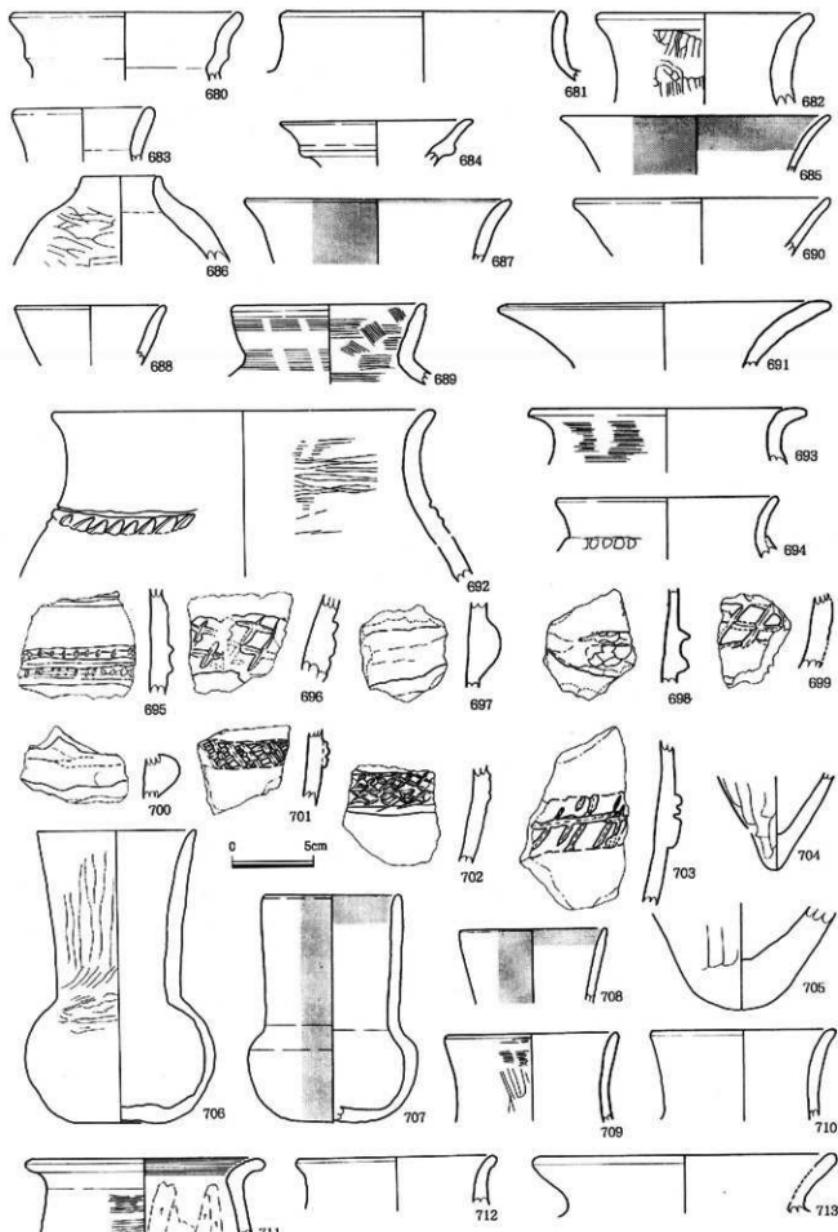


第63図 9・10・13・14・19号清、1号溜井 出土遺物実測図
622・623: 9号, 624~626: 10号, 627~628: 13号, 629~630: 14号
632~639: 19号, 640: 22号, 641~659: 1号溜井

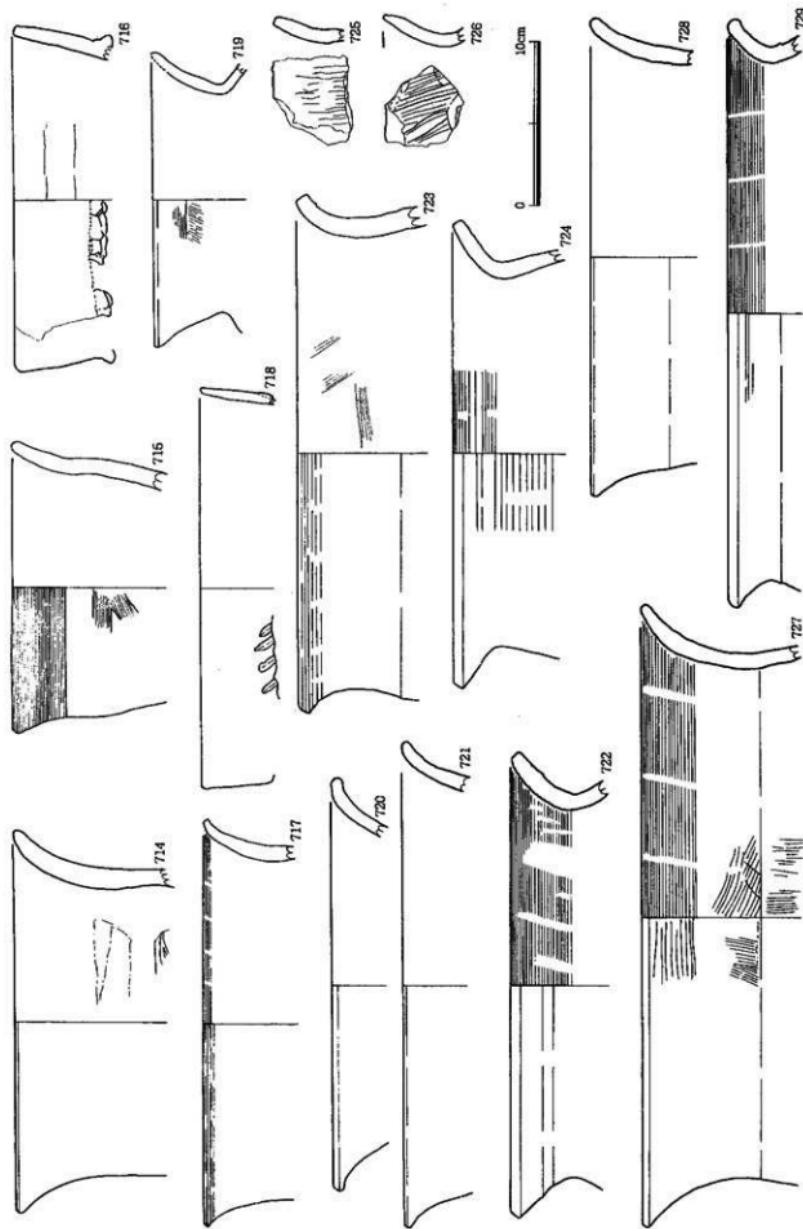


第64図 1号溜井、SZ-02、12号土坑 出土遺物実測図 677・678:SZ-02, 679:12号土坑

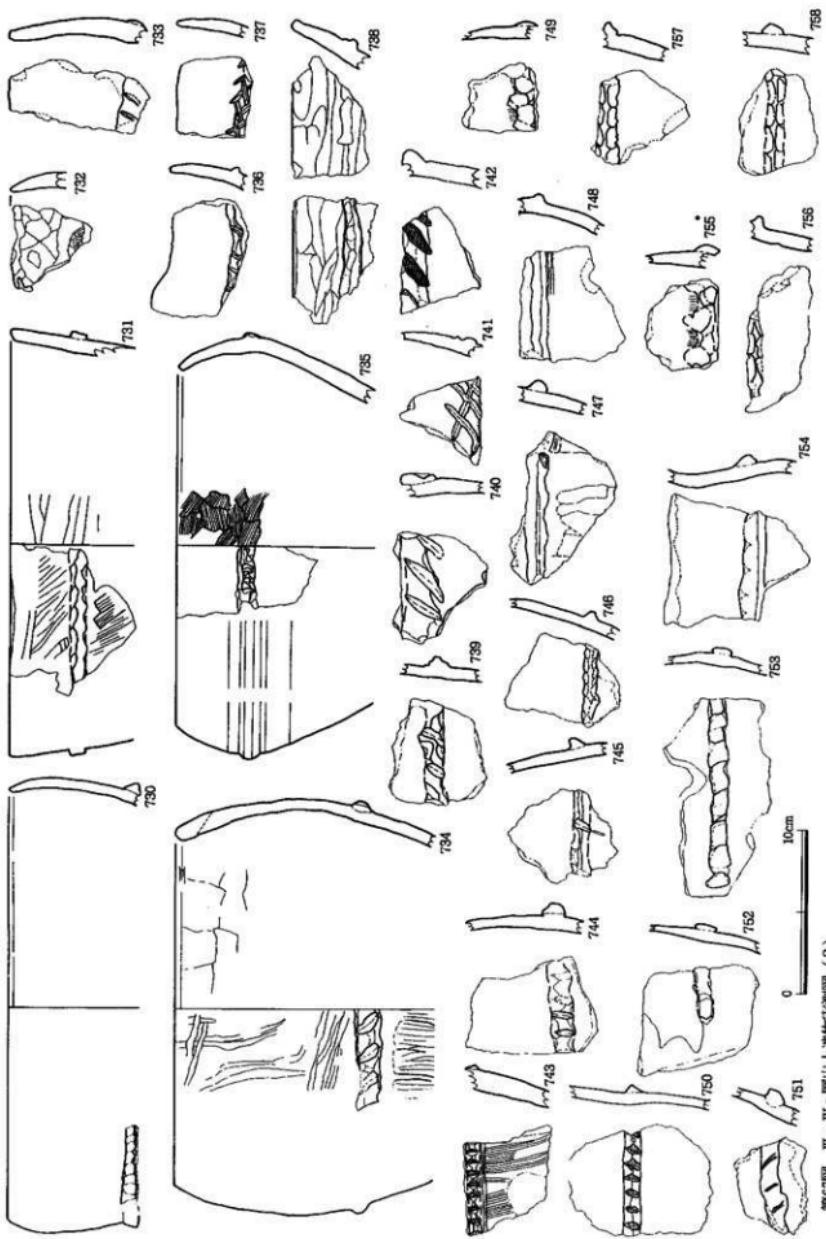
677·678:SZ-02, 679:12号土坑



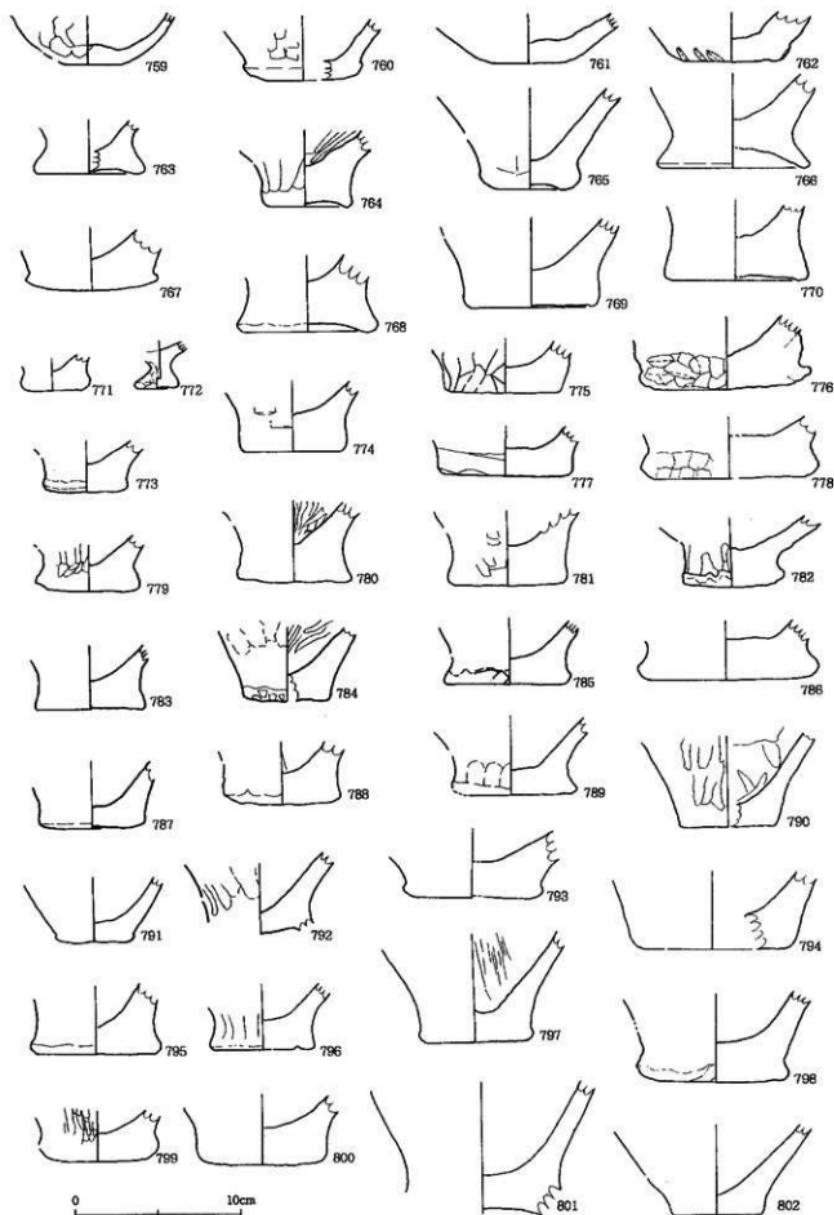
第65圖 III~IVa層出土遺物大測圖(1)



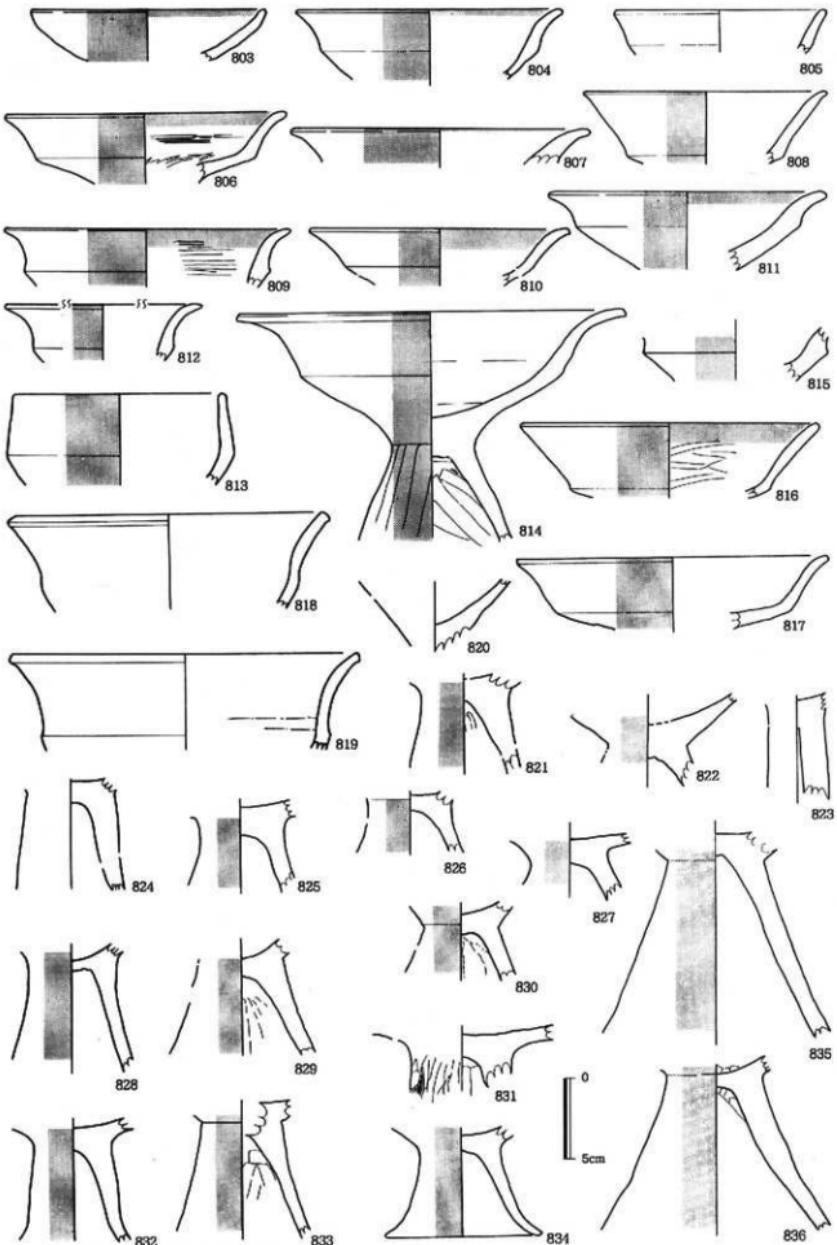
第66圖 III~IV層 出土遺物実測図（2）



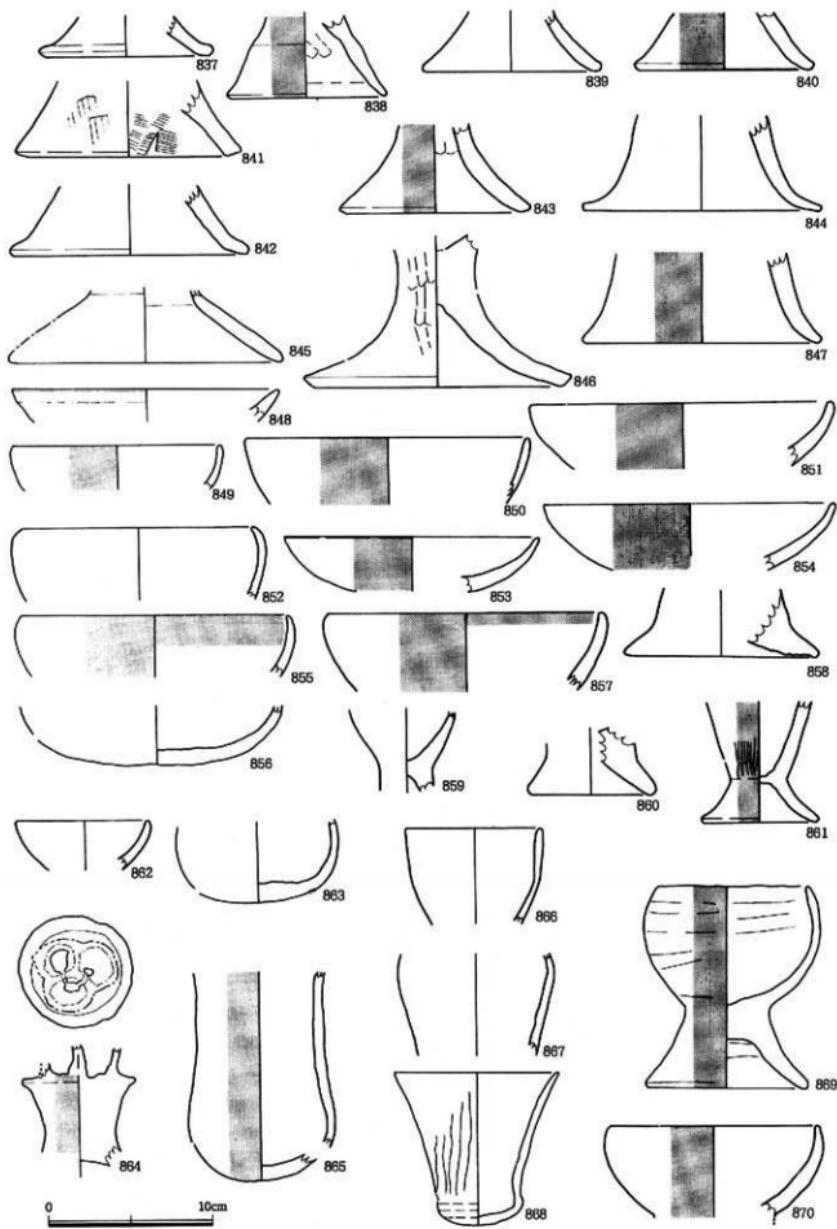
第61図 III~IVa層出土遺物実測図(3)



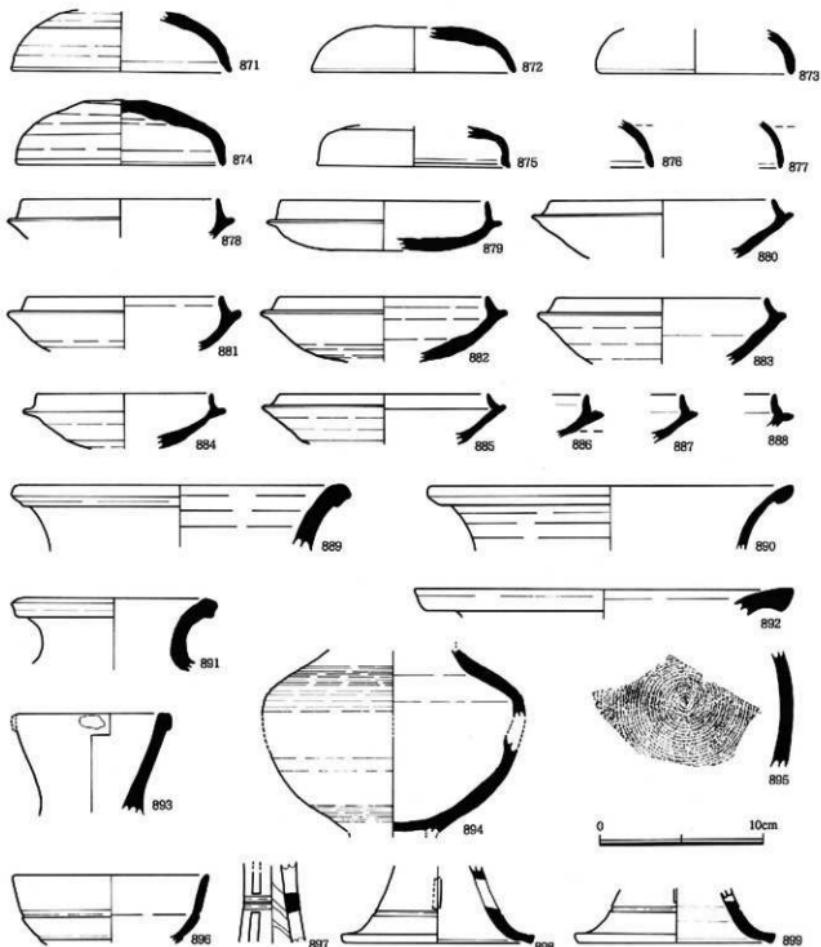
第68図 III~IVa層出土遺物実測図(4)



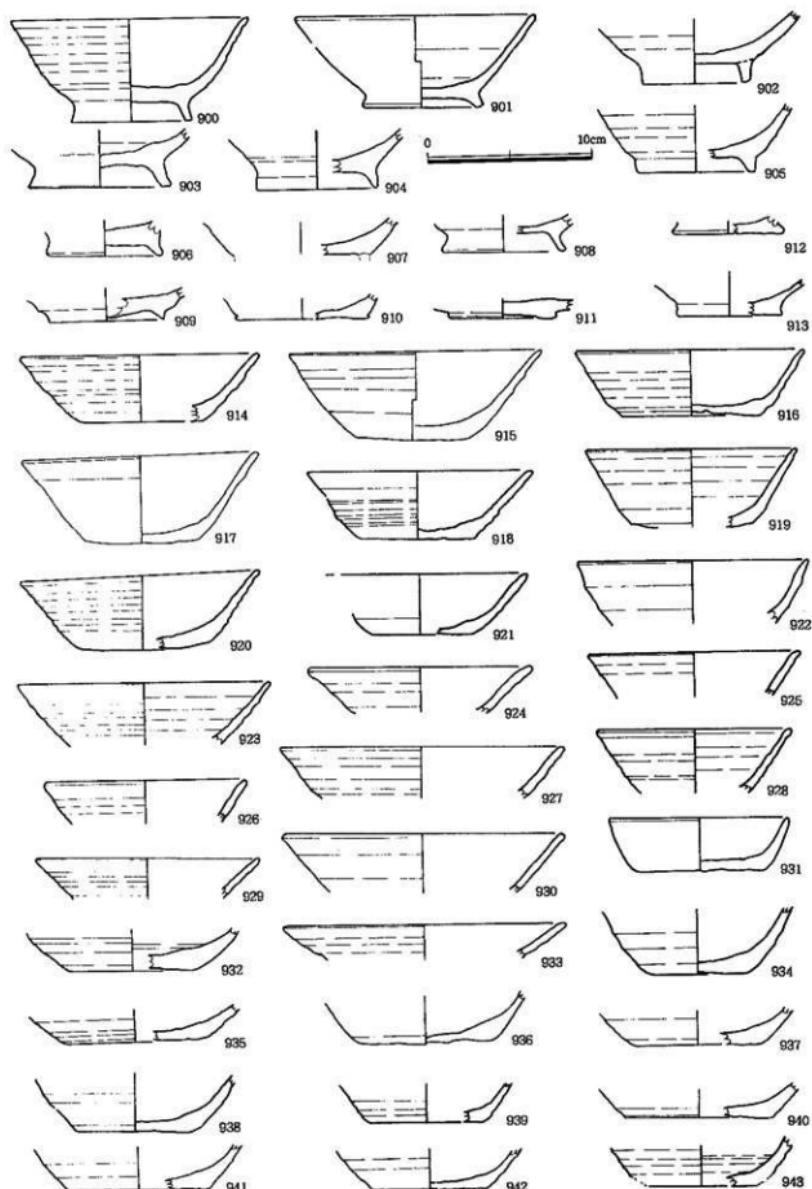
第69图 III~IVa层出土遗物实测图(5)



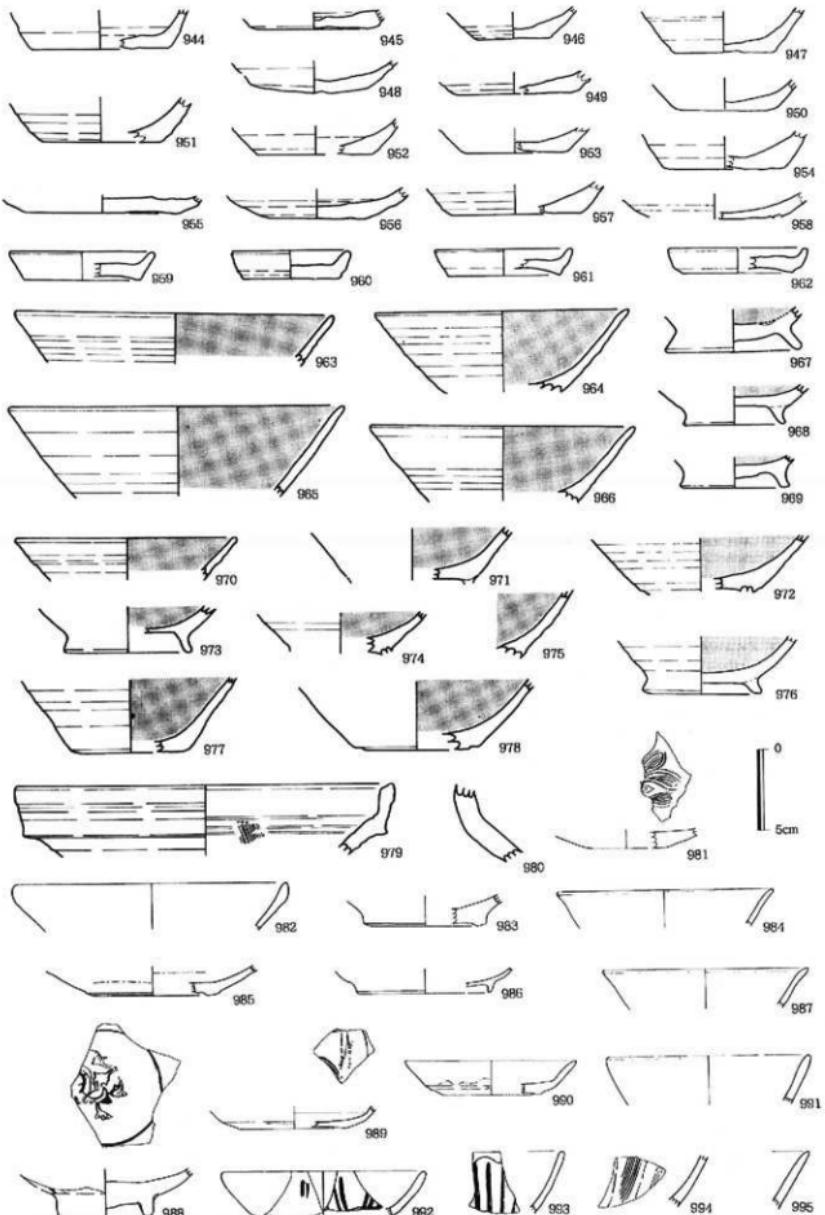
第70図 III～IVa層出土遺物実測図(6)



第71図 III~IVa層出土遺物実測図(7)



第72図 III~IVa層出土遺物実測図(8)



第73图 III~IVa层出土遗物实测图(9)

12号土坑（第58・64図、図版27・108）

東西90cm以上・南北2.1m・深さ68cmの土坑である。覆土は、IV～V層ブロックと暗灰褐色～黒灰色土が主である。中層は礫を多く含み、木蓋の上に置かれていた可能性がある。出土遺物は国産陶磁器1点で、1800～1860年代の肥前系の碗である。

19号溝（第60・63図、図版27・98）

XXIXからXXVI区へ流れる、幅3.6～5m、深さ1.17mの溝である。土層の断面観察では、埋没後再度、掘削している。覆土は暗灰色系の軟質粘質土や白～黄色系粘質微砂を多く含む。出土遺物は18～19世紀前半の陶磁器類が多い。

その他

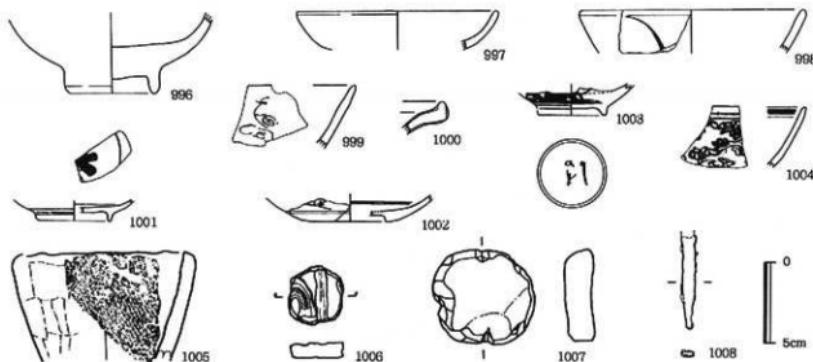
XXIX区中央部の土坑から、19世紀代の土瓶が出土している。

8. 縄文時代（第75図）

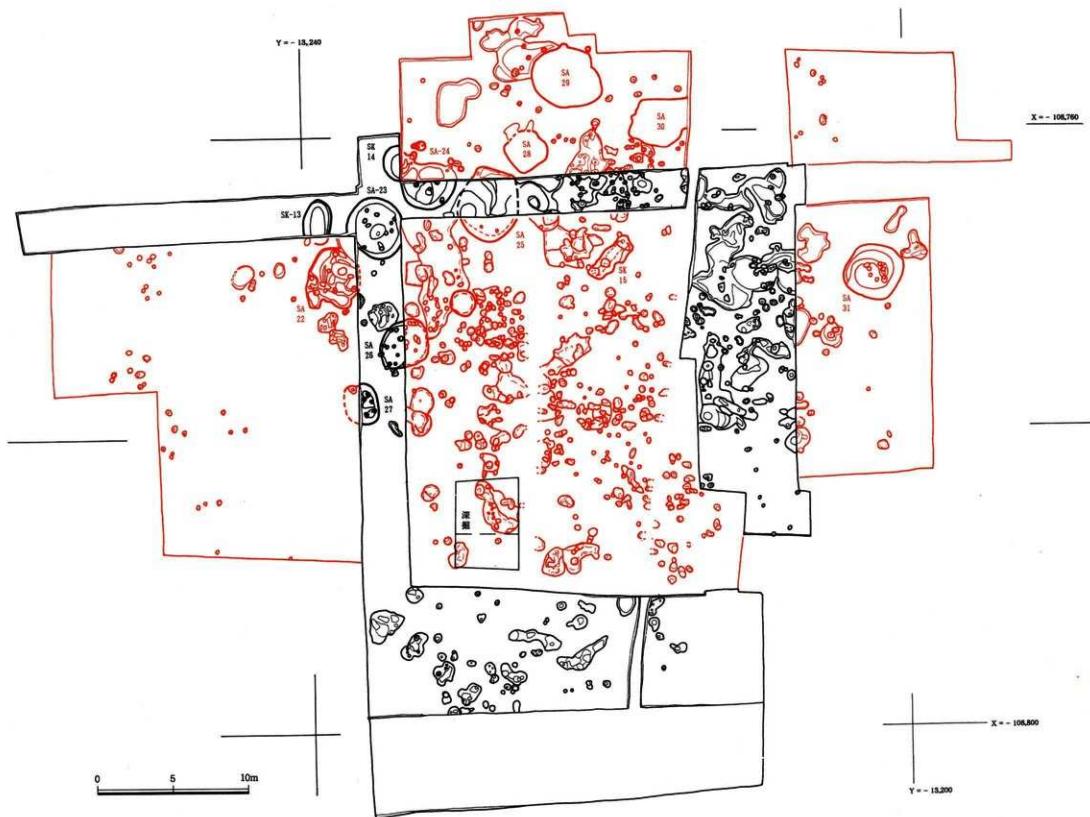
IVa層上面での遺構検出の際、縄文土器や剥片が点在し、XV区が顕著であった。そこでXV区の調査終了後、IVa層を掘り下げるとき、縄文時代中期末～後期の大量の遺物と若干の縄文時代晚期～弥生時代中期の遺物が出土した。下層は黒色～暗灰色系の遺物包含層（IVb層）で、縄文時代後期以前の遺物を大量に含む。XV区周辺および2次調査で延べ2070m³・厚さ50～80cmの遺物包含層の調査の結果、IVb層はXV区周辺にのみ明瞭に確認される。

IVb層もしくはIVb相当層を掘り下げるとき、竪穴住居や土坑、木根痕が検出される。さらに下層のIVc層にも少量の遺物が包蔵しているが、XII区の東部とXV区の北西部を掘り下げたのみである。

遺構としては、円形～略円形の竪穴住居10軒（SA-22～31）のほか、土坑数基、pit数10基である。覆土から出土した遺物は、ほとんどが流れ込みであり、小破片が多い。



第74図 III～IVa層出土遺物実測図（10） 1006～1008は2:3



第75図 XIX区周辺 繩文時代 遺構分布図

22号住居（第76図、図版36）

直径3.58mの略円形を呈し、深さは10~20cm（中央部）である。柱穴は、直径20~30cm・深さ30~60cmである。出土遺物としては、若干の縄文土器と小型石斧がある。

23号住居（第77・78図、図版36・43）

長軸4.1m、短軸3.7mの円形を呈し、深さは30cmである。中央には、東西1.15m・南北0.84m・深さ0.40mの土坑があり、覆土に炭片を含むことから炉穴と思われる。柱穴は、直径14~23cm・深さ10~61cmである。出土遺物は、少量の縄文土器のほか、石鏃1点、すり石2点、スクレイバー1点、刃器3点などがある。

24号住居（第79図、図版37）

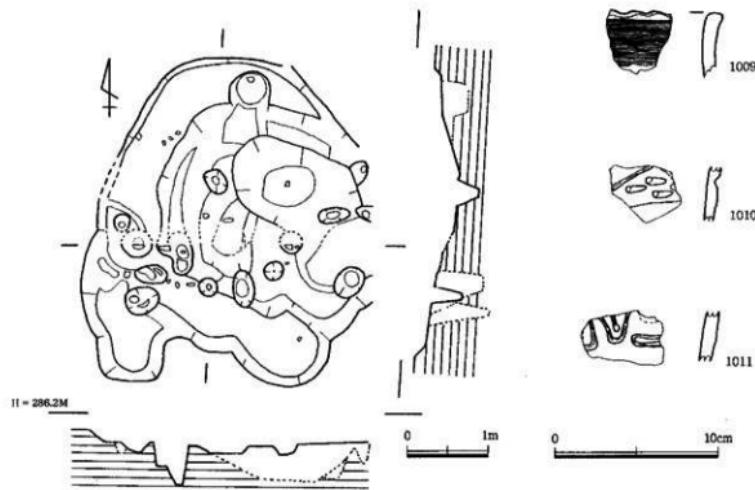
長軸3.52m、短軸3.34mの円形を呈し、深さは22cmである。柱穴は、直径20~30cm・深さ18~51cmで、中央から南寄りにある。出土遺物は、少量の縄文土器のほか、石鏃1点、すり石1点、刃器1点がある。

25号住居（第80図、図版37・43）

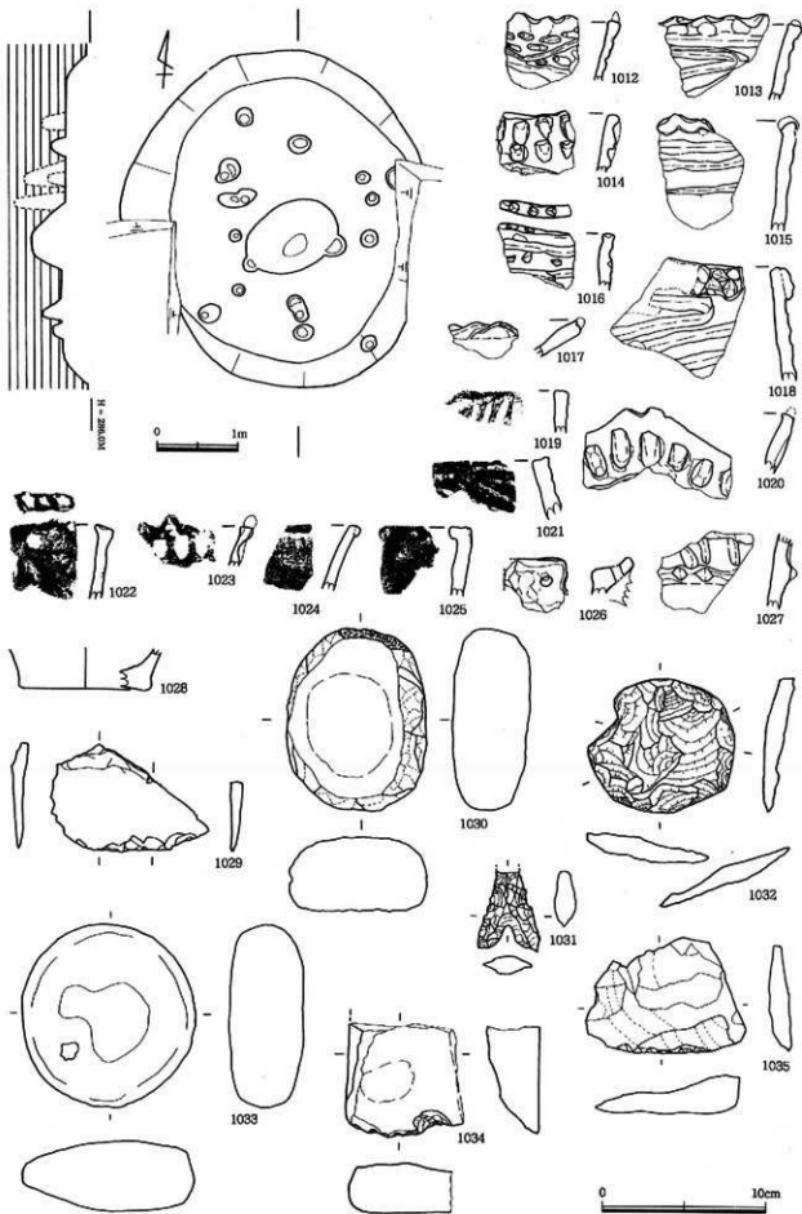
直径3.6mの略円形に、長さ2.8m・幅1.2mの張り出しを有する。深さは24cmである。柱穴は、直径20cm・深さ15cmと23cmのもの2基である。出土遺物は、小量の縄文土器のほか、石鏃1点、石斧片1点、黒曜石原石1点がある。

26号住居（第81図、図版38・43）

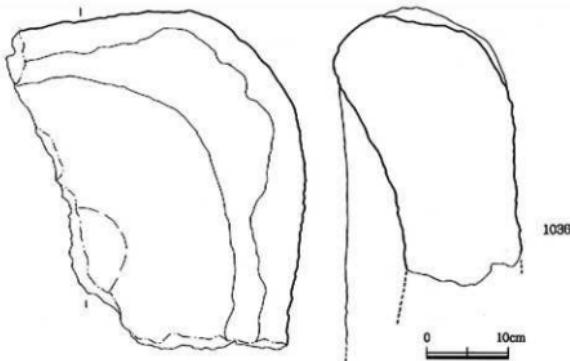
長軸3.6m、短軸3mの略円形を呈し、深さは25cmである。柱穴は、直径19~46cm・深さ12~82cmである。覆土上面に石皿の半欠があったほかは、縄文土器片が若干と、石鏃1点が出土した。



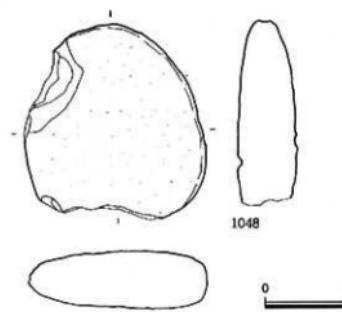
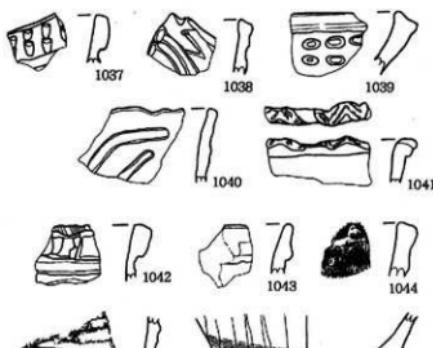
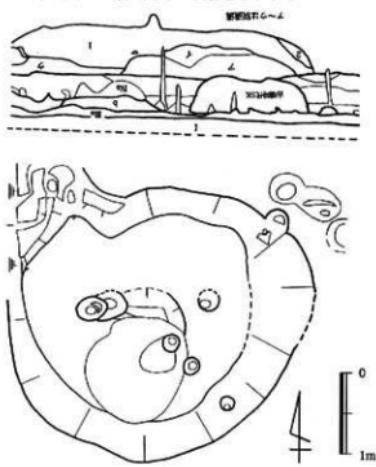
第76図 22号住居および出土遺物実測図



第77図 23号住居および出土遺物実測図（1）

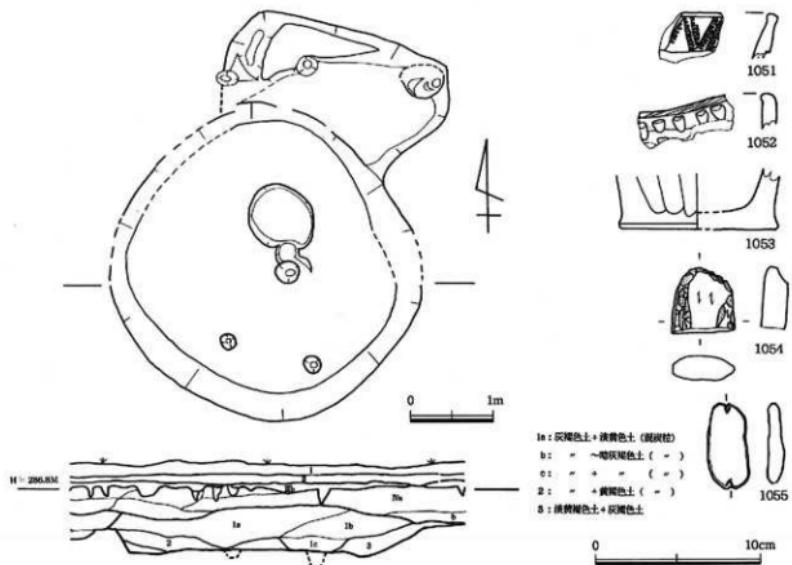


第78図 23号住居出土遺物実測図（2）

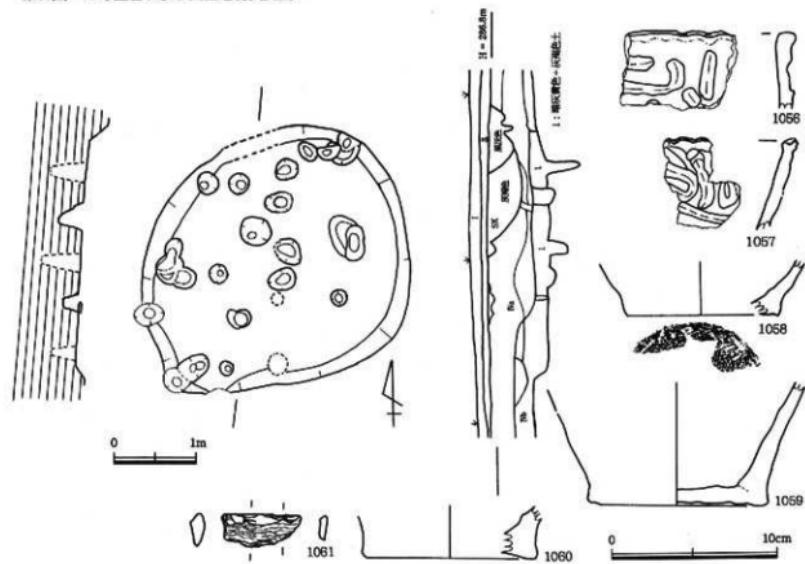


第79図 24号住居および出土遺物実測図

1: 淡黄褐色一淡褐色土、2: 暗赤褐色一淡褐色土

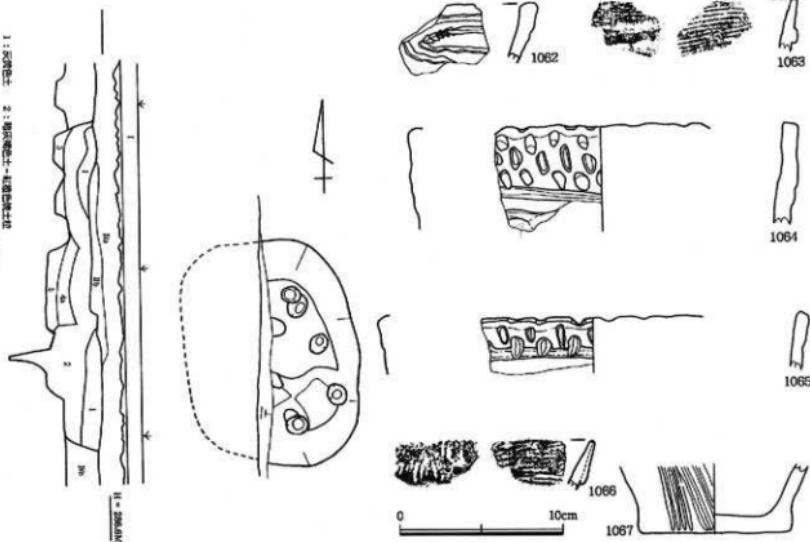


第80図 25号住居および出土遺物実測図

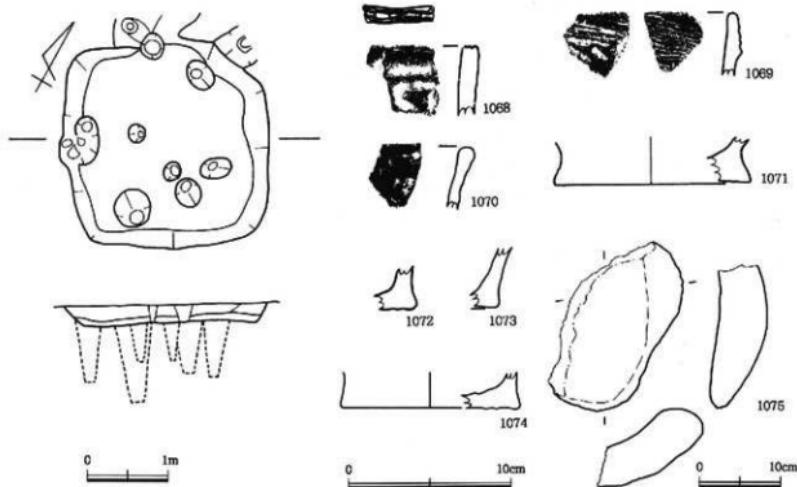


第81図 26号住居および出土遺物実測図

1: 黄褐色土
2: 黄褐色土 + 灰褐色土
3: 灰褐色土
4: 深褐色土



第82図 27号住居および出土遺物実測図



第83図 28号住居および出土遺物実測図